

板橋区
ヤングケアラーに関する実態調査報告書
【概要版】

令和5年9月

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	結果の概要、結果のまとめ及び課題について	3
1	小学生	3
I	結果の概要	3
II	結果のまとめ及び課題	3
2	中学生	4
I	結果の概要	4
II	結果のまとめ及び課題	4
3	高校生	5
I	結果の概要	5
II	結果のまとめ及び課題	5
4	関係機関	6
I	結果の概要	6
II	結果のまとめ及び課題	6
III	調査結果	7
1	小学生	7
I	回答者属性	7
II	あなたのふだんの生活について	9
III	あなたの家庭や家族について	12
IV	ヤングケアラーについて	23
2	中学生	24
I	回答者属性	24
II	あなたのふだんの生活について	26
III	あなたの家庭や家族について	29
IV	ヤングケアラーについて	39

3	高校生	40
	Ⅰ. 回答者属性	40
	Ⅱ. あなたの普段の生活について	42
	Ⅲ. あなたの家庭や家族について	49
	Ⅳ. ヤングケアラーについて	60
4	関係機関	61
	Ⅰ. 基本情報	61
	Ⅱ. 支援が必要と思われる子どもへの対応について	62
	Ⅲ. ヤングケアラーについて	65

I 調査の概要

1 調査の目的

ヤングケアラーに関する実態調査を行うことで、実態の把握、支援ニーズを抽出・分析し、ヤングケアラー対策に係る施策の検討に活用することを目的とする。

2 調査対象

小・中学生調査：区立小・中学校に在籍する4年生から6年生までの児童、区立小・中学校以外の学校へ通う児童及び生徒

高校生調査：区内在住の高校生世代

関係機関調査：関係機関教職員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・民生児童委員・その他要保護児童対策地域協議会関係機関等

3 調査期間

令和5年5月8日～6月2日


4 調査方法

小・中学生調査 (区立) 配布タブレットからのオンライン回答による回収
(私立) 各学校より依頼文を配布し、オンライン回答による回収
高校生調査 郵送により依頼文を配布し、オンライン回答による回収
関係機関調査 郵送により依頼文を配布し、オンライン回答による回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
小・中学生調査	約 21,500 通	7731 通	35.9%
高校生調査	11,693 通	1536 通	13.1%
関係機関調査	約 4,500 通	526 通	11.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 結果の概要、結果のまとめ及び課題について

1 小学生

I. 結果の概要

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 9.9%。(問8) (※国の調査では、世話をしている家族の有無については、6.5%の回答者が「いる」)
- ・お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く 57.8%、次いで「お母さん」が 30.2%、「お父さん」が 20.9%となっている。(問9①) (※国の調査では、「きょうだい」が 71.0%と最も高く、次いで「母親」が 19.8%)
- ・世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。(問9④×問9①)
- ・世話を一緒にしている人は、「自分のみ」の割合が 39.6%、「お母さん」の割合が 33.8%、「きょうだい」の割合が 32.4%。(問9③) (※国の調査では、「母親」(64.2%)と最も高く、次いで「父親」(47.1%)、「きょうだい」(36.0%))
- ・世話をすることによる生活への影響は、「とくにない」の割合が 65.0%、「友だちと遊べないことがある」が 14.1%、「自分の時間が取れない」が 10.0%、「勉強する時間がない」が 7.8% (問10) (※国の調査では、「特にない」(63.9%) が最も高く、そのほかでは、「自分の時間が取れない」(15.1%))

Ⅱ. 結果のまとめ及び課題

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 9.9% (国 (令和3年度) : 6.5%)。
- ・お世話をしている人が 「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・お世話をしている頻度が高い子どもは、負担感を感じる子どももいるものの、肯定的にとらえる子どもの割合が高くなる傾向となっている。
- ・父母のお世話をすることによる生活の影響は、「友だちと遊べないことがある」「自分の時間が取れない」の割合が高く、平日の世話の時間が長いほど「友だちと遊べないことがある」「部活動や習いごとが思うようにできない」の割合が高くなる傾向が見られる。お世話をしている対象や時間によって、生活への影響への差がある。

※国の調査は小・中学生を合算した数値となっています。

2 中学生

I. 結果の概要

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 5.6%。(問8) (※国の調査では、世話をしている家族の有無については、5.7%の回答者が「いる」)
- ・お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く 60.7%、次いで「お母さん」が 24.9%、「お父さん」が 14.5%となっている。(問9①) (※国の調査では、「きょうだい」が 71.0%と最も高く、次いで「母親」が 19.8%)
- ・世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「家事」が最も高くなっている。(問9④×問9①)
- ・世話を一緒にしている人は、「自分のみ」の割合が 44.2%、「きょうだい」の割合が 32.6%、「お父さん」の割合が 27.9%。(問9③) (※国の調査では、「母親」(64.2%)と最も高く、次いで「父親」(47.1%)、「きょうだい」(36.0%))
- ・世話をすることによる生活への影響は、「とくにない」の割合が 53.2%、「自分の時間が取れない」が 19.1%、「勉強する時間がない」が 14.5%、「友だちと遊べないことがある」「すいみんが十分に取れない」が 9.8% (問10) (※国の調査では、「特にない」(63.9%)が最も高く、そのほかでは、「自分の時間が取れない」(15.1%))

II. 結果のまとめ及び課題

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは 5.6% (国 (令和3年度) : 5.7%)。
- ・お世話をしている人が 「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・お世話をしている頻度が高い子どもは、肯定的にとらえる子どももいるものの、負担感を感じる子どもの割合が高くなる傾向となっている。
- ・父母のお世話をすることによる生活の影響は、「自分の時間が取れない」「勉強する時間がない」の割合が高く、平日の世話の時間が長いほど「自分の時間が取れない」の割合が高くなる傾向が見られる。お世話をしている対象や時間によって、生活への影響への差がある。

※国の調査は小・中学生を合算した数値となっています。

3 高校生

I. 結果の概要

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは5.3%。(問17)(※国の調査では、世話をしている家族の有無については、4.1%の回答者が「いる」)
- ・お世話をしている人は、「きょうだい」が最も高く62.2%、次いで「お母さん」が34.1%、「お父さん」が13.4%となっている。(問18①)(※国の調査では、「きょうだい」が44.3%と最も高く、次いで「父母」が29.6%)
- ・世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「母親」、「父親」、「祖母」、「祖父」では、「家事」が最も高くなっている。一方、「きょうだい」では「見守り」が最も高くなっている。(問18④×問18①)
- ・世話を一緒にしている人は、「お母さん」の割合が67.1%、「お父さん」の割合が63.4%、「きょうだい」の割合が51.2%。(問18③)(※国の調査では、「母親」(52.1%)と最も高く、次いで「きょうだい」(34.5%)、「父親」(28.3%)、)
- ・世話をすることによる生活への影響については、「特にない」が57.3%、「勉強する時間がない」(19.5%)、「友達と遊べないことがある」「自分の時間が取れない」(18.3%)となっている。(問19)
- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは「進路のこと」「自分と家族の関係のこと」「友達との関係のこと」「学校生活に必要なお金のこと」「自分のために使える時間が少ないこと」に悩んだり、困っている人の割合が高い。(問9×問17)
- ・お世話を必要としている家族のことや、お世話についてこまったことを相談したことが「ある」人は25.6%。相談相手は、「友達」が57.1%「家族」が42.9%、「学校の先生」が28.6%。(問24)
- ・相談していない人の理由は、「だれかに相談するほどの悩みではない」が44.8%、「悩みはない」が43.1%、「相談しても状況が変わると思えない」が13.8%。(問25)

II. 結果のまとめ及び課題

- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは5.3%。(国(令和2年度):4.1%)
- ・お世話をしている人が「きょうだい」の割合が高く半数を超えている。
- ・家族の中にお世話をしている人がいる子どもは、「進路のこと」「学校の成績のこと」「友達との関係のこと」に悩んだり、困っている人の割合が高くなっている。お世話をしている頻度が高い子どもは、特に「進路のこと」「友達との関係のこと」に悩んだり、困っている人の割合が高い。
- ・お世話を必要としている家族のことや、お世話についてこまったことを相談したことが「ある」人は25.6%となっており、相談していない人の理由は、だれかに相談するほどの悩みではないが44.8%、「悩みはない」が43.1%、「相談しても状況が変わると思えない」が13.8%となっている。ヤングケアラーに対しての周知(お世話をしている人ほど認知度が低い)や、SNS等を活用した相談等、関係機関と連携した子どもに寄り添った相談・支援を行うことが必要。

4 関係機関

I. 結果の概要

- ・「ヤングケアラー」の認知度については「言葉を知っており、意識して対応している」が43.9%、「言葉は知っているが、特別な対応をしていない」が42.4%、「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」が10.3%となっている。(問6)
- ・「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態の把握については「該当する子どもはいない(これまでいなかった)」が36.8%、「把握している」が32.0%、「ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が30.7%となっている。(問7)
- ・貴校・貴所・身近にヤングケアラーと思われる(可能性含めて)子どもについては「わからない」が45.6%、「いない」が29.1%、「いる」が23.6%となっている。(問9)
- ・「わからない」と回答した理由については「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が78.8%となっている。(問11)
- ・ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことについては「大人がヤングケアラーについて知ること」が78.1%、「子どもが大人に相談しやすい環境」が70.5%、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」が68.4%となっている。(問12)

II. 結果のまとめ及び課題

- ・「ヤングケアラー」の認知度について「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」が10.3%、「言葉を知らない」が2.9%となっている。
- ・「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態の把握については「ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」が30.7%となっており、理由については「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」が78.8%となっている。アセスメントシートやチェックリストなどのツールや、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応を行うことが必要。
- ・ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことについてはヤングケアラーに対しての周知(お世話をしている人ほど認知度が低い)や、SNS等を活用した相談等、関係機関と連携した子どもに寄り添った相談・支援を行うことが必要。

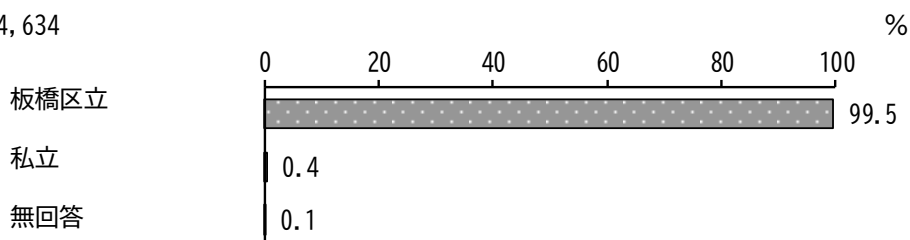
Ⅲ 調査結果

1 小学生

I. 回答者属性

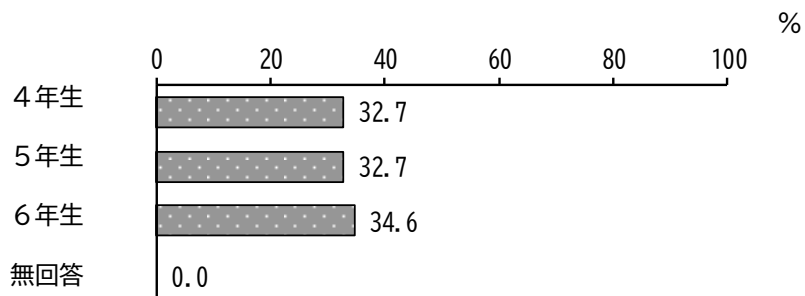
問1 あなたが通っている学校について教えてください。

回答者数 = 4,634



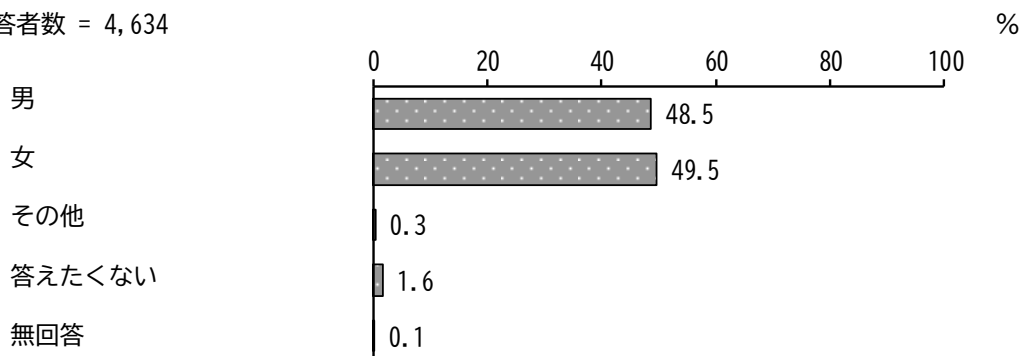
問2 あなたの学年を教えてください。(小学生用)

回答者数 = 4,634



問3 あなたのせいべつを教えてください。

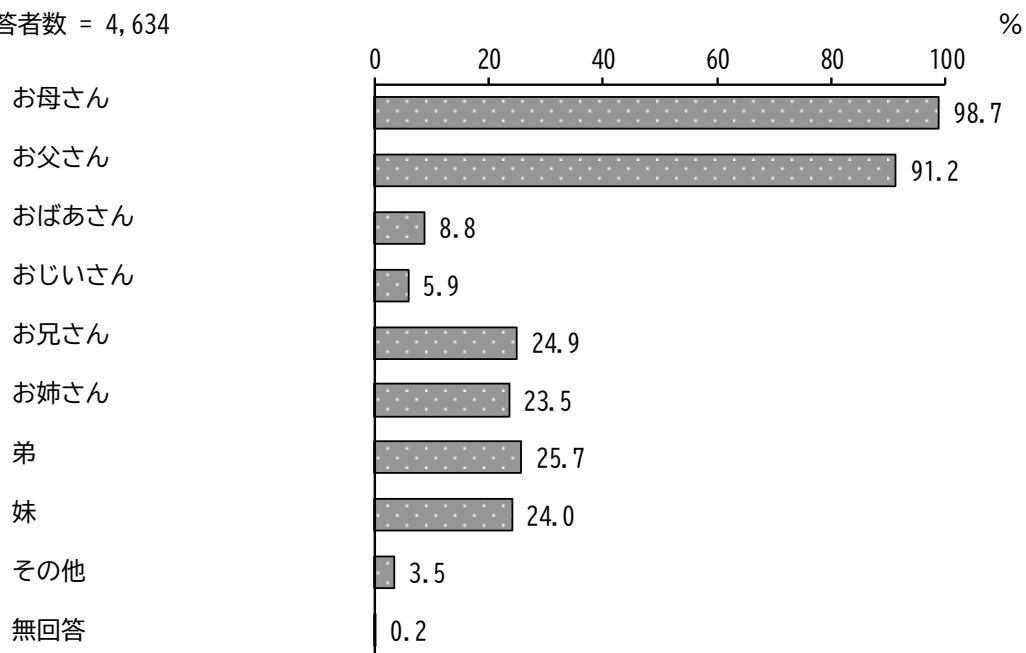
回答者数 = 4,634



問4 あなたが今、いっしょに住んでいるのはだれですか。

「お母さん」の割合が98.7%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が91.2%、「弟」の割合が25.7%となっています。

回答者数 = 4,634

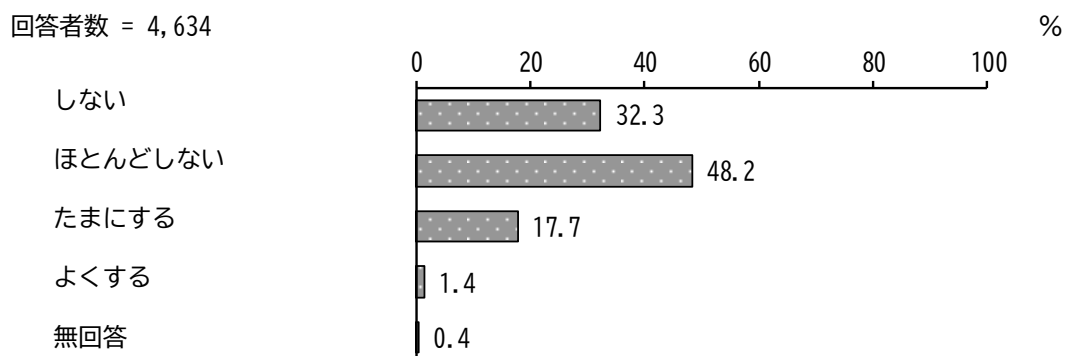


Ⅱ あなたのふだんの生活について

問5 学校生活について教えてください。

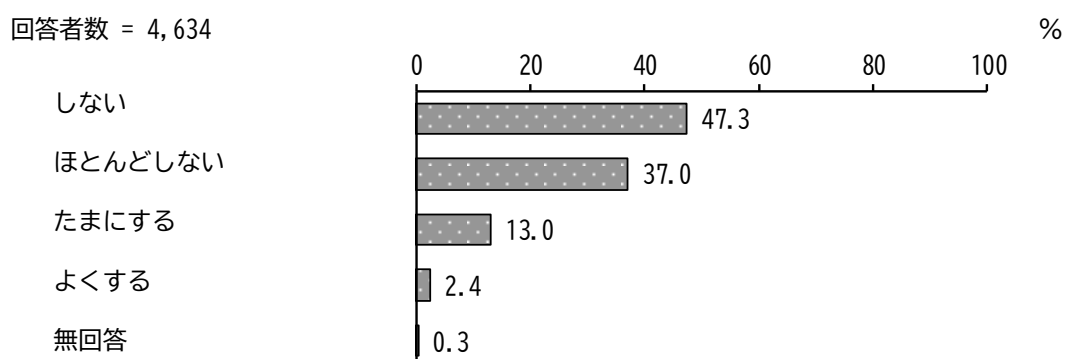
① あなたは学校をけっせきすることがありますか。

「ほとんどしない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「しない」の割合が32.3%、「たまにする」の割合が17.7%となっています。



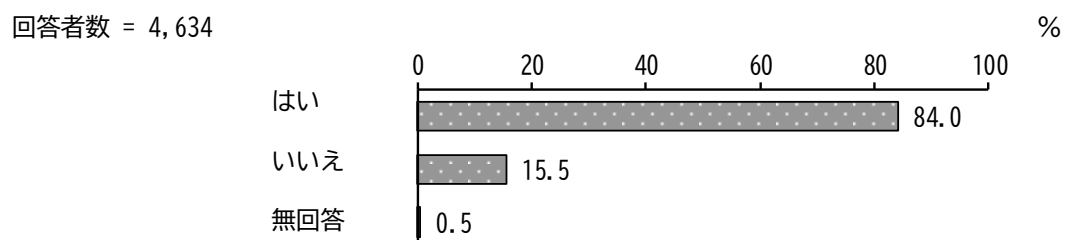
② あなたは学校をちこく・そうたいすることがありますか。

「しない」の割合が47.3%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が37.0%、「たまにする」の割合が13.0%となっています。



③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動やじゅく・習いごとをしていますか。

「はい」の割合が84.0%、「いいえ」の割合が15.5%となっています。

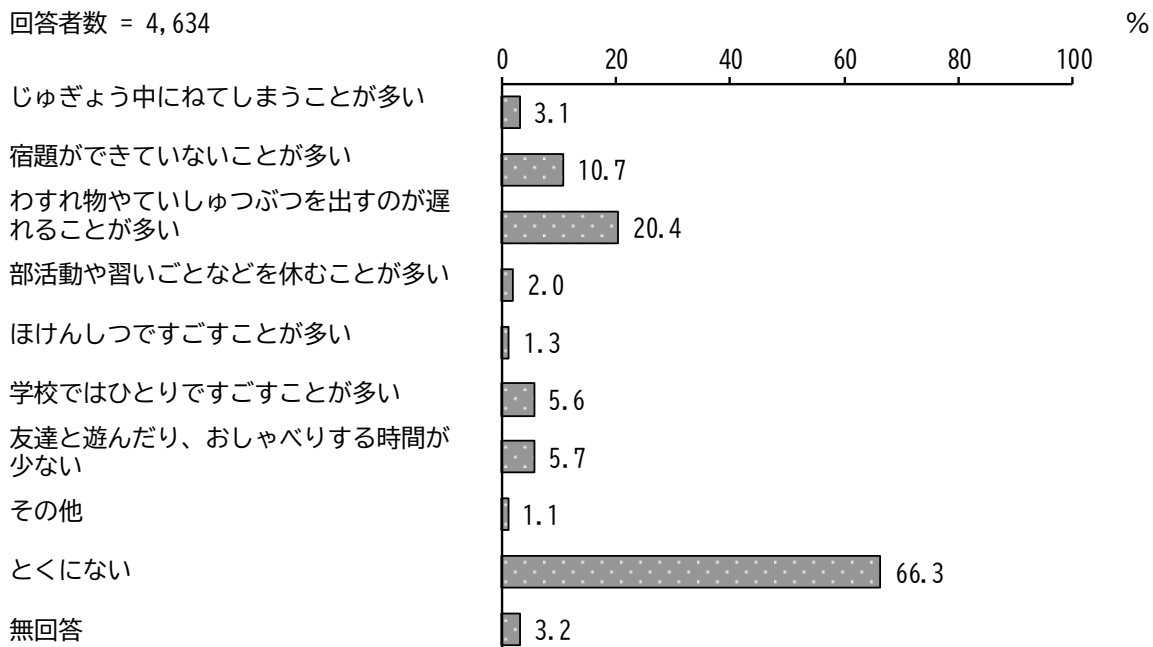


④ あなたのふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が66.3%と最も高く、次いで「わすれ物やていしゅつぶつを出すのが遅れることが多い」の割合が20.4%、「宿題ができていないことが多い」の割合が10.7%となっています。

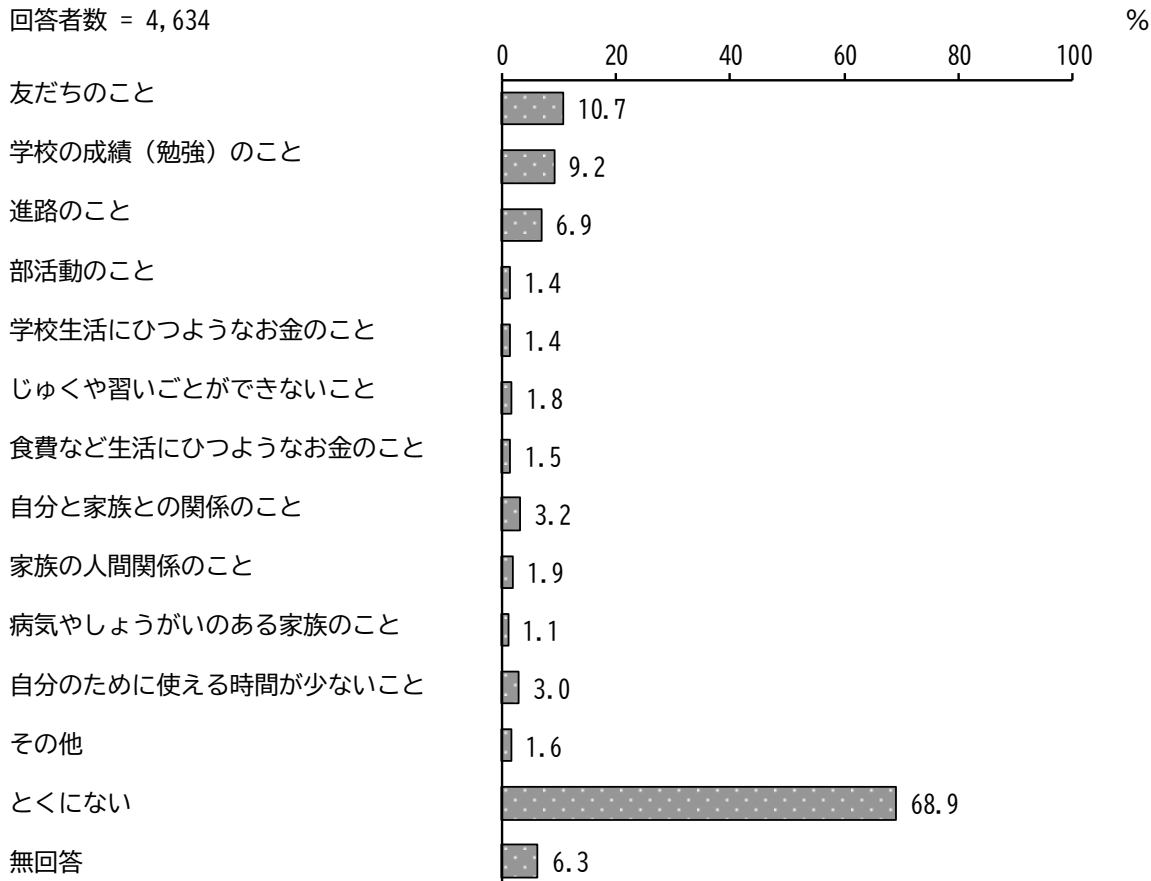
回答者数 = 4,634



問6 あなたは今、なやんだりこまったりしていることはありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が10.7%となっています。

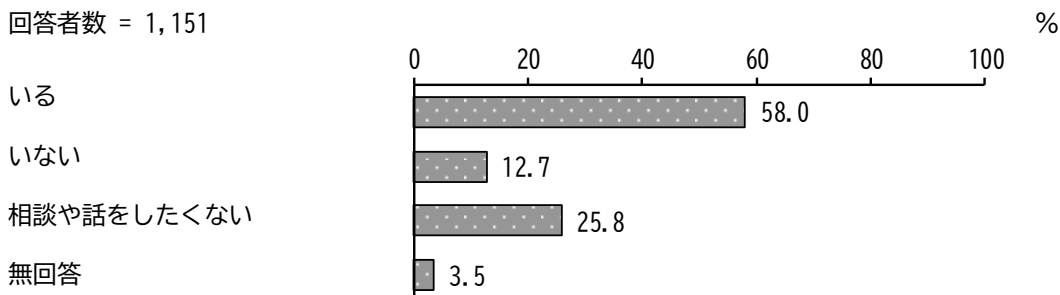
回答者数 = 4,634



問7 問6で1～12のいずれかを回答した人におたずねします。回答したなやみやこまりごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が58.0%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が25.8%、「いない」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 1,151

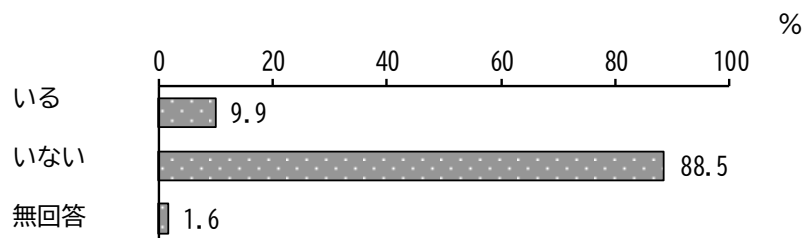


Ⅲ. あなたの家庭や家族について

問8 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

「いる」の割合が9.9%、「いない」の割合が88.5%となっています。

回答者数 = 4,634

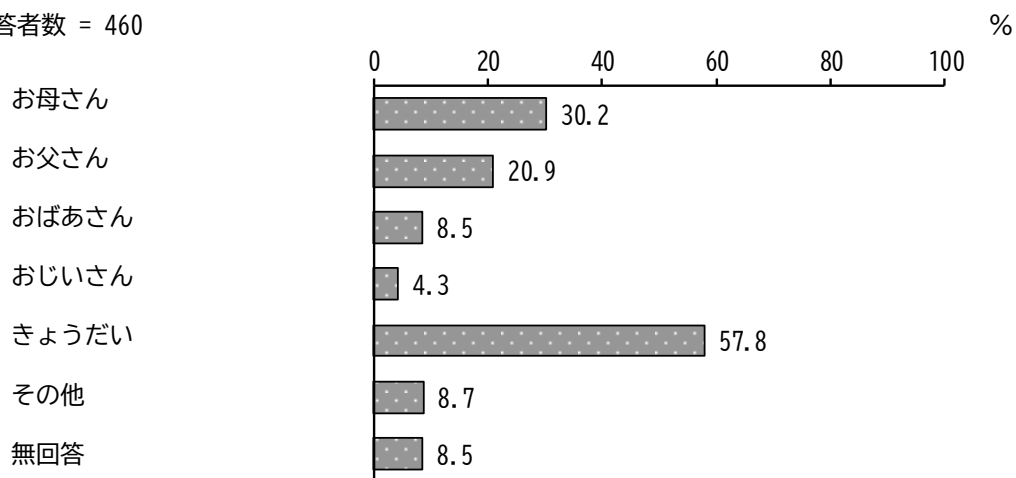


問9 問8で「いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が57.8%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が30.2%、「お父さん」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 460

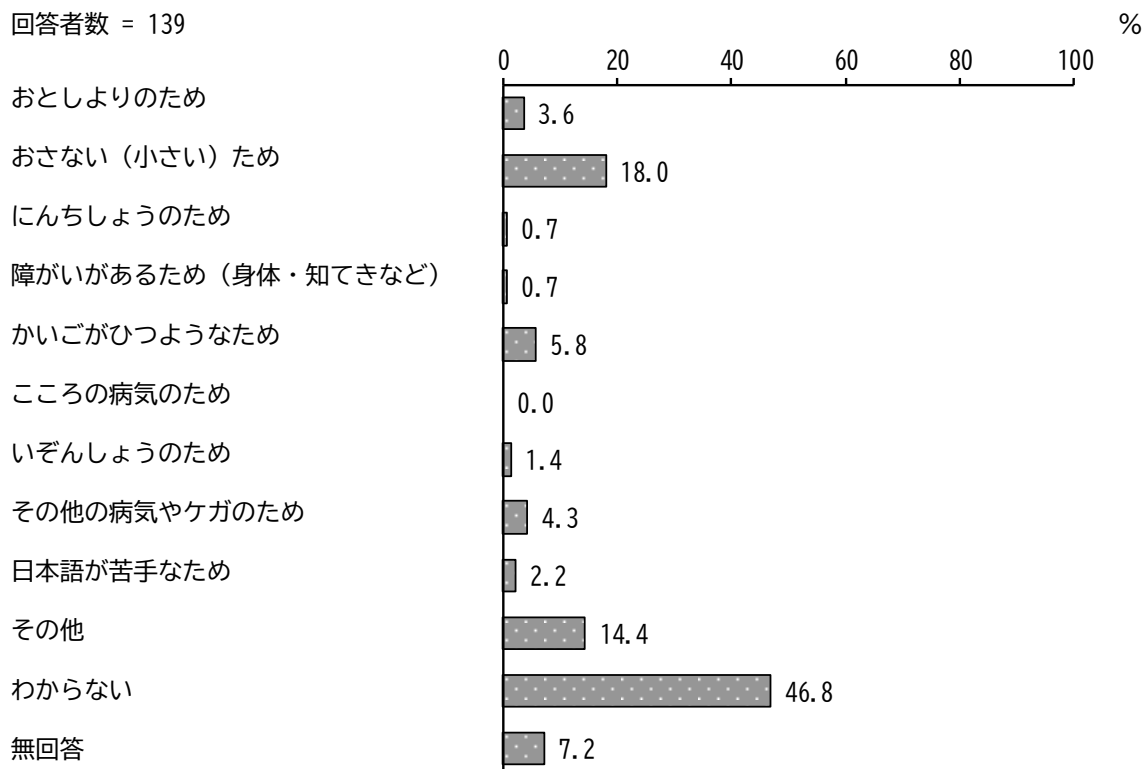


② その方がどのような理由でお世話をひつようとしているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

「わからない」の割合が46.8%と最も高く、次いで「おさない(小さい)ため」の割合が18.0%となっています。

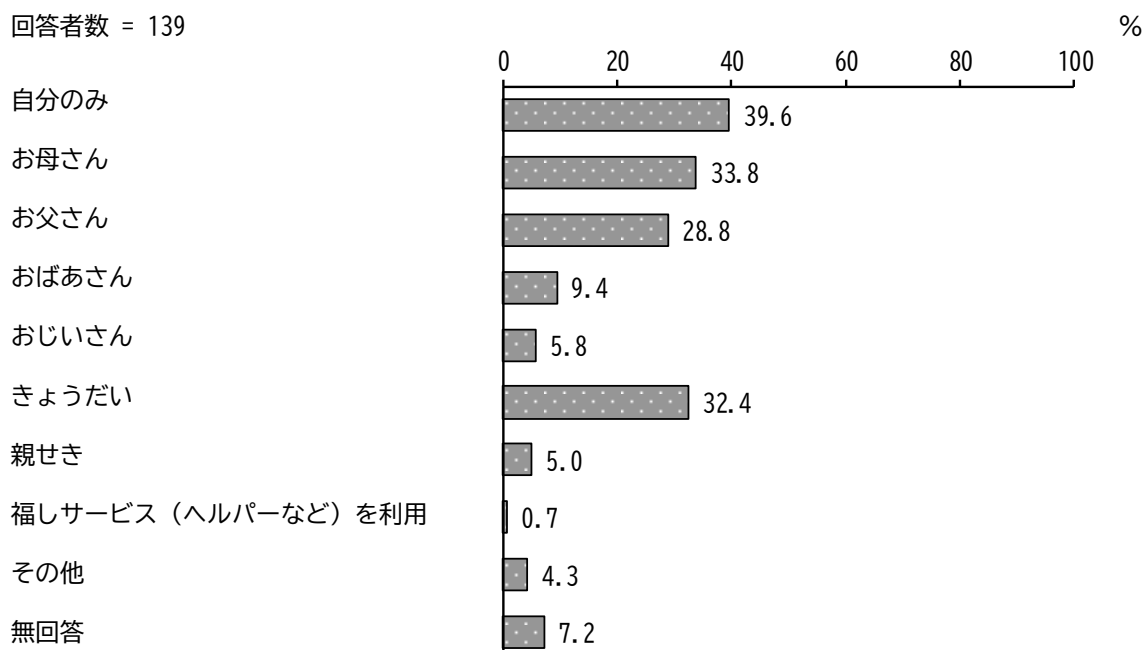
回答者数 = 139



③ あなたはその方へのお世話をだれかといっしょにしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「自分のみ」の割合が39.6%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が33.8%、「きょうだい」の割合が32.4%となっています。

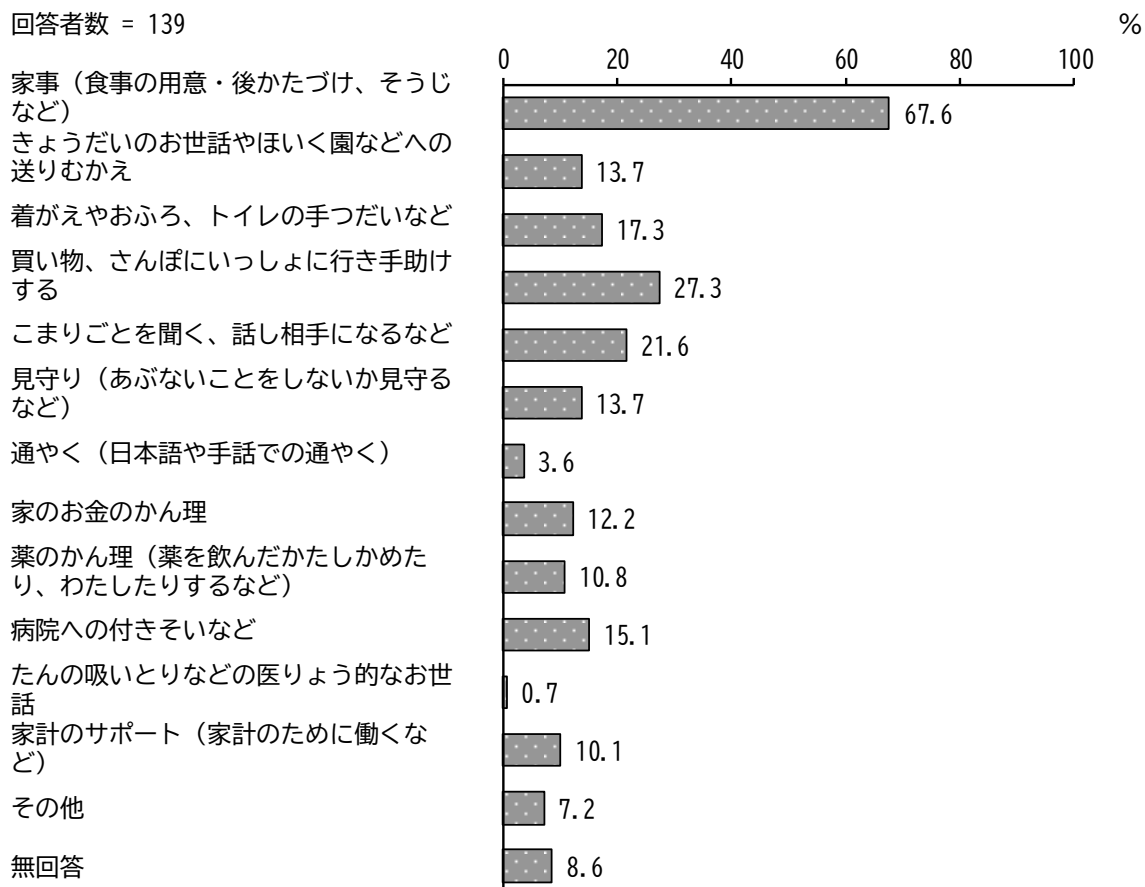
回答者数 = 139



④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が 27.3%、「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が 21.6%となっています。

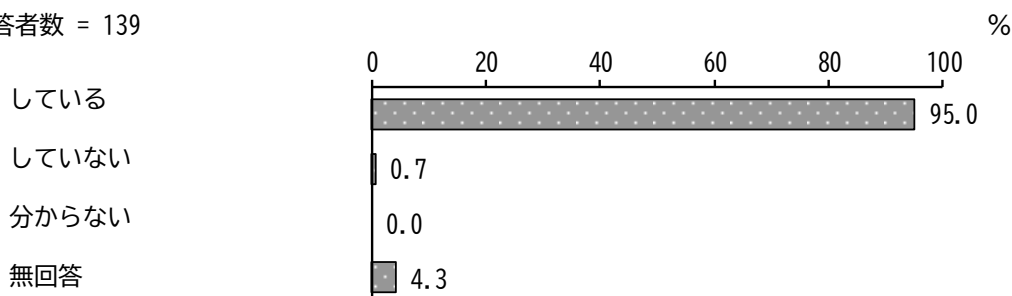
回答者数 = 139



⑤ お世話をひつようとしている方は、区がていきょうするサービス（ホームヘルパーなど）を使っていますか。

「している」の割合が 95.0%と最も高くなっています。

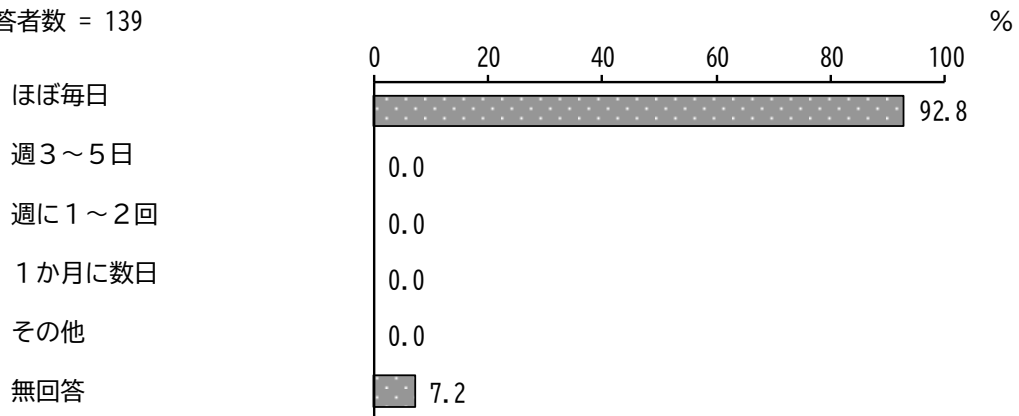
回答者数 = 139



⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が 92.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 139

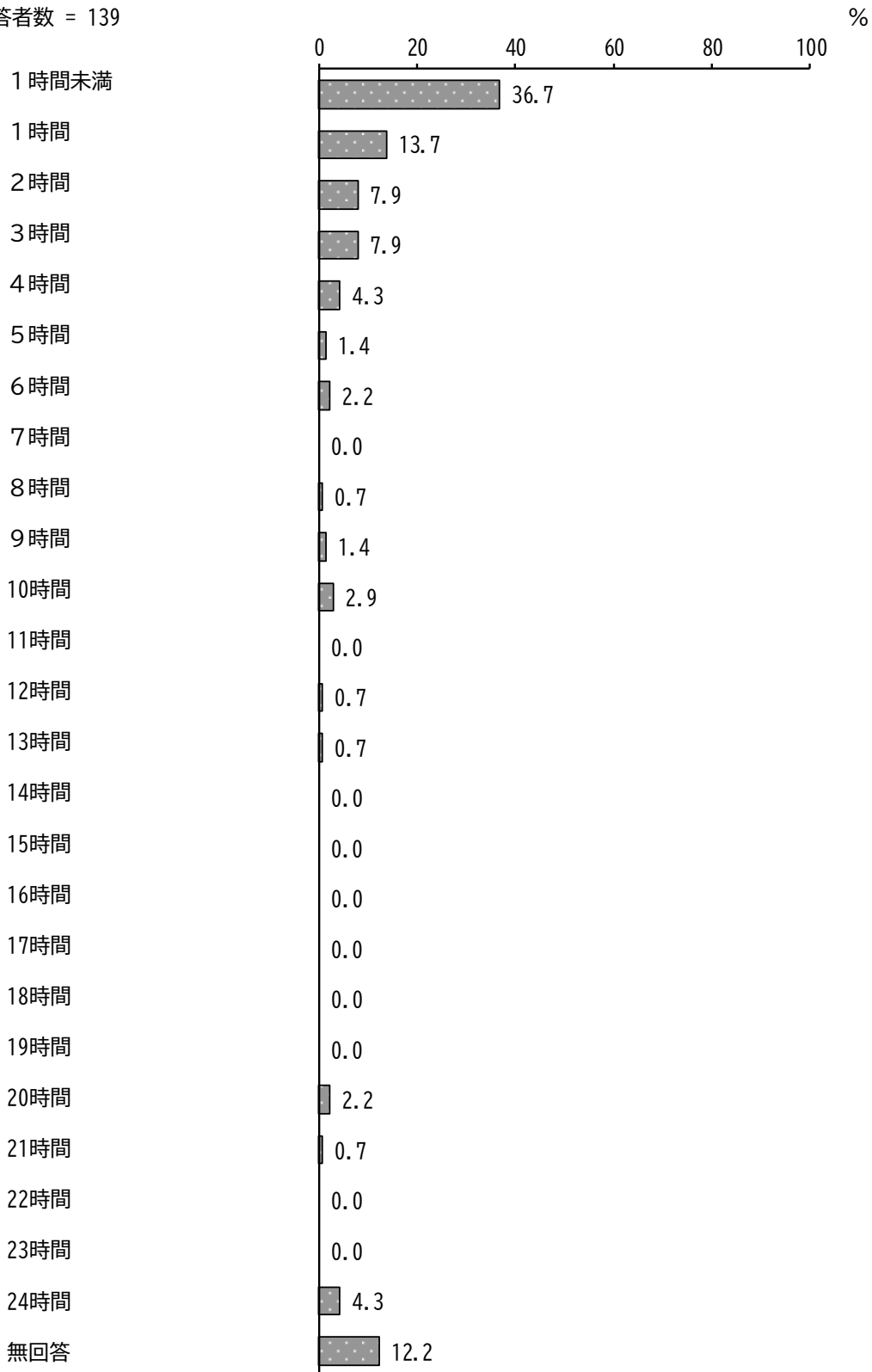


⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

平日

「1時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「1時間」の割合が13.7%となっています。

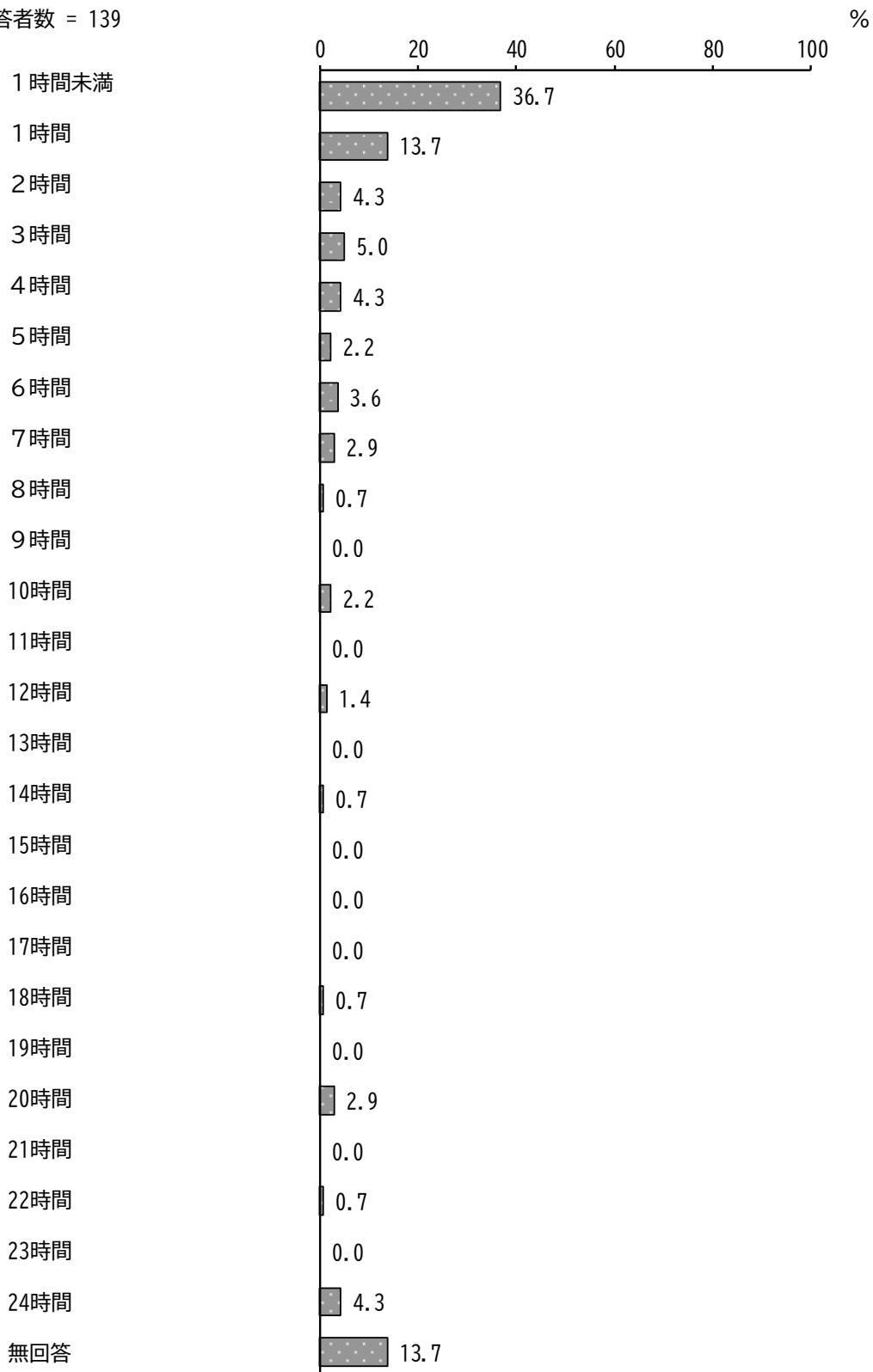
回答者数 = 139



休日

「1時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「1時間」の割合が13.7%となっています。

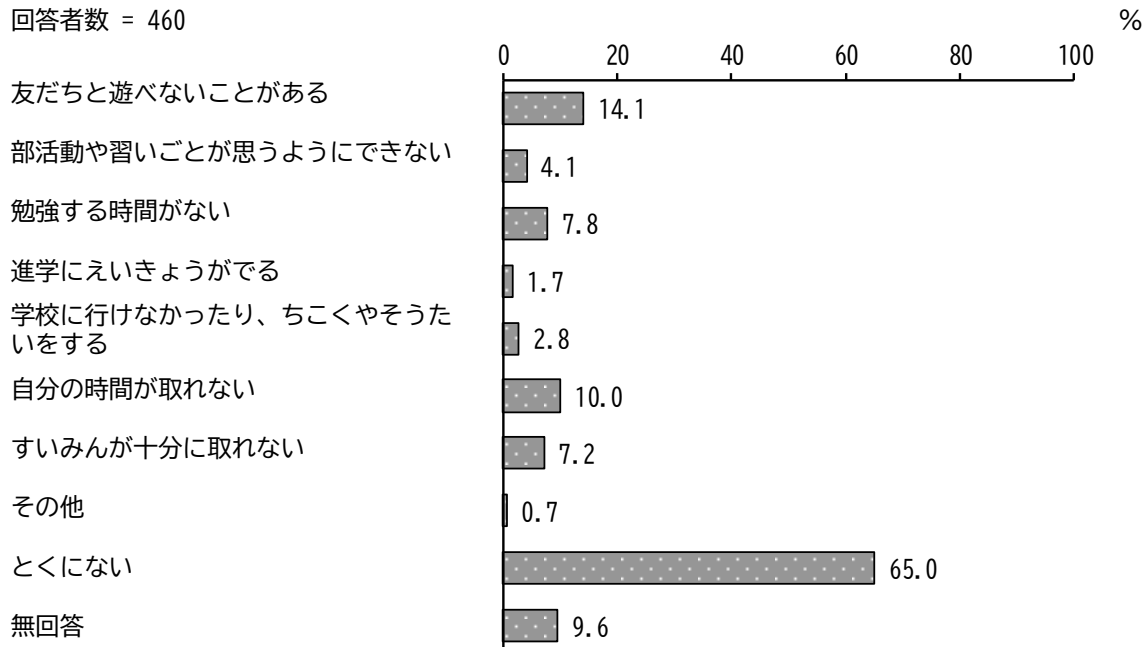
回答者数 = 139



問10 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなけいけんをしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が65.0%と最も高く、次いで「友だちと遊べないことがある」の割合が14.1%、「自分の時間が取れない」の割合が10.0%となっています。

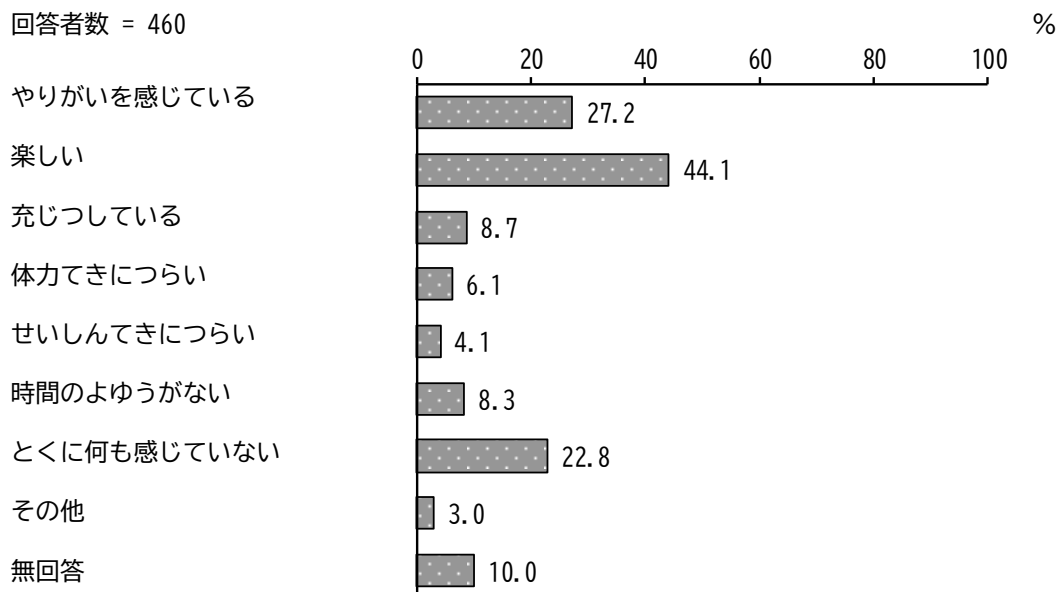
回答者数 = 460



問11 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「楽しい」の割合が44.1%と最も高く、次いで「やりがいを感じている」の割合が27.2%、「とくに何も感じていない」の割合が22.8%となっています。

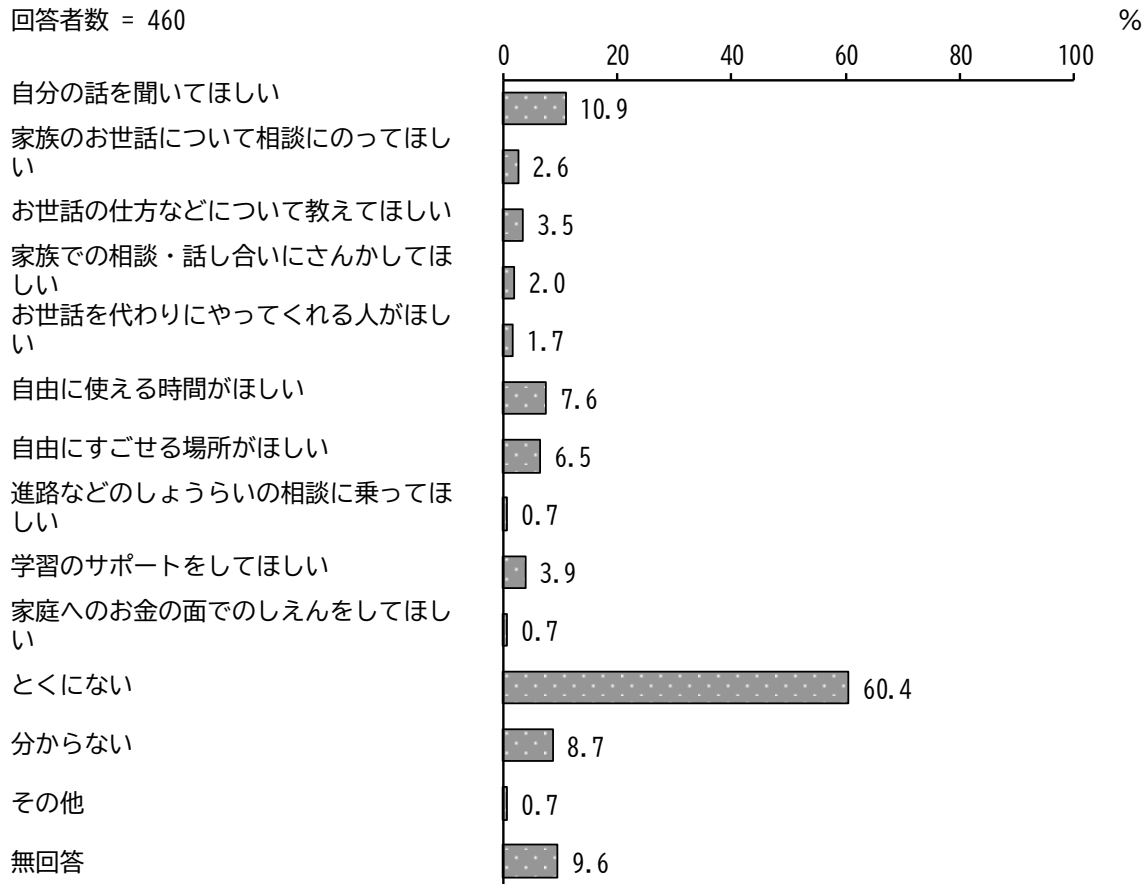
回答者数 = 460



問12 あなたが学校やまわりの大人に助けてほしいことや、ひつようとしているしえんはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が60.4%と最も高く、次いで「自分の話を聞いてほしい」の割合が10.9%となっています。

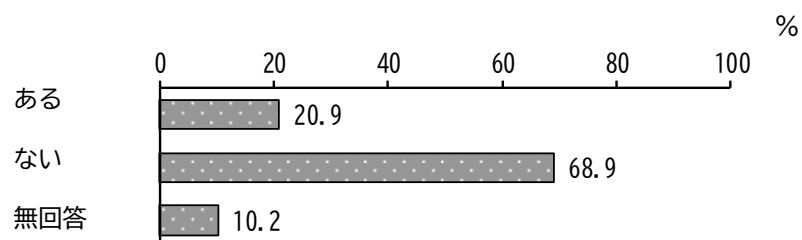
回答者数 = 460



問13 あなたはお世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。

「ある」の割合が20.9%、「ない」の割合が68.9%となっています。

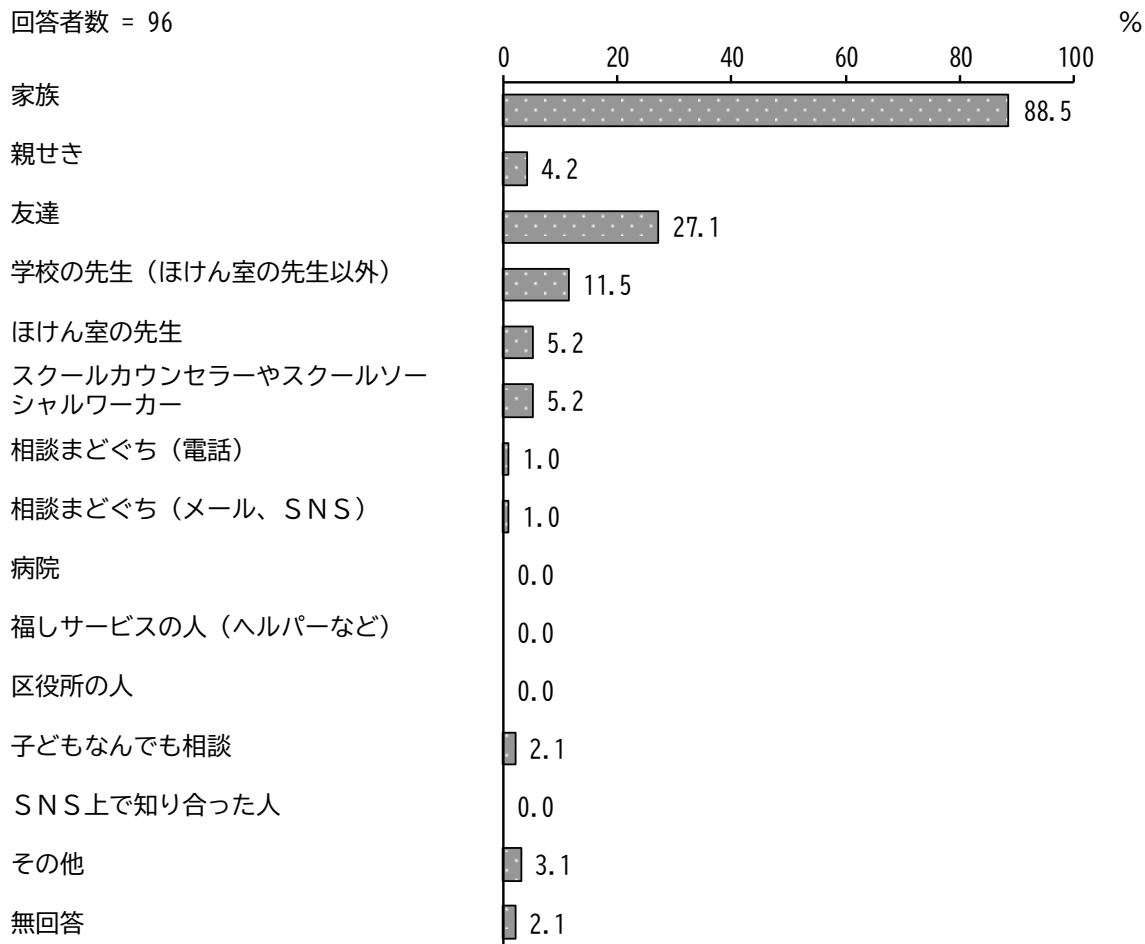
回答者数 = 460



問 14 問 13 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたはだれに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「家族」の割合が 88.5%と最も高く、次いで「友達」の割合が 27.1%、「学校の先生（ほけん室の先生以外）」の割合が 11.5%となっています。

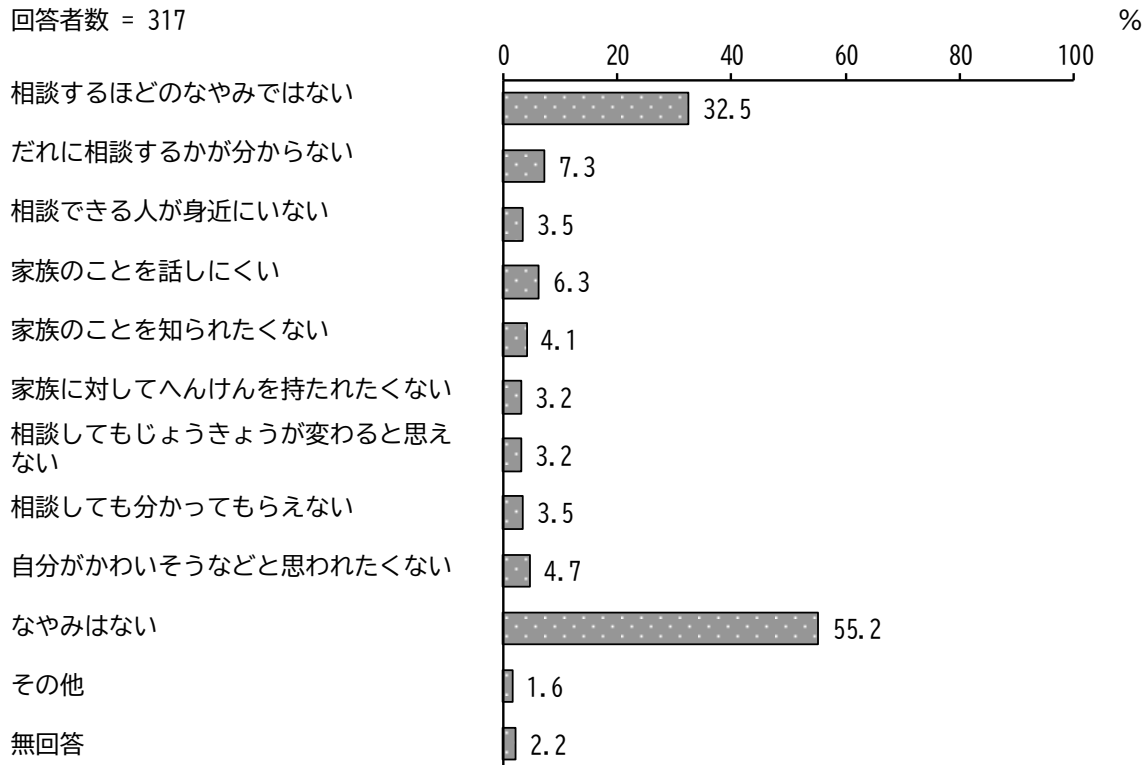
回答者数 = 96



問15 問13で「ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてを選択）

「なやみはない」の割合が55.2%と最も高く、次いで「相談するほどのなやみではない」の割合が32.5%となっています。

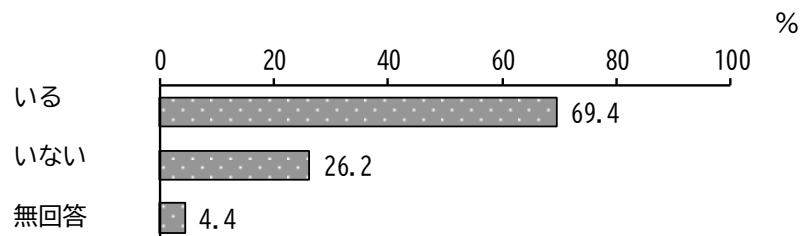
回答者数 = 317



問16 問13で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。

「いる」の割合が69.4%、「いない」の割合が26.2%となっています。

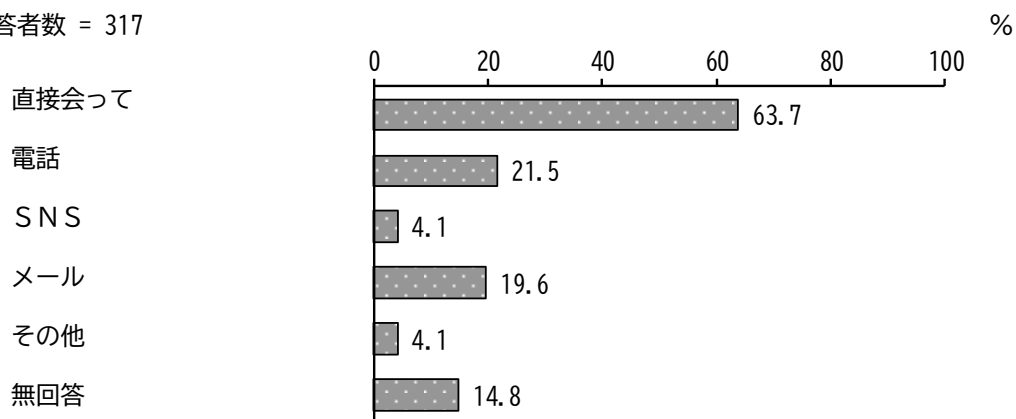
回答者数 = 317



問17 問13で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。
(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が63.7%と最も高く、次いで「電話」の割合が21.5%、「メール」の割合が19.6%となっています。

回答者数 = 317

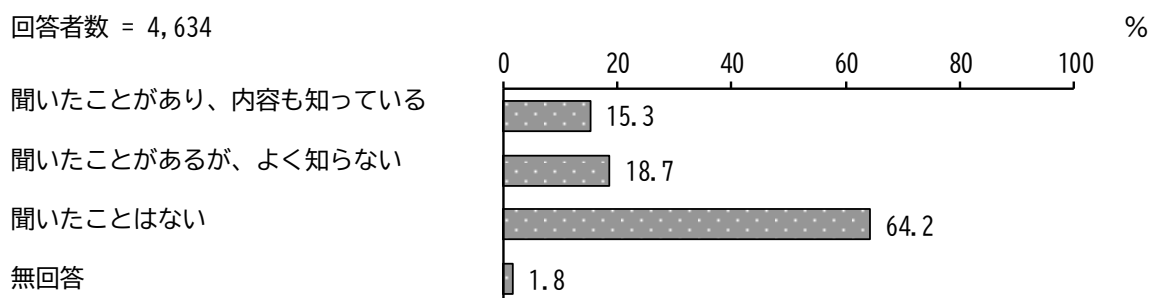


IV. ヤングケアラーについて

問 18 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

「聞いたことはない」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が 18.7%、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 15.3%となっています。

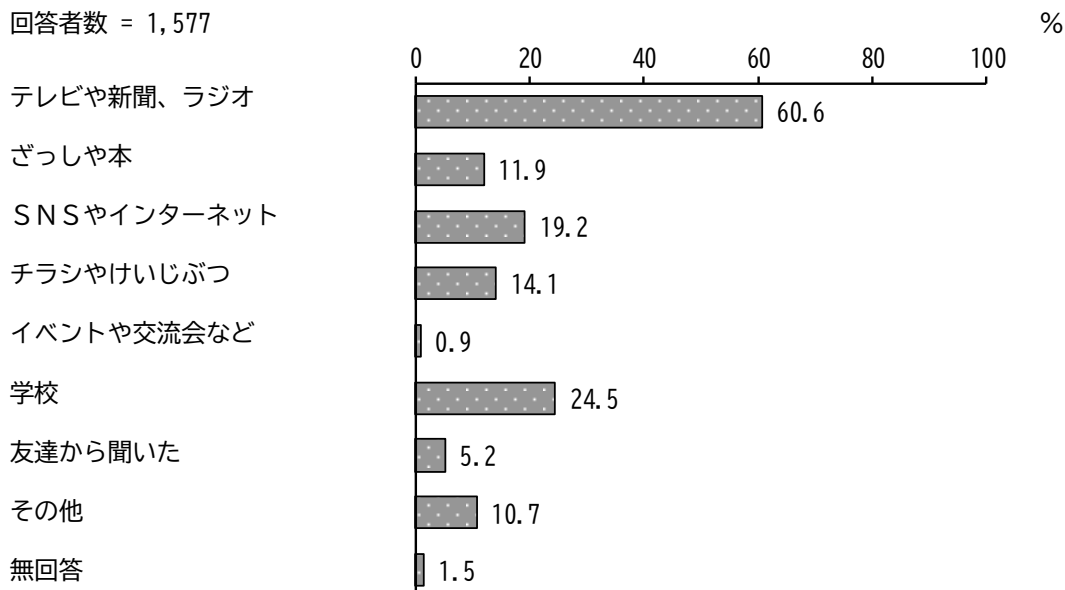
回答者数 = 4,634



問 19 問 18 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「学校」の割合が 24.5%、「SNS やインターネット」の割合が 19.2%となっています。

回答者数 = 1,577

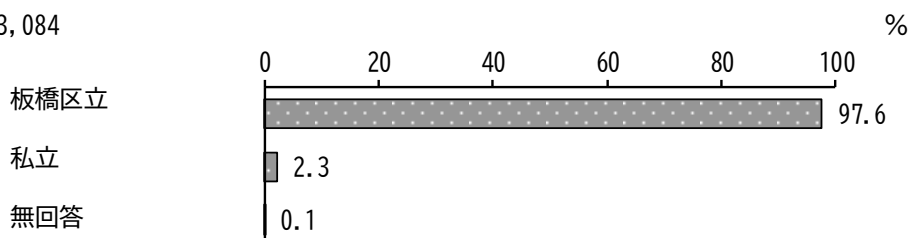


2 中学生

I. 回答者属性

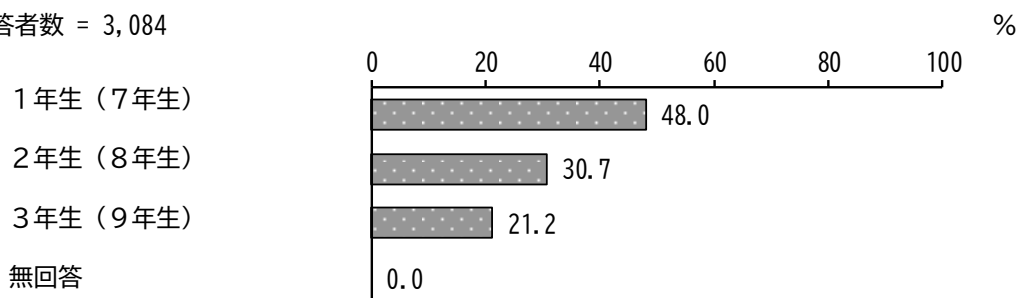
問1 あなたが通っている学校について教えてください。

回答者数 = 3,084



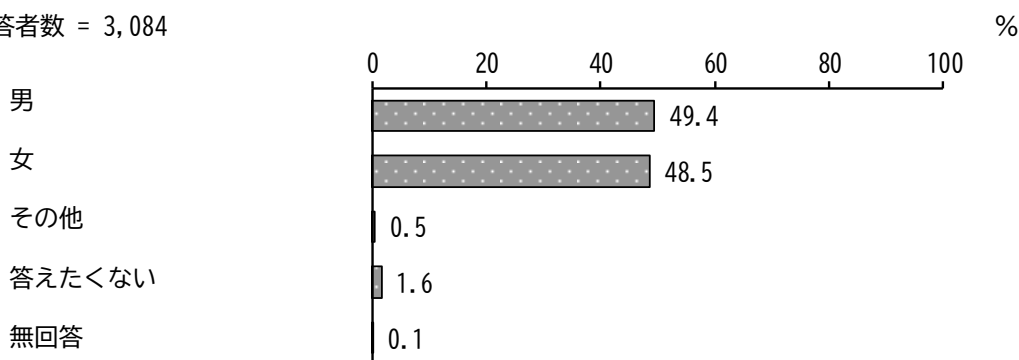
問2 あなたの学年を教えてください。(中学生用)

回答者数 = 3,084



問3 あなたのせいべつを教えてください。

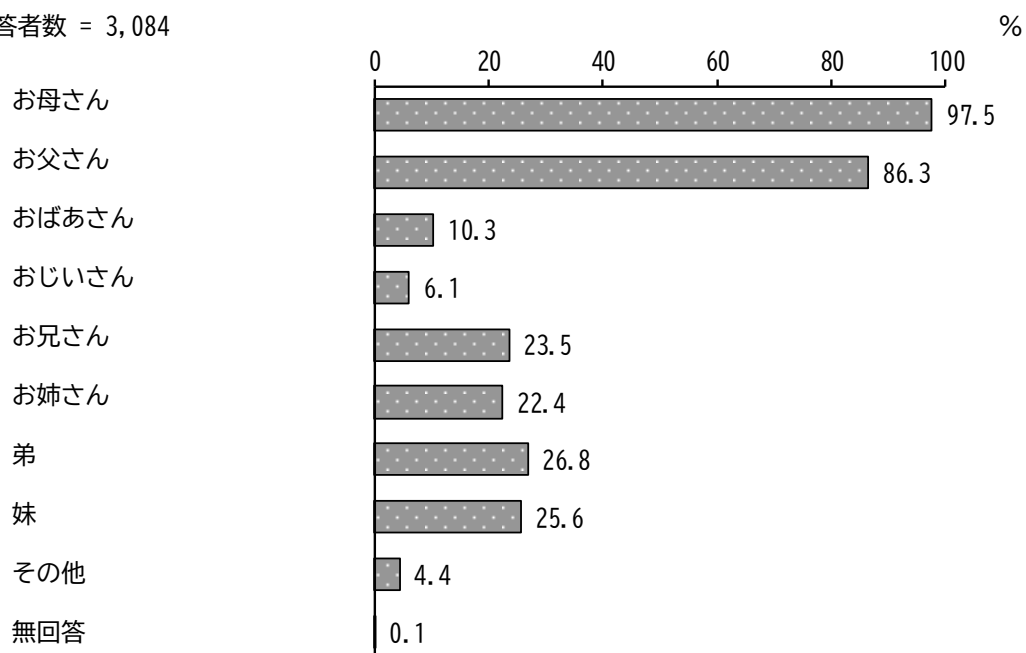
回答者数 = 3,084



問4 あなたが今、いっしょに住んでいるのはだれですか。

「お母さん」の割合が97.5%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が86.3%、「弟」の割合が26.8%となっています。

回答者数 = 3,084

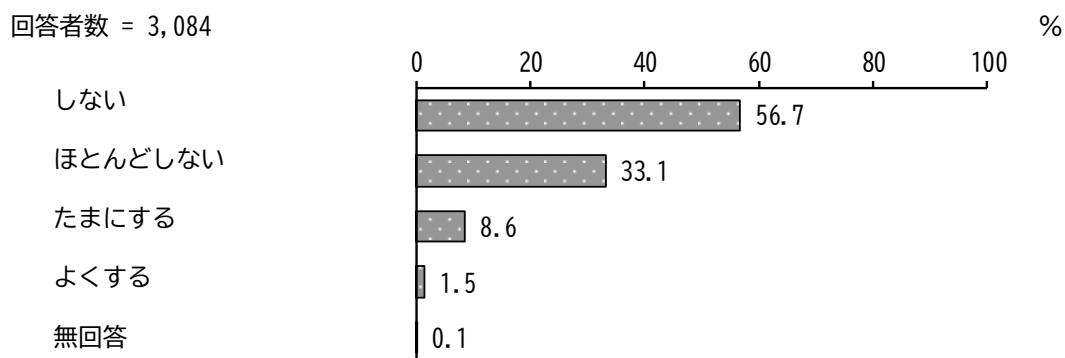


Ⅱ. あなたのふだんの生活について

問5 学校生活について教えてください。

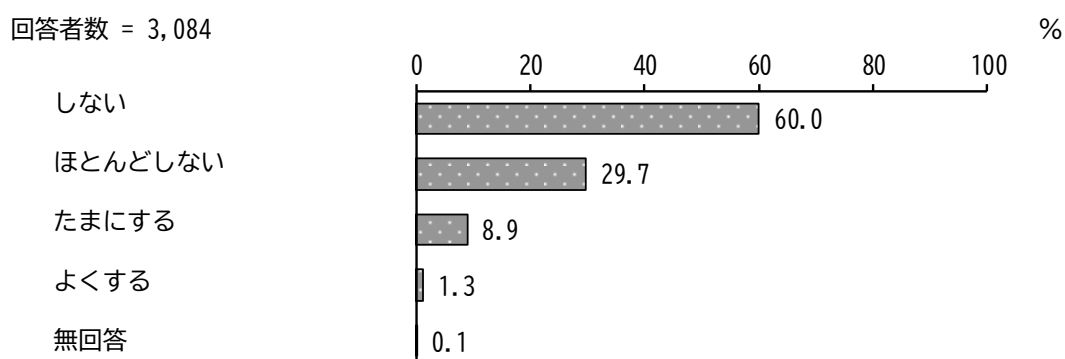
① あなたは学校をけっせきすることがありますか。

「しない」の割合が56.7%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が33.1%となっています。



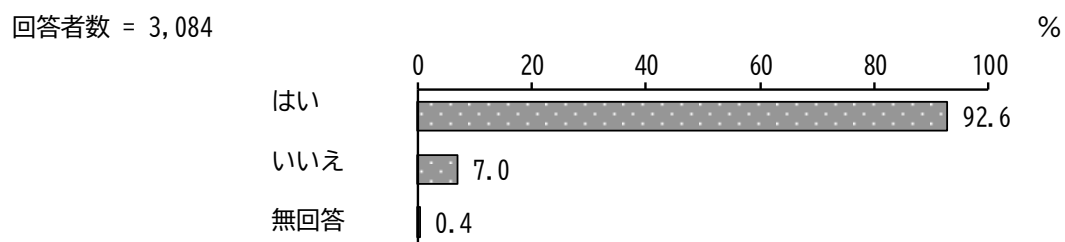
② あなたは学校をちこく・そうたいすることがありますか。

「しない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が29.7%となっています。



③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動やじゅく・習いごとをしていますか。

「はい」の割合が92.6%、「いいえ」の割合が7.0%となっています。

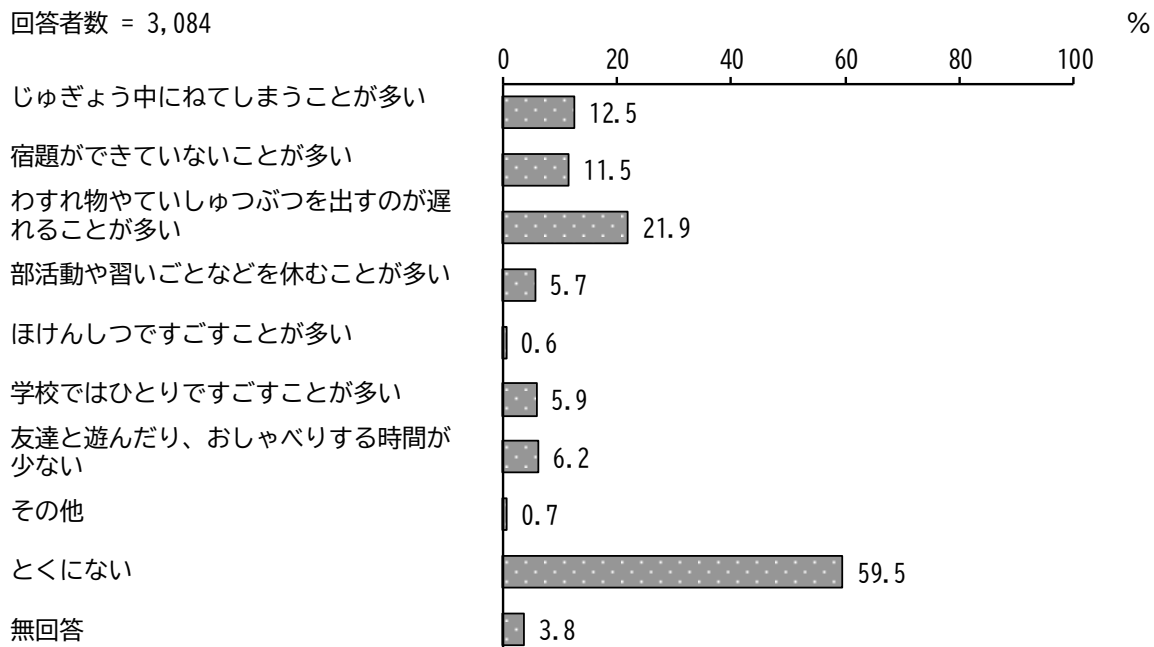


④ あなたのふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

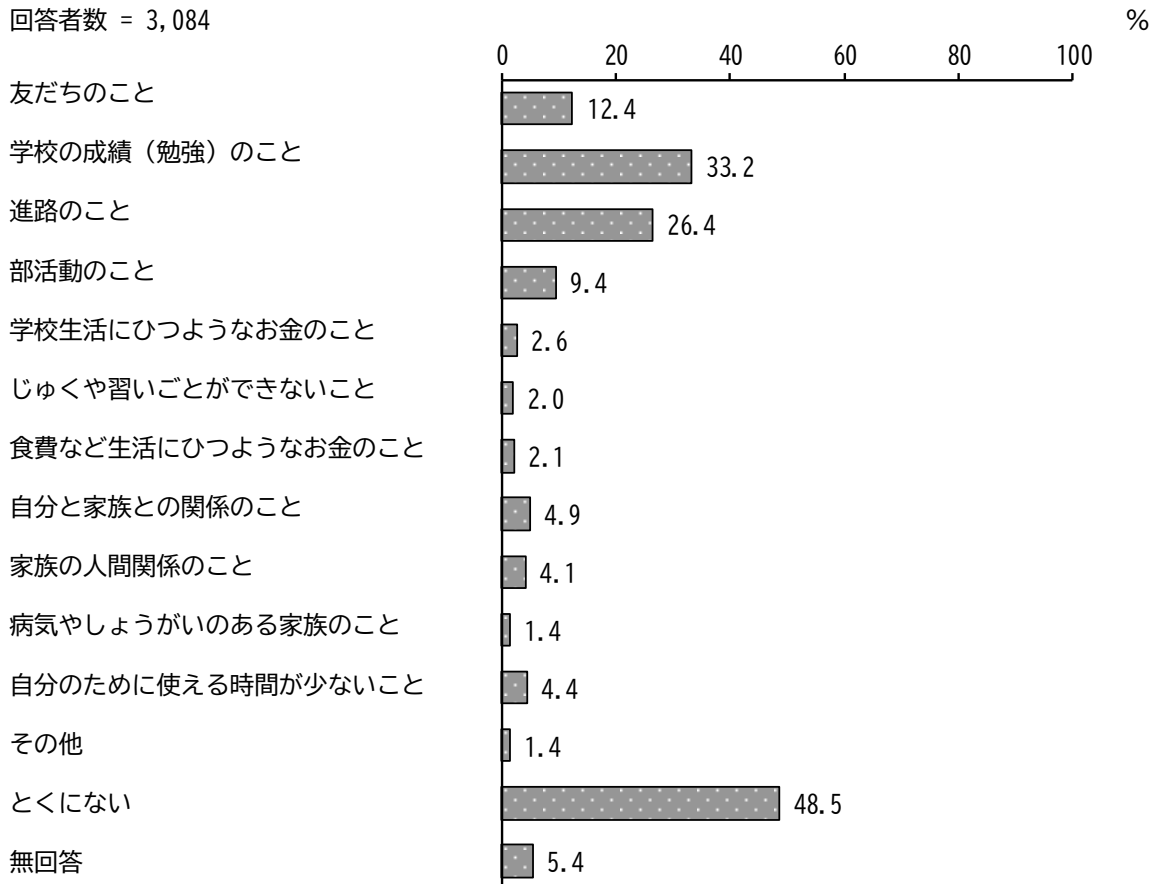
「とくにない」の割合が59.5%と最も高く、次いで「わすれ物やていしゅつぶつを出すのが遅れることが多い」の割合が21.9%、「じゅぎょう中にねてしまうことが多い」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 3,084



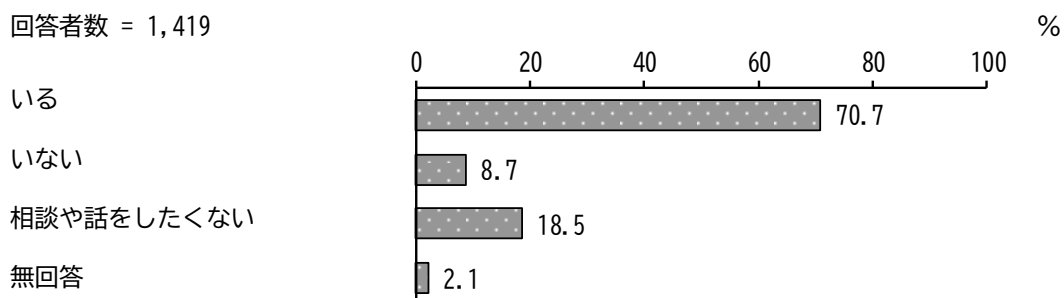
問6 あなたは今、なやんだりこまったりしていることはありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「学校の成績（勉強）のこと」の割合が33.2%、「進路のこと」の割合が26.4%となっています。



問7 問6で1～12のいずれかを回答した人におたずねします。回答したなやみやこまりごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が70.7%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が18.5%となっています。

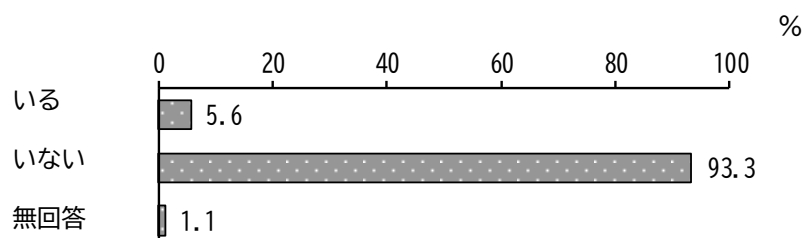


Ⅲ. あなたの家庭や家族について

問8 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

「いる」の割合が5.6%、「いない」の割合が93.3%となっています。

回答者数 = 3,084

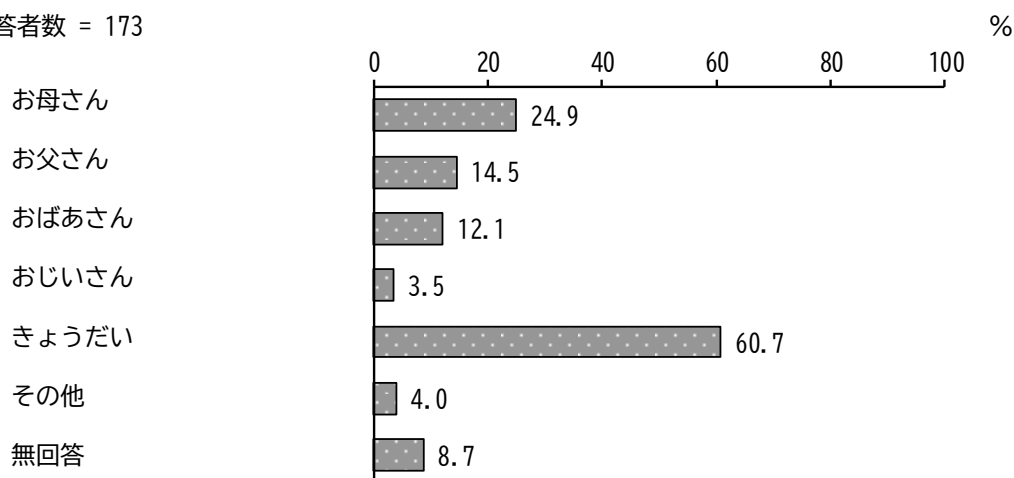


問9 問8で「いる」と回答した方におたずねします。

① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が60.7%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が24.9%、「お父さん」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 173

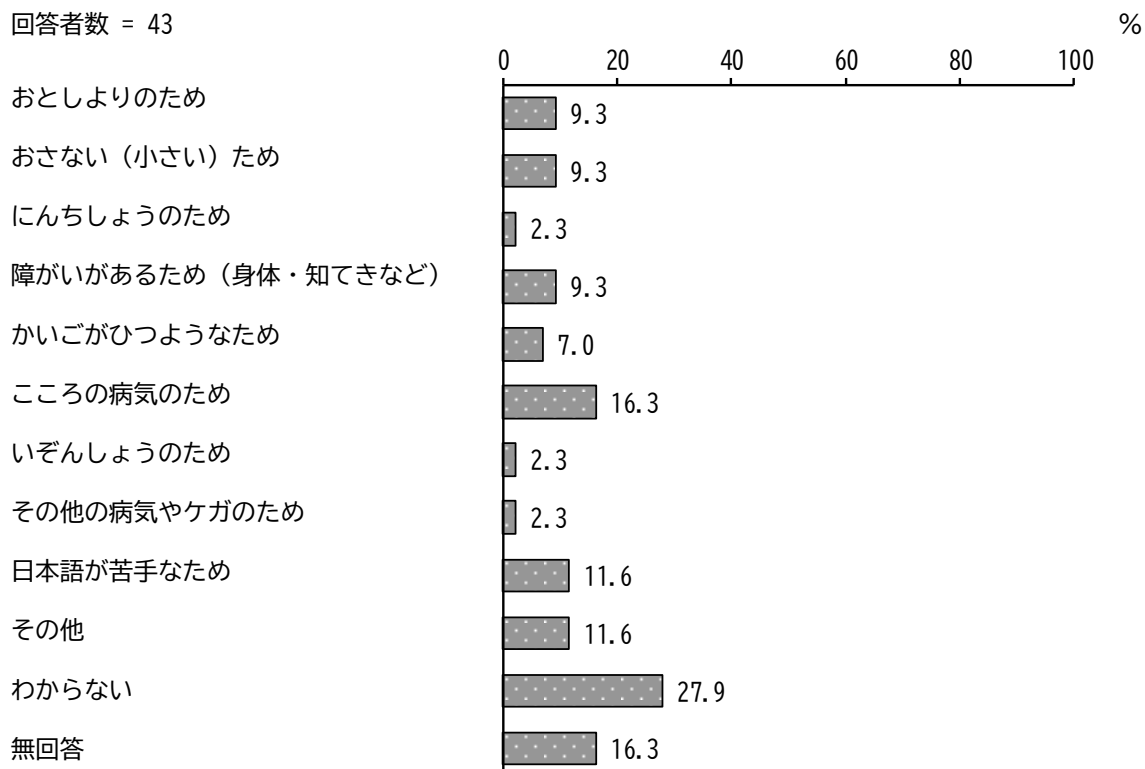


② その方がどのような理由でお世話をひつようとしているのか教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

「わからない」の割合が27.9%と最も高く、次いで「こころの病気のため」の割合が16.3%、「日本語が苦手なため」の割合が11.6%となっています。

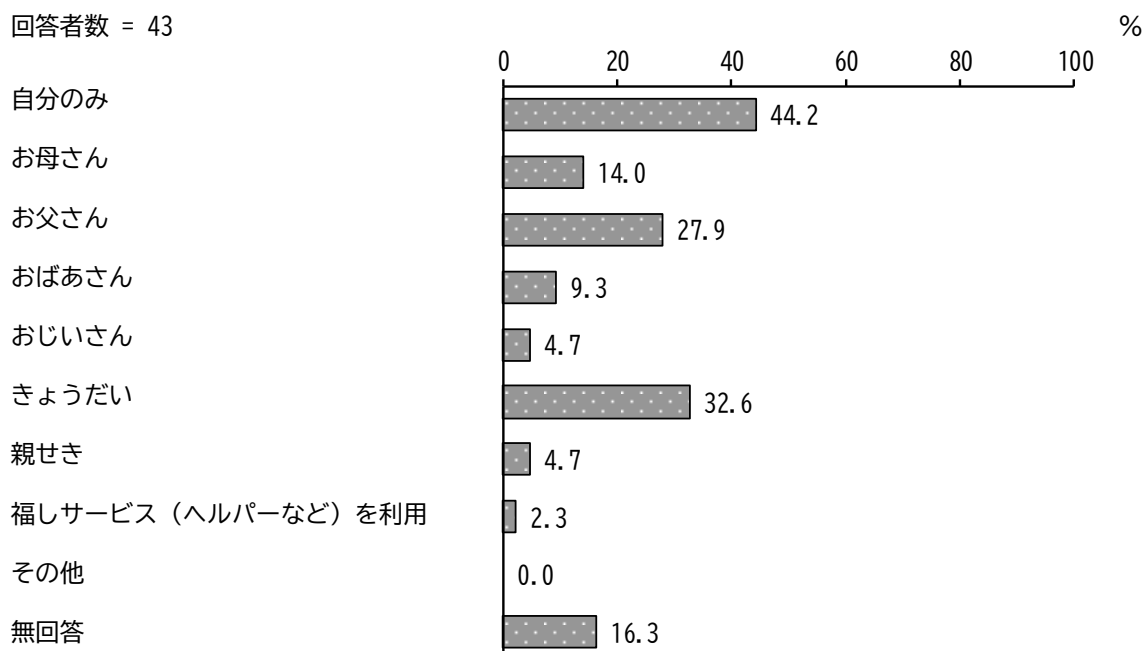
回答者数 = 43



③ あなたはその方へのお世話をだれかといっしょにしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「自分のみ」の割合が44.2%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が32.6%、「お父さん」の割合が27.9%となっています。

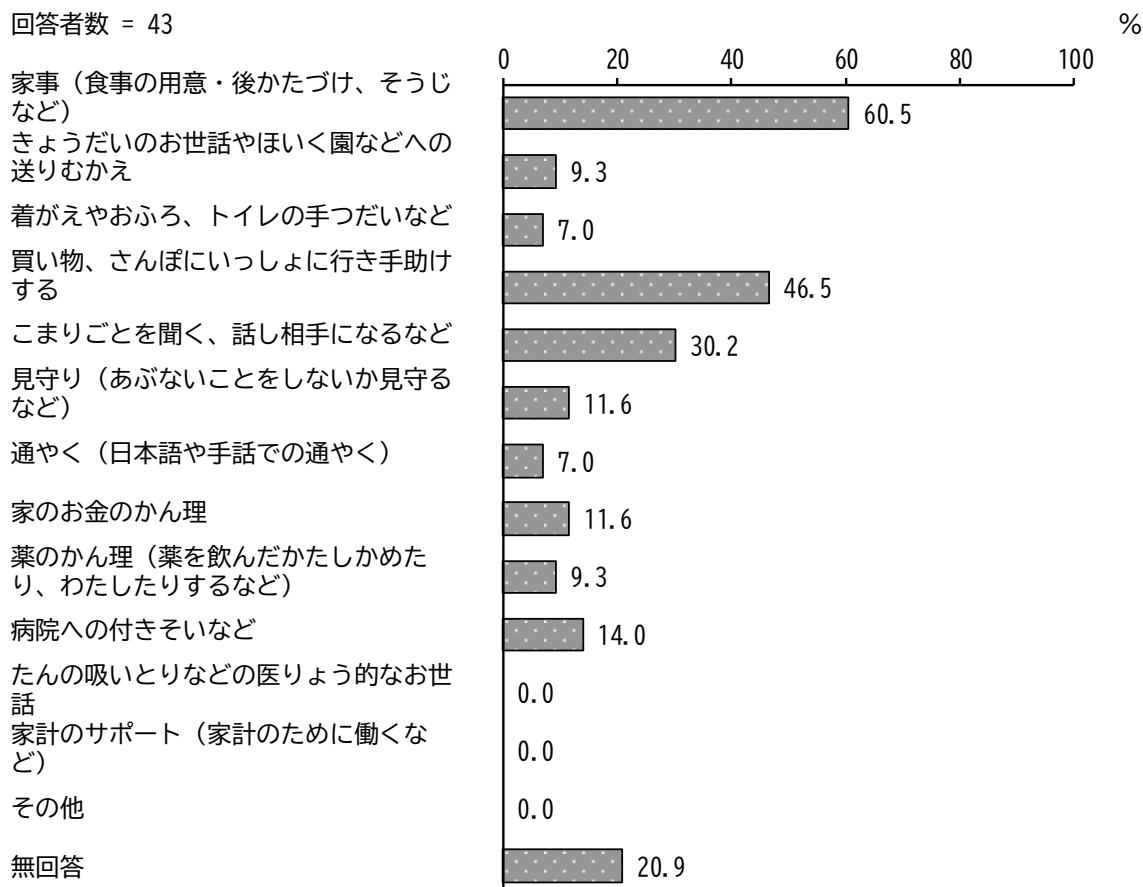
回答者数 = 43



④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の用意・後かたづけ、そうじなど）」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「買い物、さんぽにいっしょに行き手助けする」の割合が 46.5%、「こまりごとを聞く、話し相手になるなど」の割合が 30.2%となっています。

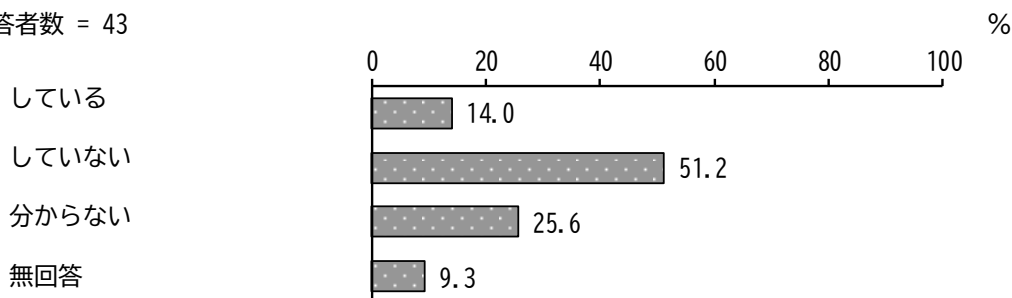
回答者数 = 43



⑤ お世話をひつようとしている方は、区がていきょうするサービス（ホームヘルパーなど）を使っていますか。

「していない」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「分からない」の割合が 25.6%、「している」の割合が 14.0%となっています。

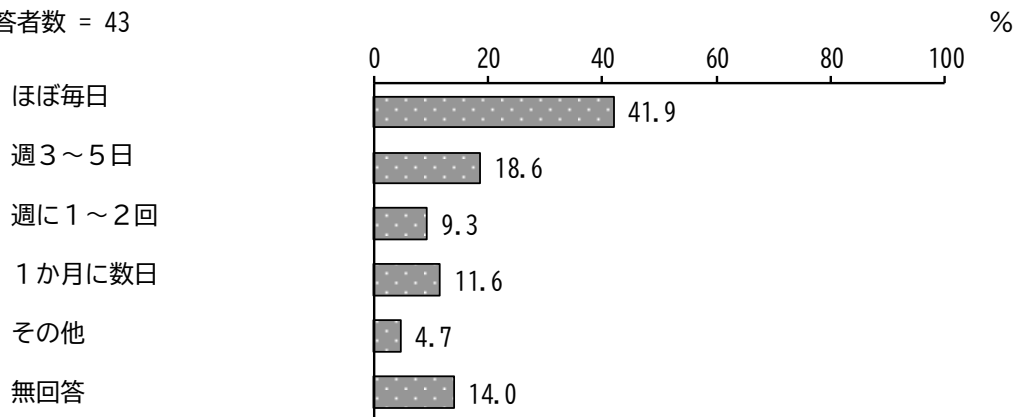
回答者数 = 43



⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が41.9%と最も高く、次いで「週3～5日」の割合が18.6%、「1か月に数日」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 43

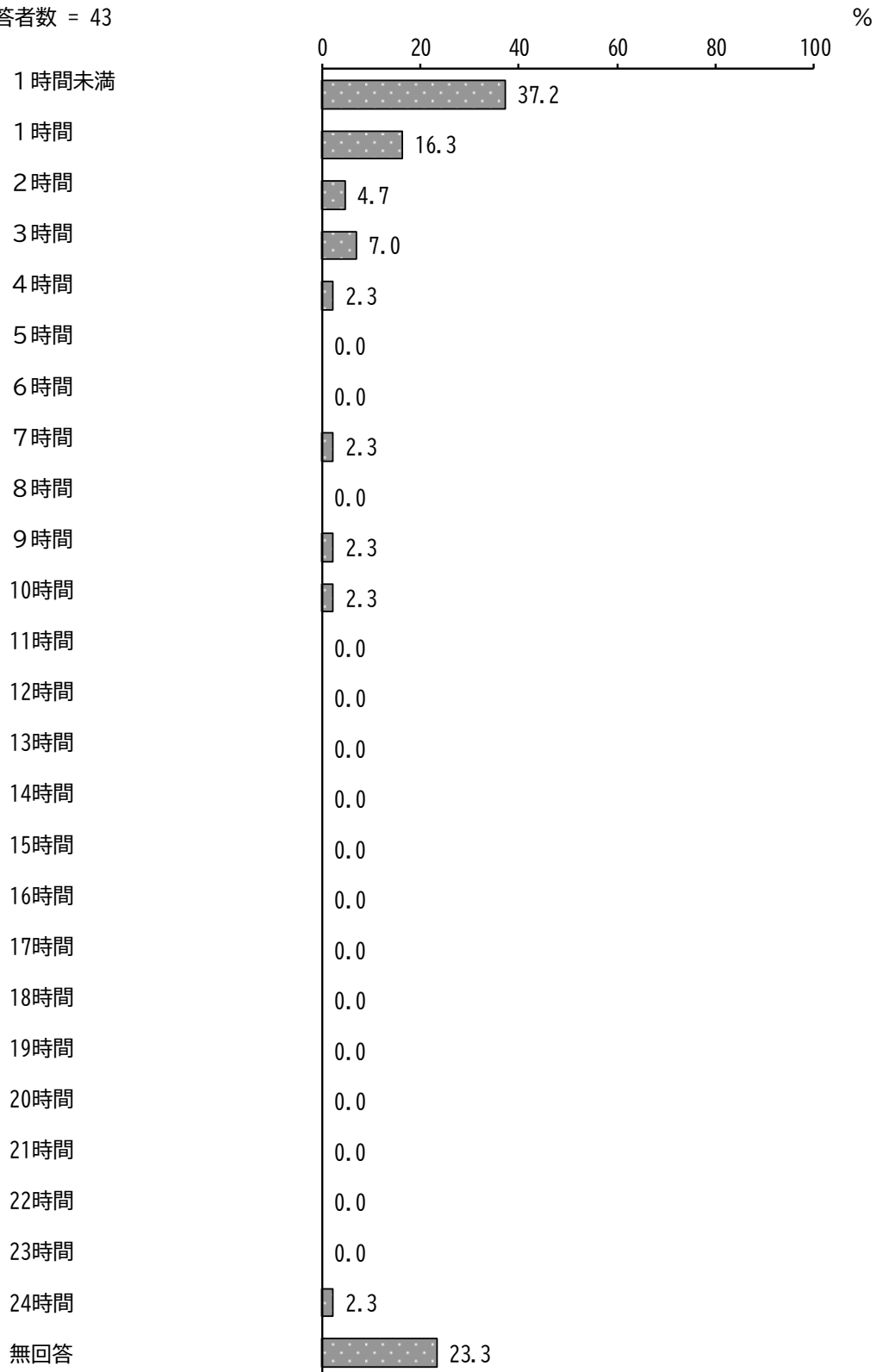


⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。

平日

「1時間未満」の割合が37.2%と最も高く、次いで「1時間」の割合が16.3%となっています。

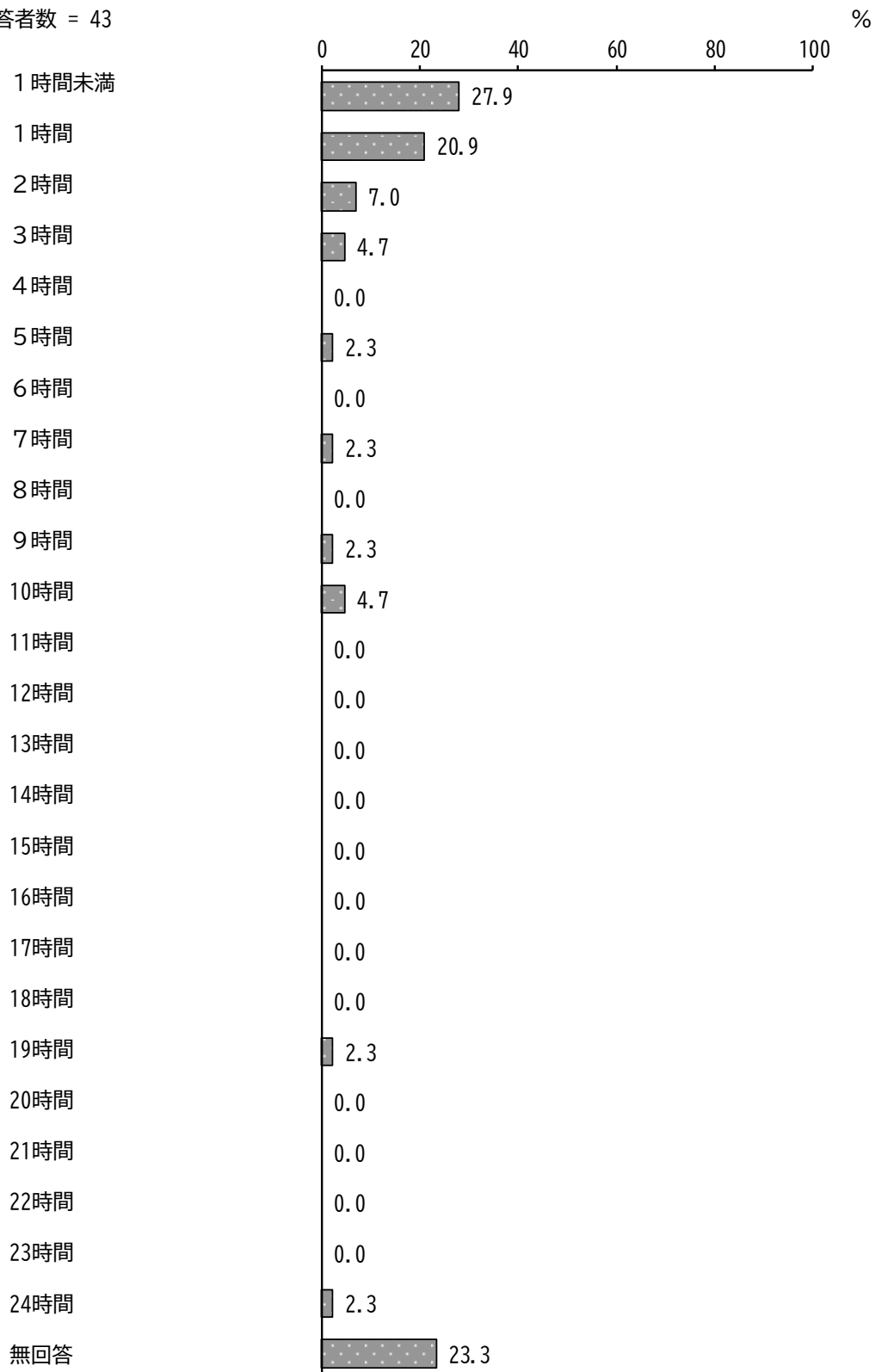
回答者数 = 43



休日

「1時間未満」の割合が27.9%と最も高く、次いで「1時間」の割合が20.9%となっています。

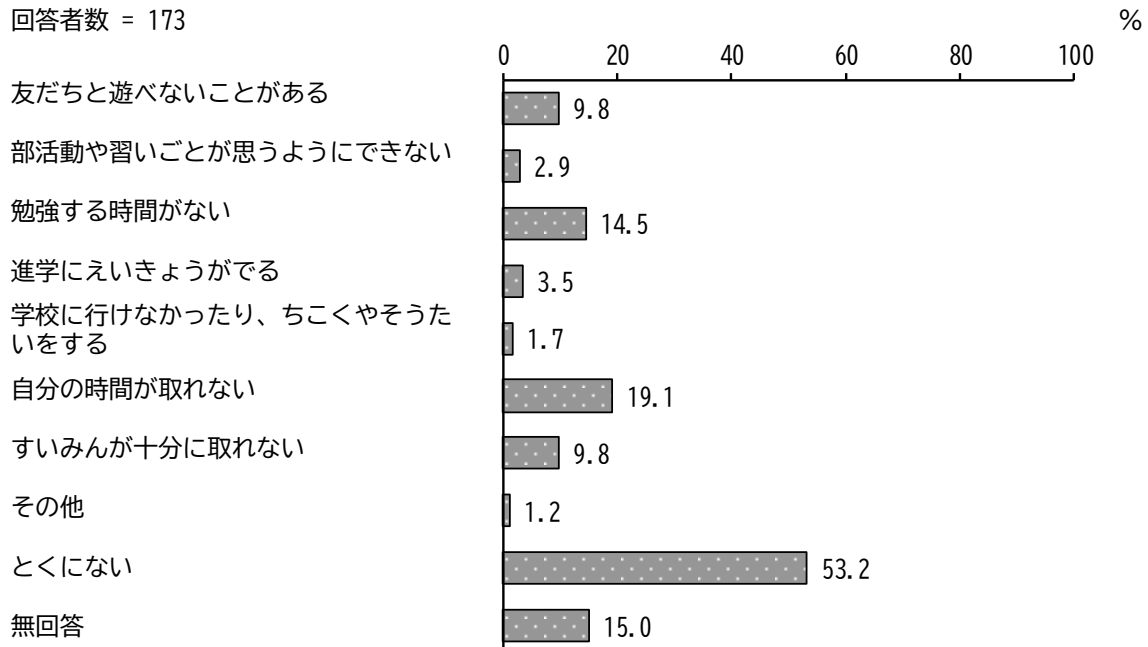
回答者数 = 43



問10 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなけいけんをしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「自分の時間が取れない」の割合が19.1%、「勉強する時間がない」の割合が14.5%となっています。

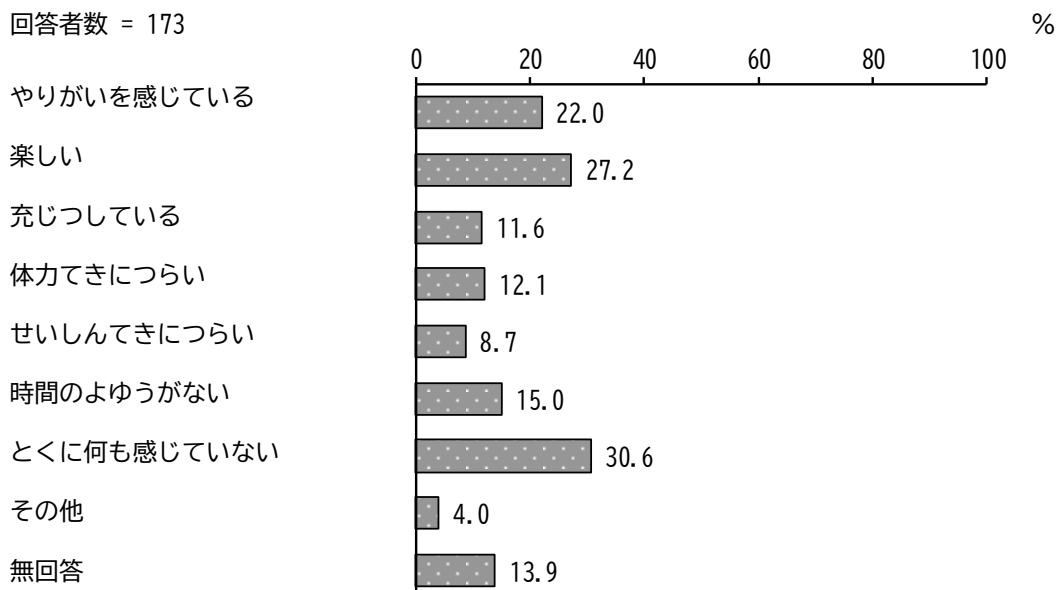
回答者数 = 173



問11 あなたはお世話をすることについて、どのようなことを感じていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくに何も感じていない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「楽しい」の割合が27.2%、「やりがいを感じている」の割合が22.0%となっています。

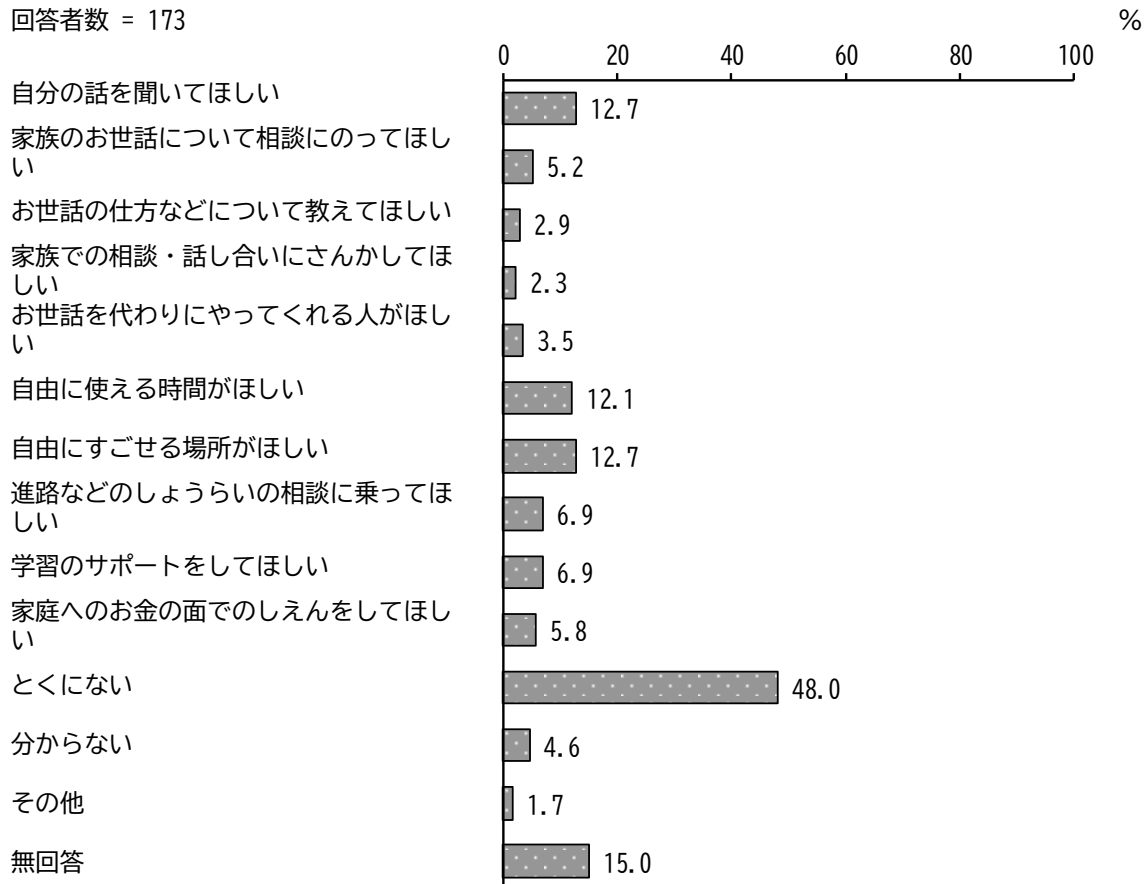
回答者数 = 173



問12 あなたが学校やまわりの大人に助けてほしいことや、ひつようとしているしえんはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「とくにない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「自分の話を聞いてほしい」、「自由にすごせる場所がほしい」の割合が12.7%となっています。

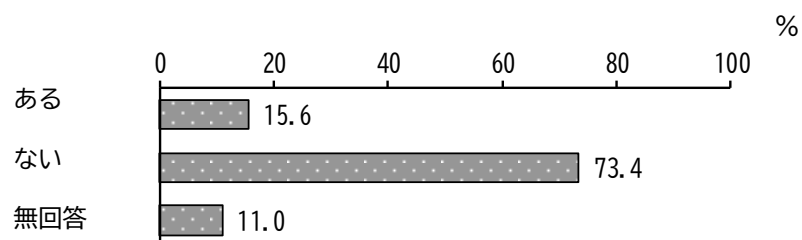
回答者数 = 173



問13 あなたはお世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみをだれかに相談したことはありますか。

「ある」の割合が15.6%、「ない」の割合が73.4%となっています。

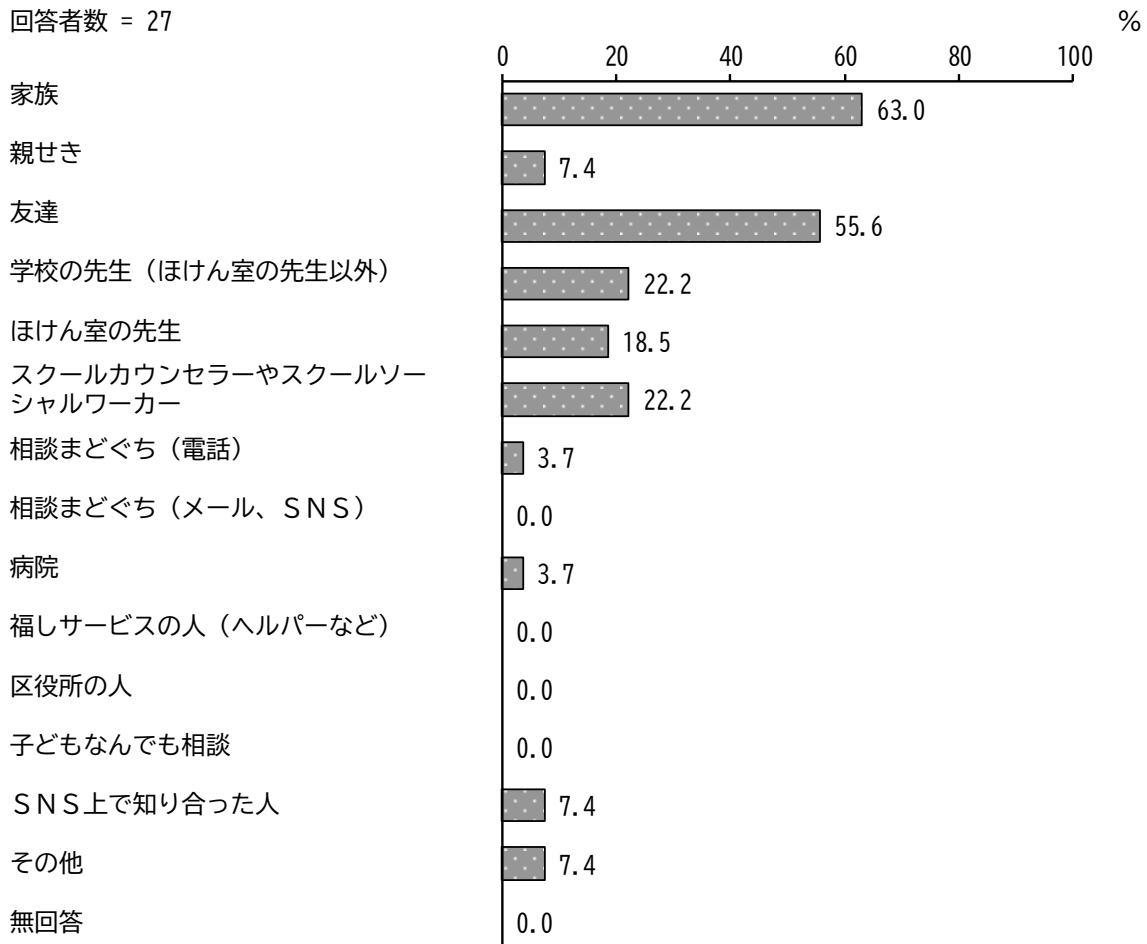
回答者数 = 173



問 14 問 13 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたはだれに相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「家族」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「友達」の割合が 55.6%、「学校の先生（ほけん室の先生以外）」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」の割合が 22.2%となっています。

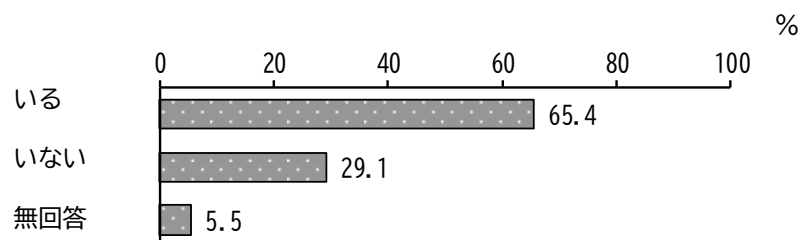
回答者数 = 27



問 16 問 13 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話をひつようとしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。

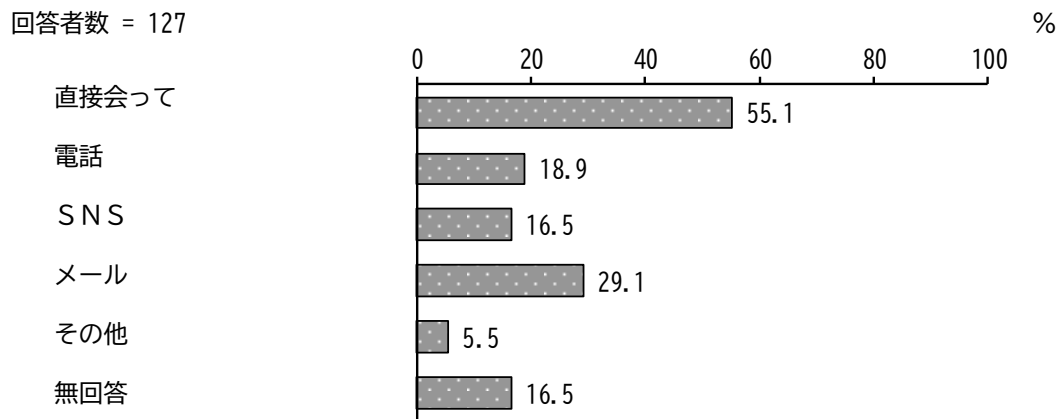
「いる」の割合が 65.4%、「いない」の割合が 29.1%となっています。

回答者数 = 127



問17 問13で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。
(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が55.1%と最も高く、次いで「メール」の割合が29.1%、「電話」の割合が18.9%となっています。

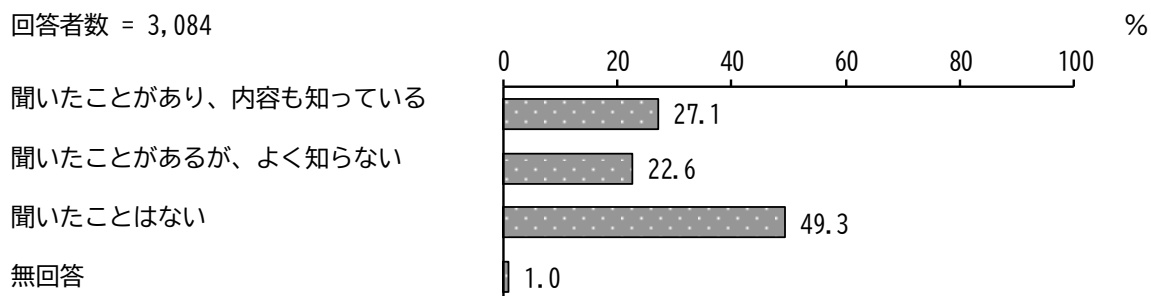


IV. ヤングケアラーについて

問 18 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありますか。

「聞いたことはない」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 27.1%、「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が 22.6%となっています。

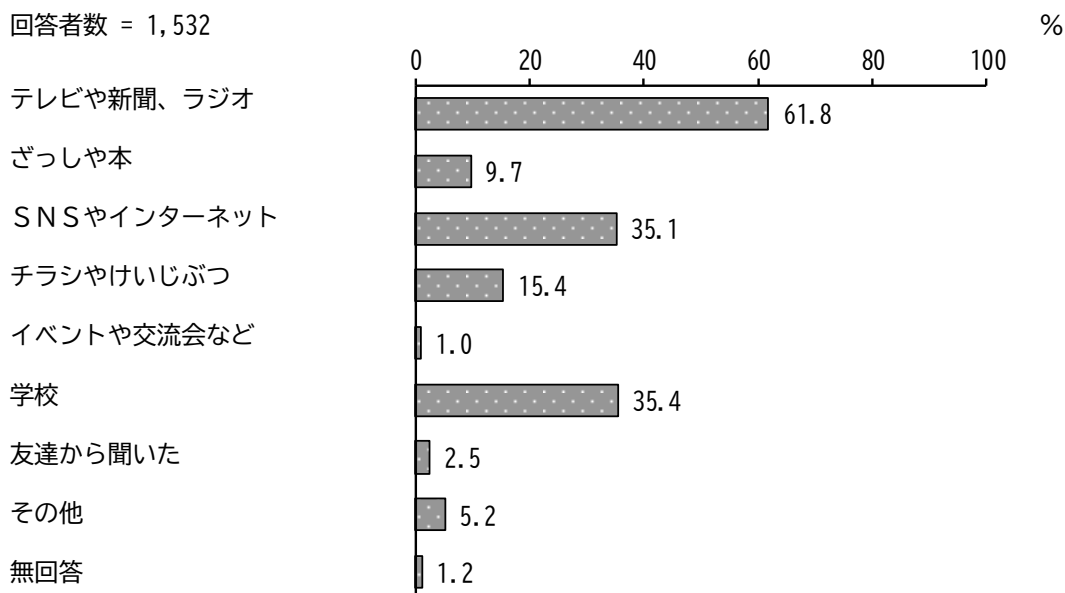
回答者数 = 3,084



問 19 問 18 で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「学校」の割合が 35.4%、「SNS やインターネット」の割合が 35.1%となっています。

回答者数 = 1,532

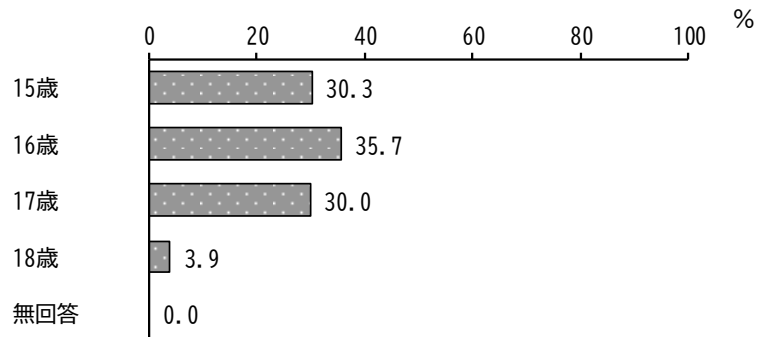


3 高校生

I. 回答者属性

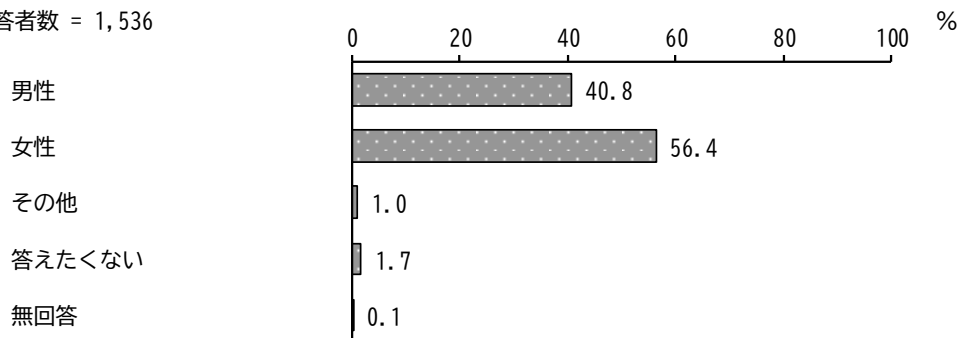
問1 あなたの年齢を教えてください。

回答者数 = 1,536



問2 あなたの性別を教えてください。

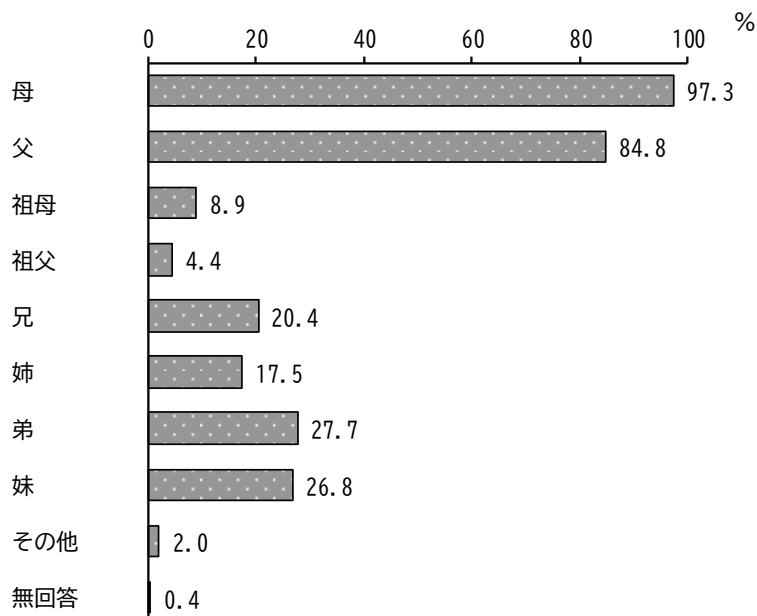
回答者数 = 1,536



問3 あなたが現在、一緒に住んでいる家族を教えてください。(離れている家族を除く)

「母」の割合が97.3%と最も高く、次いで「父」の割合が84.8%、「弟」の割合が27.7%となっています。

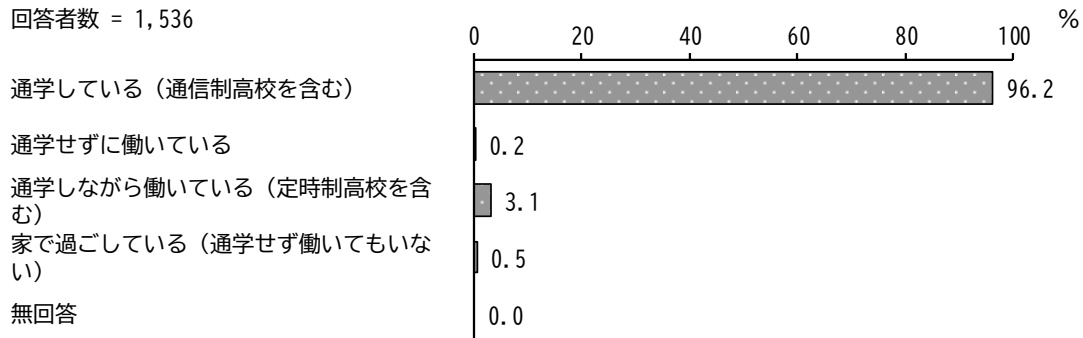
回答者数 = 1,536



問4 あなたの状況について教えてください。

「通学している（通信制高校を含む）」の割合が96.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,536

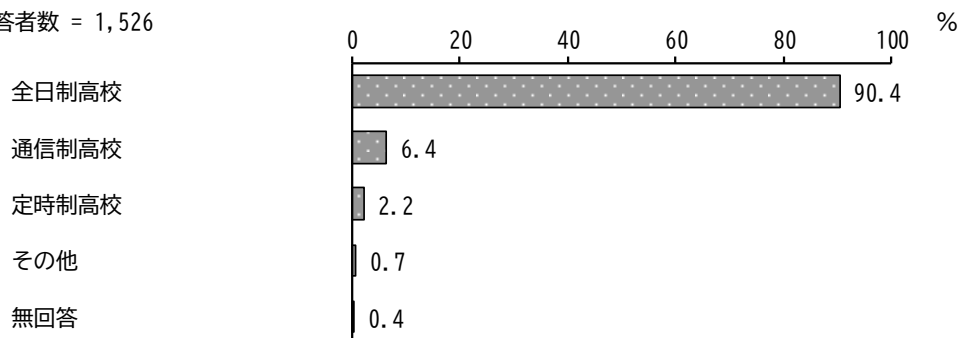


問5 問4で「通学している」「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。

あなたの通っている学校について教えてください。

「全日制高校」の割合が90.4%と最も高くなっています。

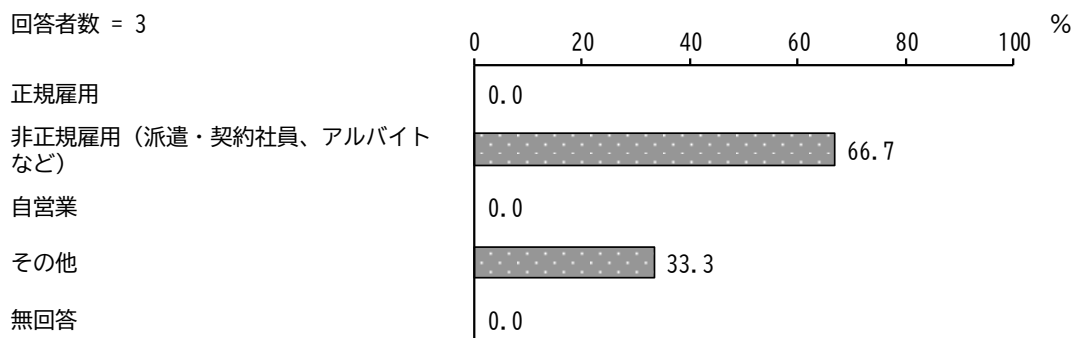
回答者数 = 1,526



問6 問4で「通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。
あなたの働き方について教えてください。

「非正規雇用（派遣・契約社員、アルバイトなど）」が2件となっています。

回答者数 = 3

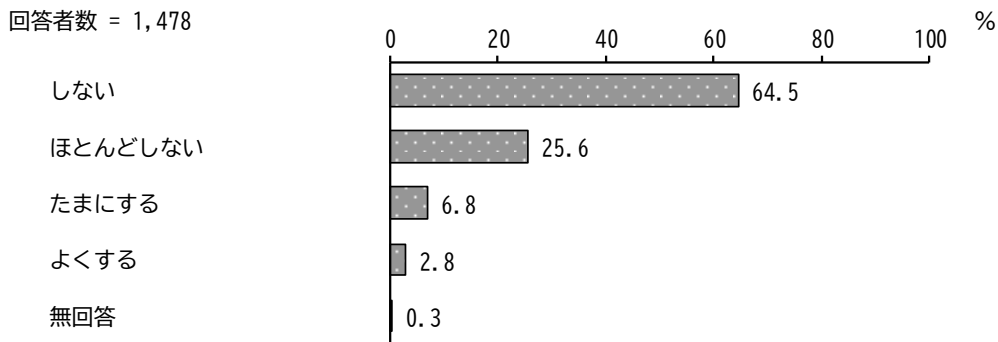


Ⅱ. あなたの普段の生活について

問7 問4で「通学している」と回答した方におたずねします。
学校生活について教えてください。

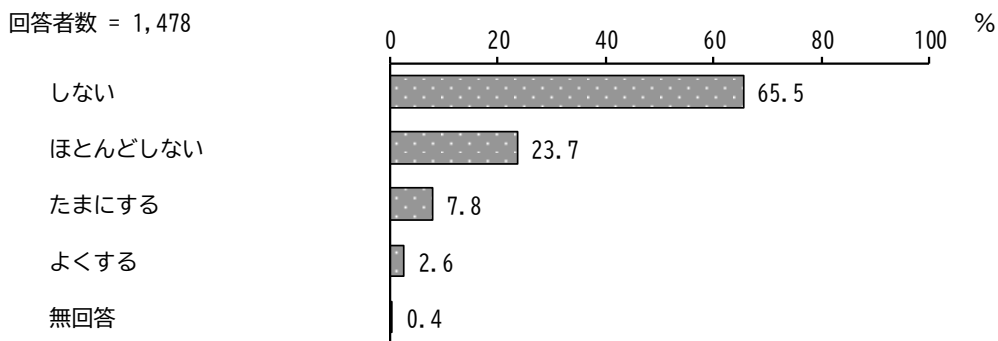
① あなたは学校を欠席することがありますか。

「しない」の割合が64.5%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が25.6%となっています。



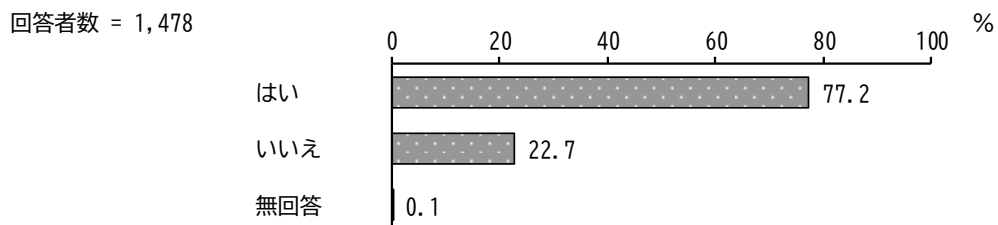
② あなたは学校を遅刻・早退することがありますか。

「しない」の割合が65.5%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が23.7%となっています。



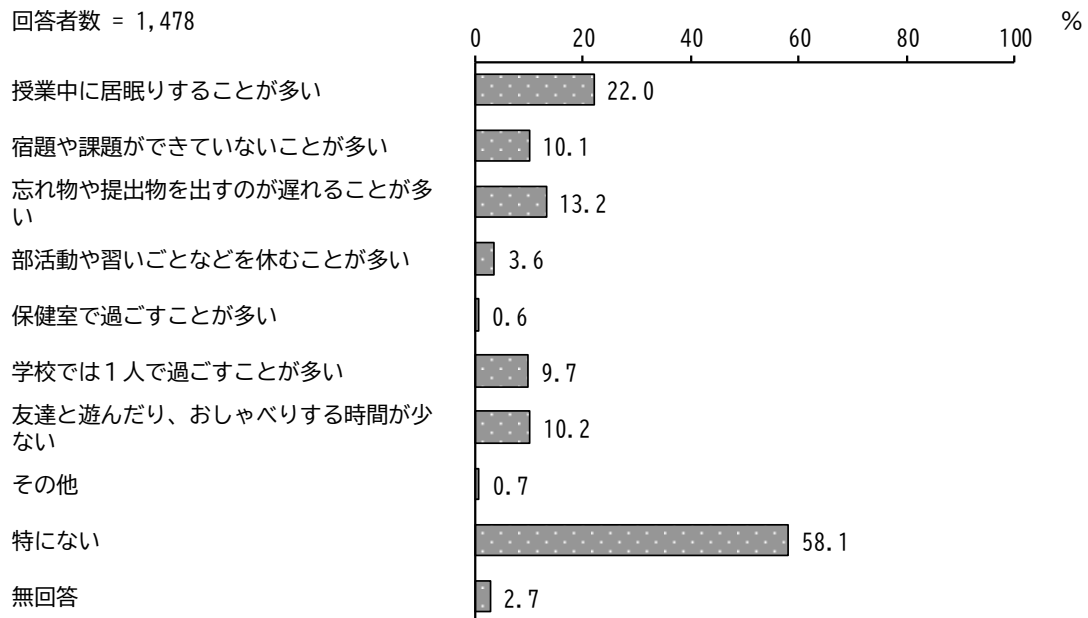
③ あなたは放課後やお休みの日に、部活動や塾・習いごとをしていますか。

「はい」の割合が77.2%、「いいえ」の割合が22.7%となっています。



④ あなたの普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

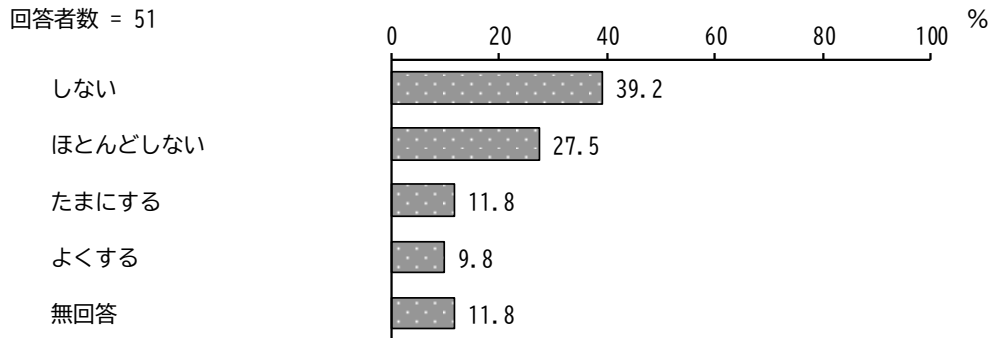
「特にない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「授業中に居眠りすることが多い」の割合が 22.0%、「忘れ物や提出物を出すのが遅れることが多い」の割合が 13.2%となっています。



問8 問4で「通学せずに働いている」「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。
 仕事の状況について教えてください。

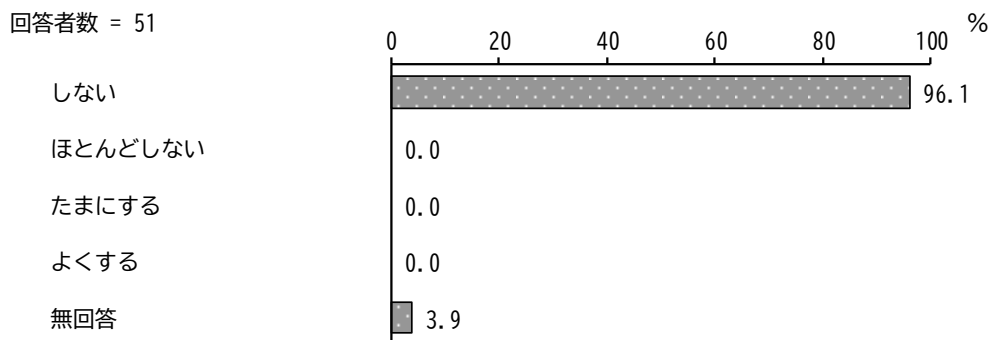
① あなたは仕事を欠席することがありますか。

「しない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が27.5%、「たまにする」の割合が11.8%となっています。



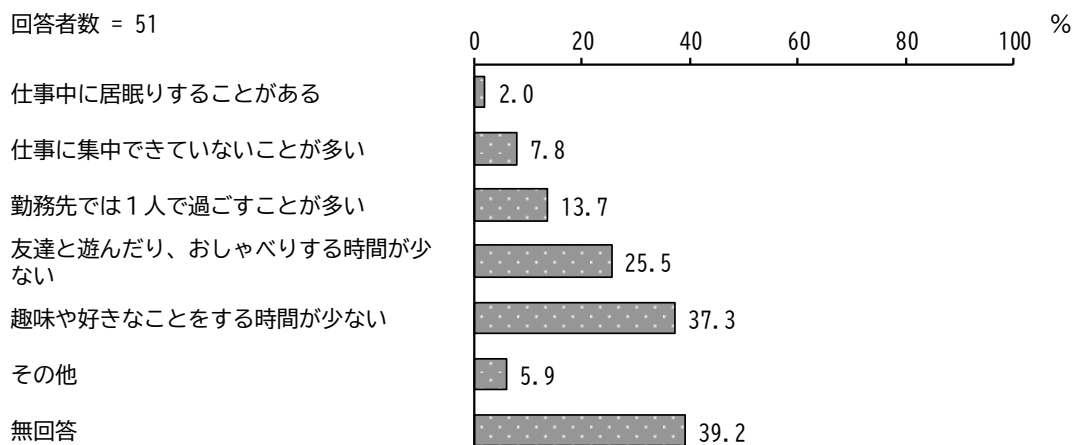
② あなたは仕事を遅刻・早退することがありますか。

「しない」の割合が96.1%と最も高くなっています。



③ あなたの普段の生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

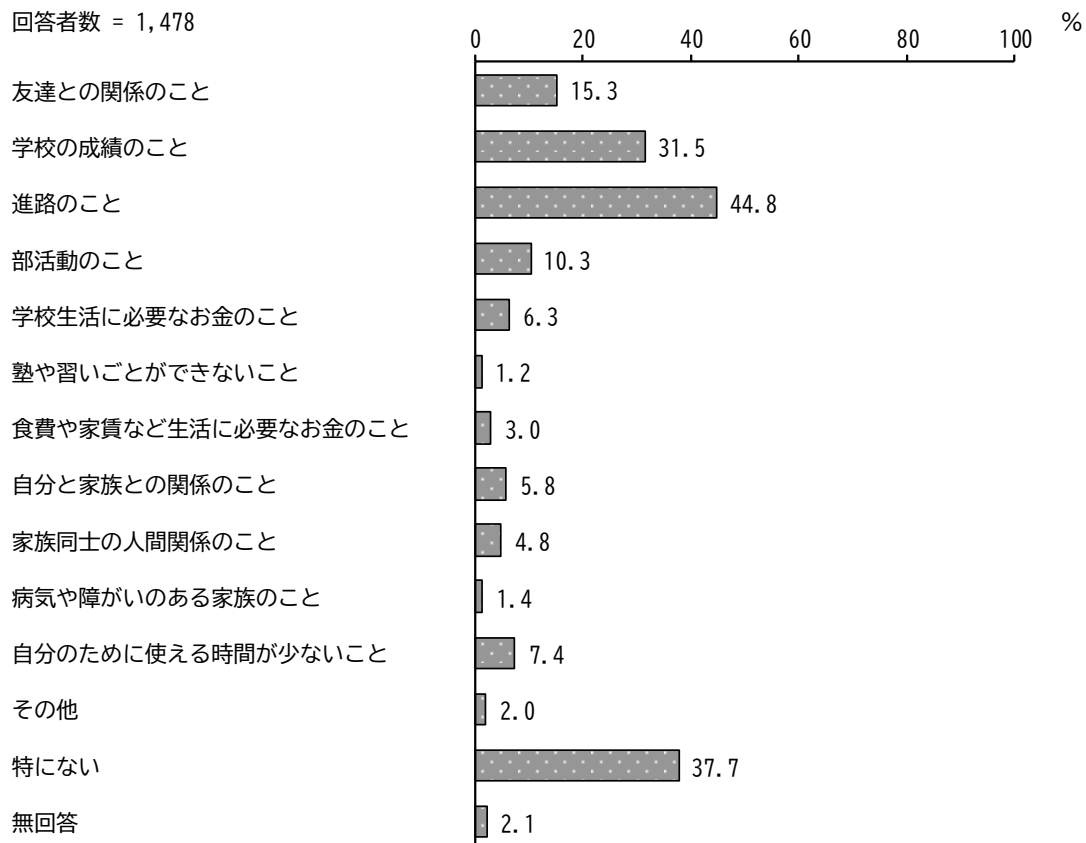
「趣味や好きなことをする時間が少ない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「友達と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない」の割合が25.5%、「勤務先では1人で過ごすことが多い」の割合が13.7%となっています。



問9 問4で「通学している」と回答した方におたずねします。

現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

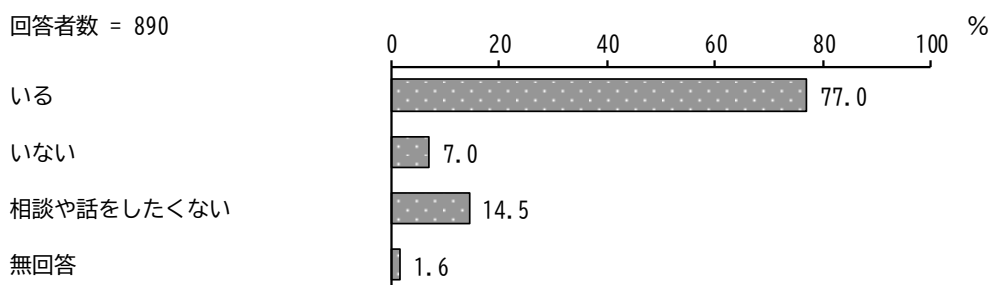
「進路のこと」の割合が44.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が37.7%、「学校の成績のこと」の割合が31.5%となっています。



問10 問9で1～12のいずれかを回答した方におたずねします。

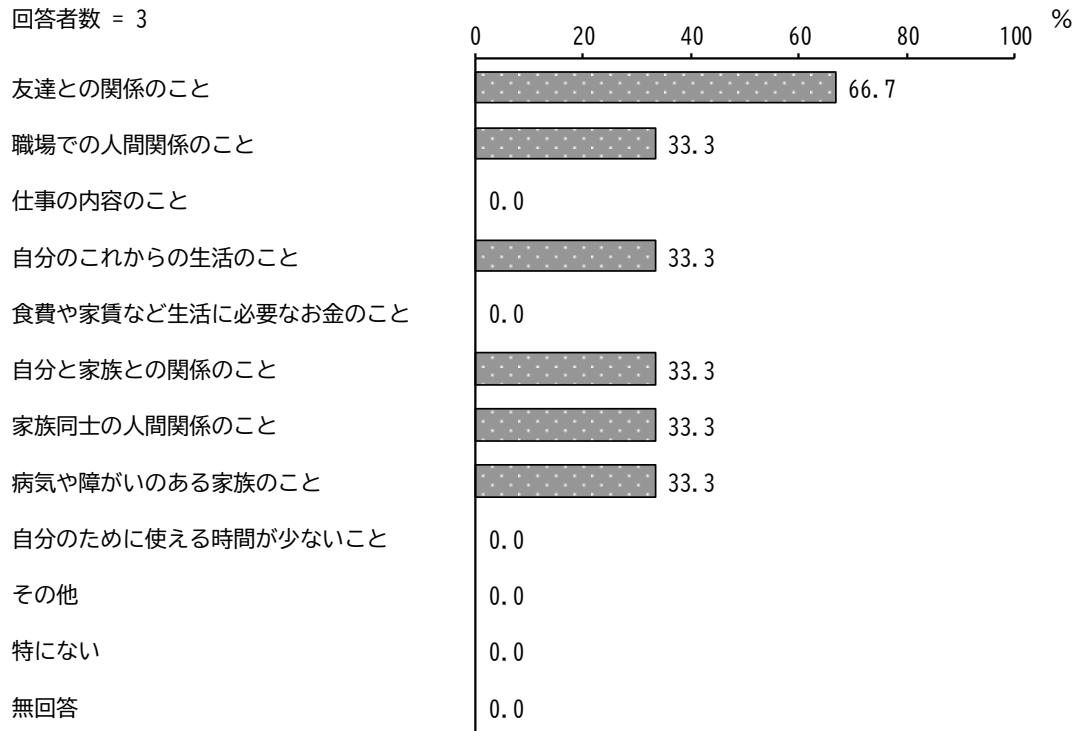
回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が77.0%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が14.5%となっています。



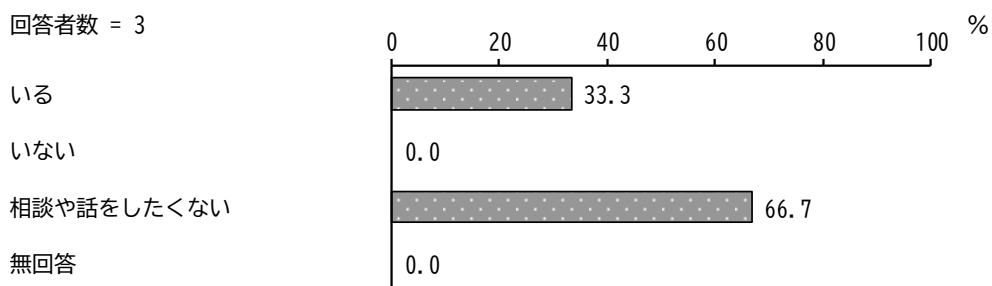
問11 問4で「通学せずに働いている」と回答した方におたずねします。
 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「友達との関係のこと」が2件となっています。「職場での人間関係のこと」、「自分のこれからの生活のこと」、「自分と家族との関係のこと」が1件となっています。



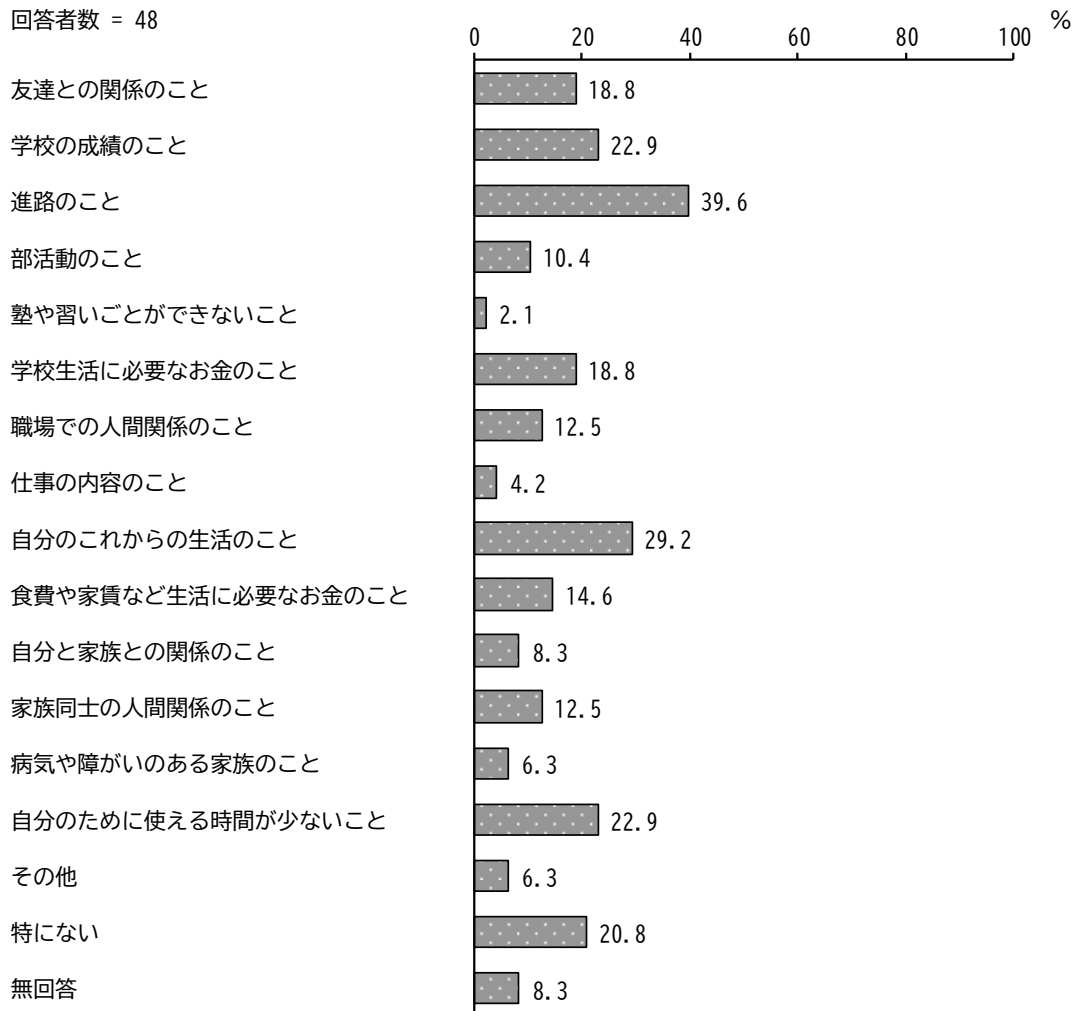
問12 問11で1～11のいずれかを回答した方におたずねします。
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「相談や話をしたくない」が2件となっています。「いる」が1件となっています。



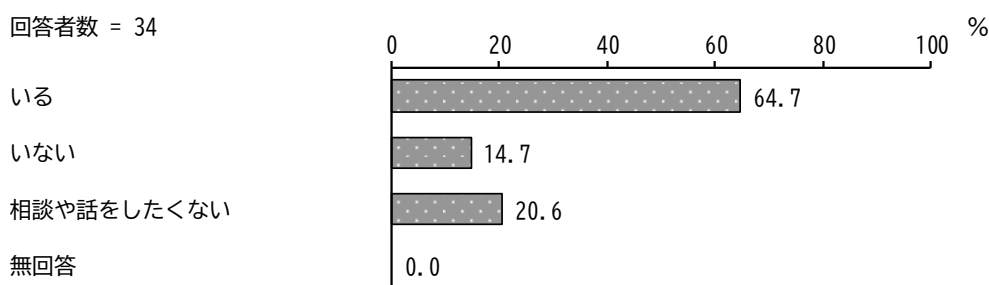
問13 問4で「通学しながら働いている」と回答した方におたずねします。
 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「進路のこと」の割合が39.6%と最も高く、次いで「自分のこれからの生活のこと」の割合が29.2%、「学校の成績のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」の割合が22.9%となっています。



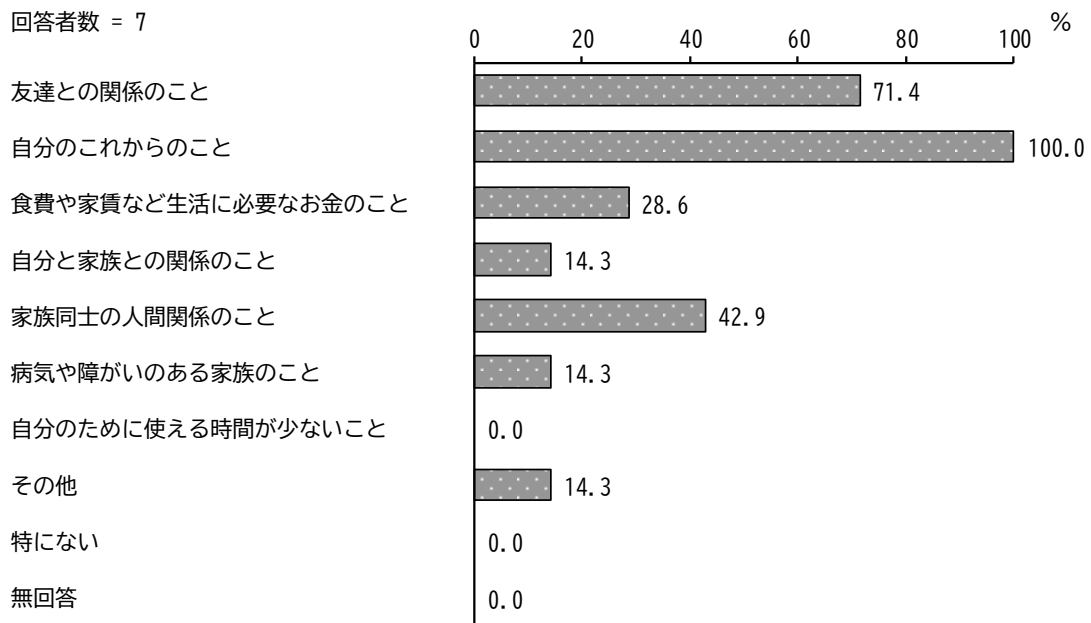
問14 問13で1～15のいずれかを回答した方におたずねします。
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

「いる」の割合が64.7%と最も高く、次いで「相談や話をしたくない」の割合が20.6%、「いない」の割合が14.7%となっています。



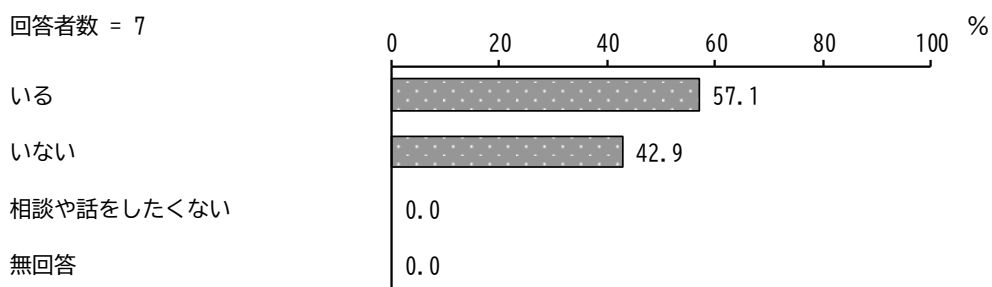
問15 問4で「家で過ごしている」と回答した方におたずねします。
 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「自分のこれからのこと」が7件となっています。「友達との関係のこと」が5件、「家族同士の人間関係のこと」が3件となっています。



問16 問15で1～8のいずれかを回答した方におたずねします。
 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

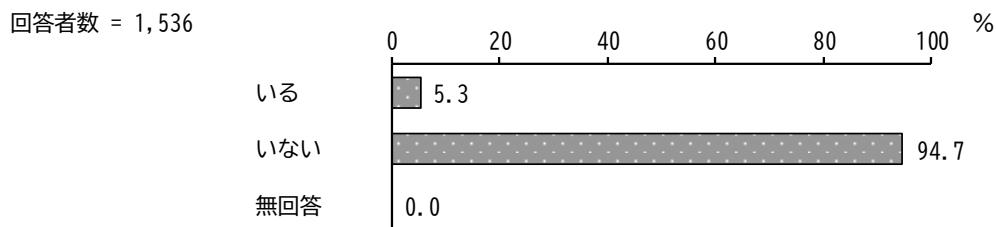
「いる」が4件となっています。「いない」が3件となっています。



Ⅲ. あなたの家庭や家族について

問17 家族の中に、あなたがお世話をしている方はいますか。

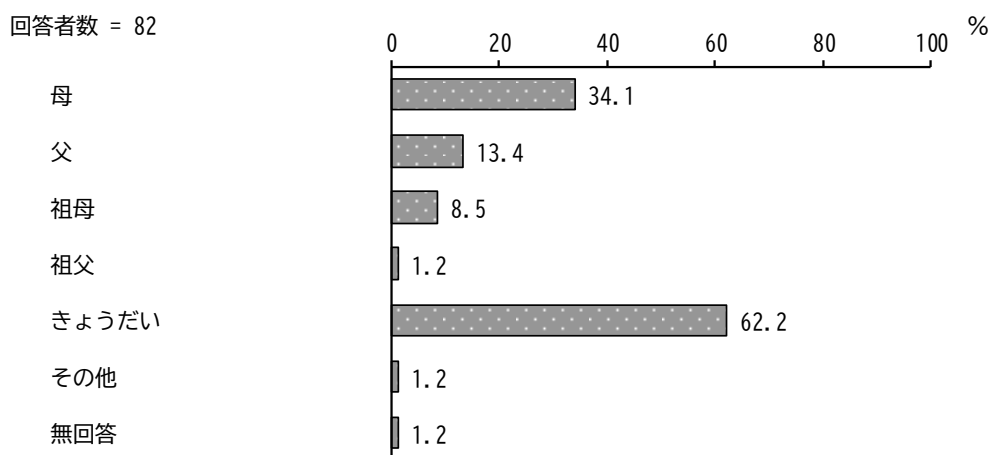
「いる」の割合が5.3%、「いない」の割合が94.7%となっています。



問18 問17で「いる」と回答した方におたずねします。

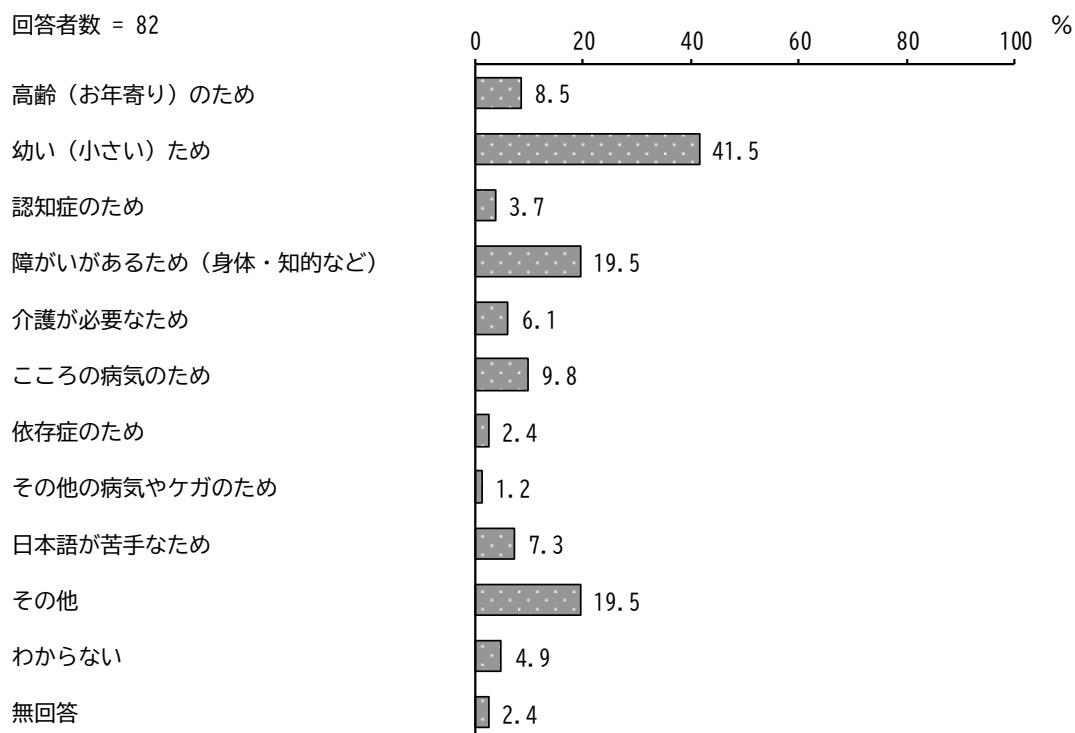
① あなたがお世話をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてを選択)

「きょうだい」の割合が62.2%と最も高く、次いで「母」の割合が34.1%、「父」の割合が13.4%となっています。



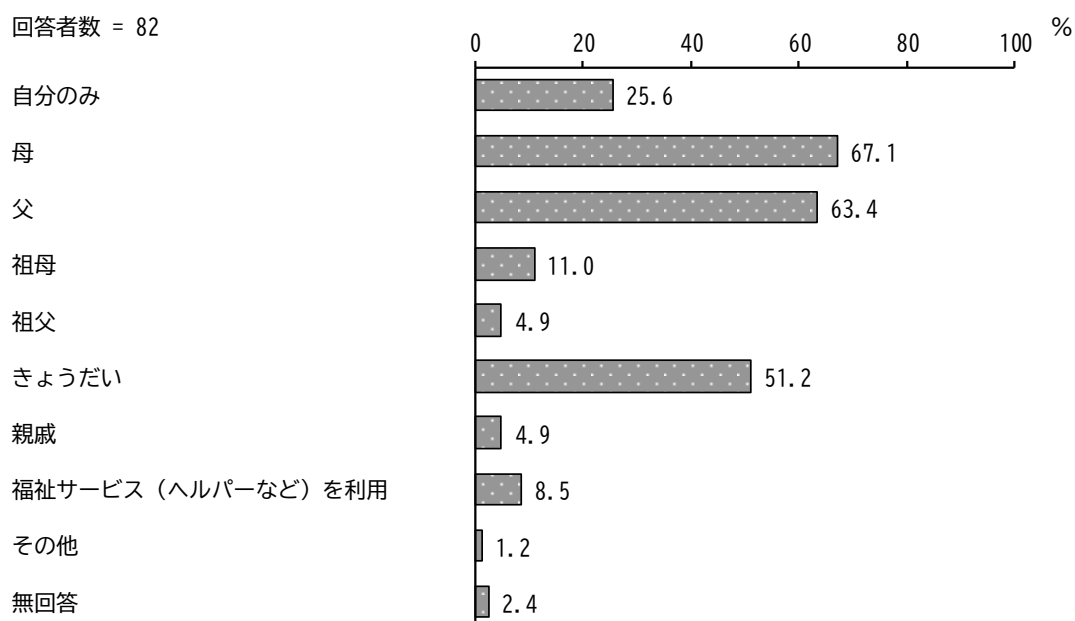
② その方がどのような理由でお世話を必要としているのか教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「若い(小さい)ため」の割合が41.5%と最も高く、次いで「障がいがあるため(身体・知的など)」の割合が19.5%となっています。



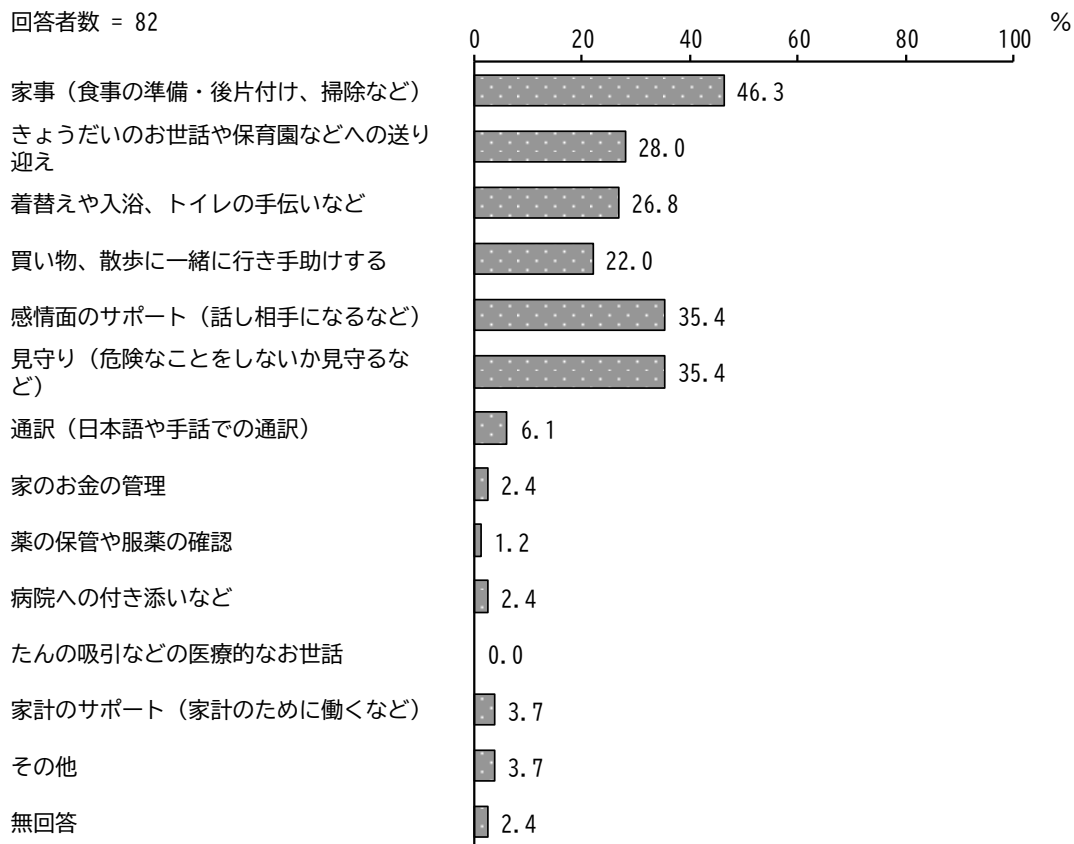
③ あなたはその方へのお世話を誰かと一緒にしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「母」の割合が67.1%と最も高く、次いで「父」の割合が63.4%、「きょうだい」の割合が51.2%となっています。



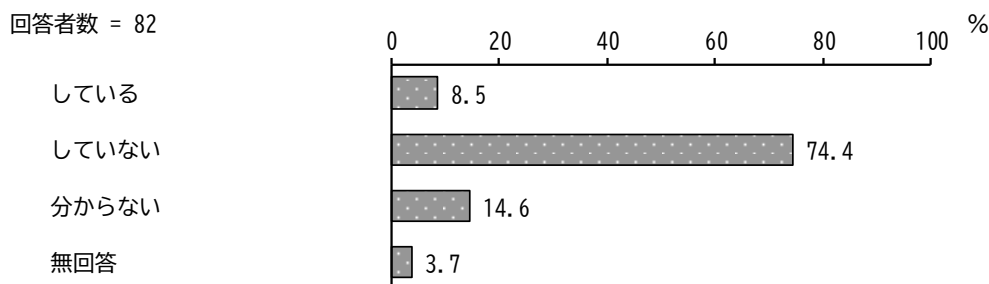
④ あなたはその方にどのようなお世話をしていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「家事（食事の準備・後片付け、掃除など）」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「感情面のサポート（話し相手になるなど）」、「見守り（危険なことをしないか見守るなど）」の割合が 35.4%となっています。



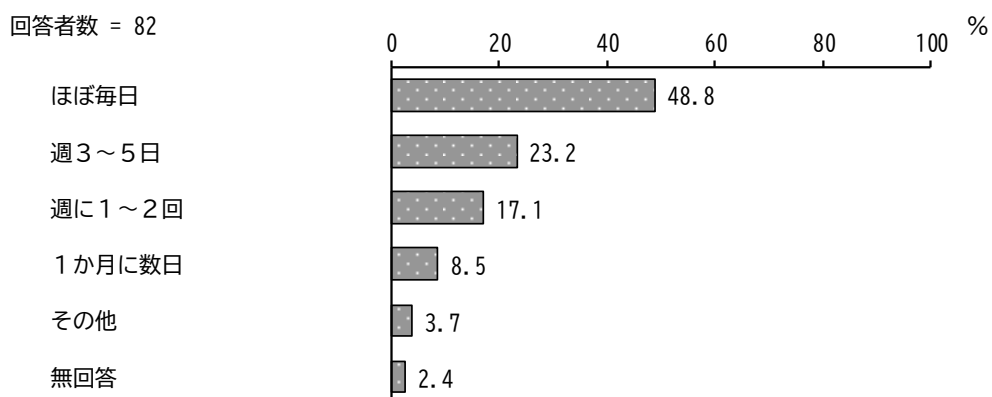
⑤ お世話を必要としている方は、区が提供するサービス（ホームヘルパーなど）を利用していますか。

「していない」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「分からない」の割合が 14.6%となっています。

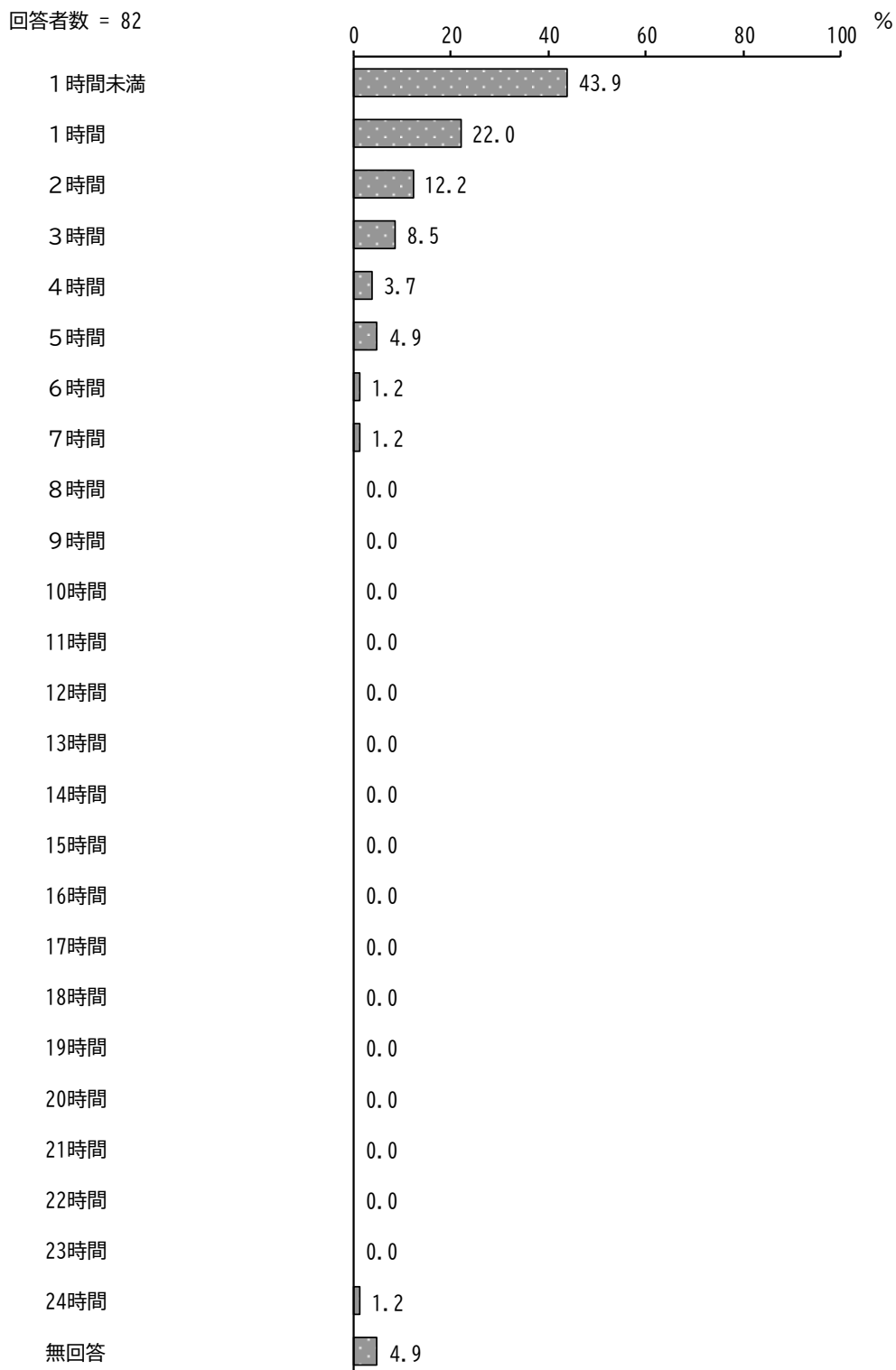


⑥ あなたはその方へのお世話をどのくらいしていますか。

「ほぼ毎日」の割合が48.8%と最も高く、次いで「週3～5日」の割合が23.2%、「週に1～2回」の割合が17.1%となっています。

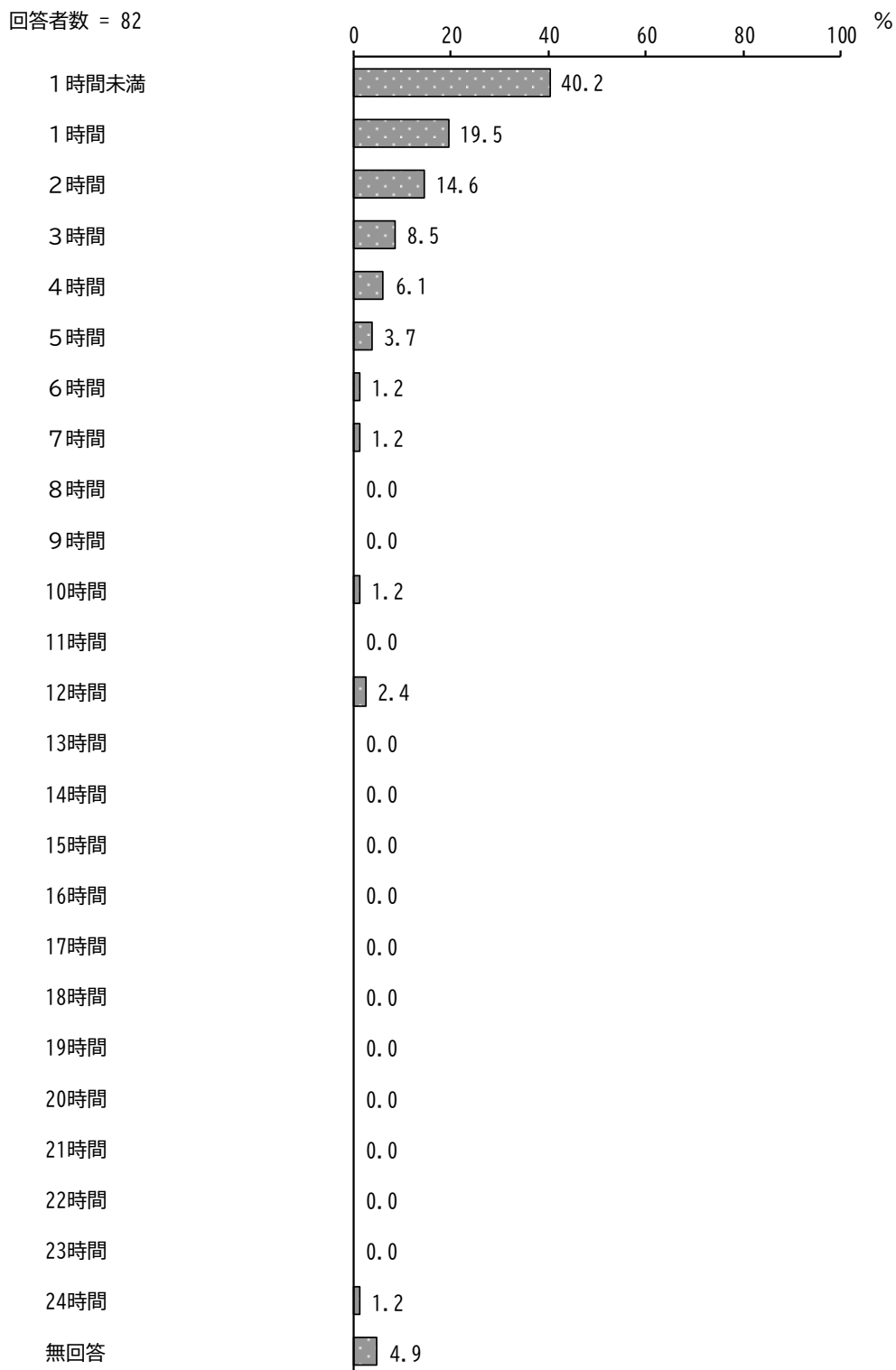


⑦ あなたは平日と土日それぞれで、1日何時間くらいその方へのお世話をしていますか。 平日
「1時間未満」の割合が43.9%と最も高く、次いで「1時間」の割合が22.0%、「2時間」の割合が12.2%となっています。



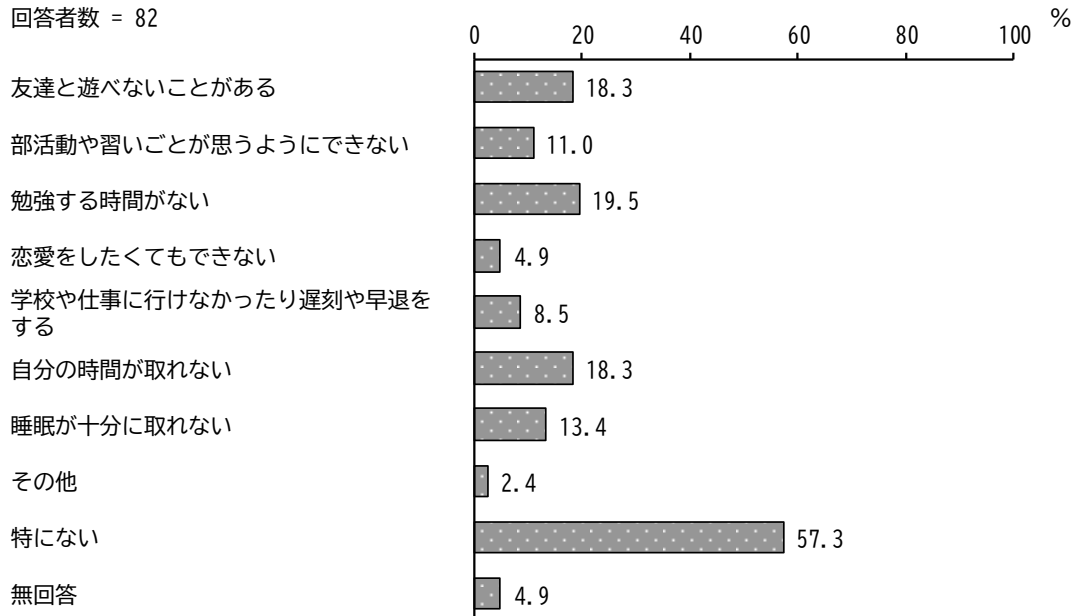
休日

「1時間未満」の割合が40.2%と最も高く、次いで「1時間」の割合が19.5%、「2時間」の割合が14.6%となっています。



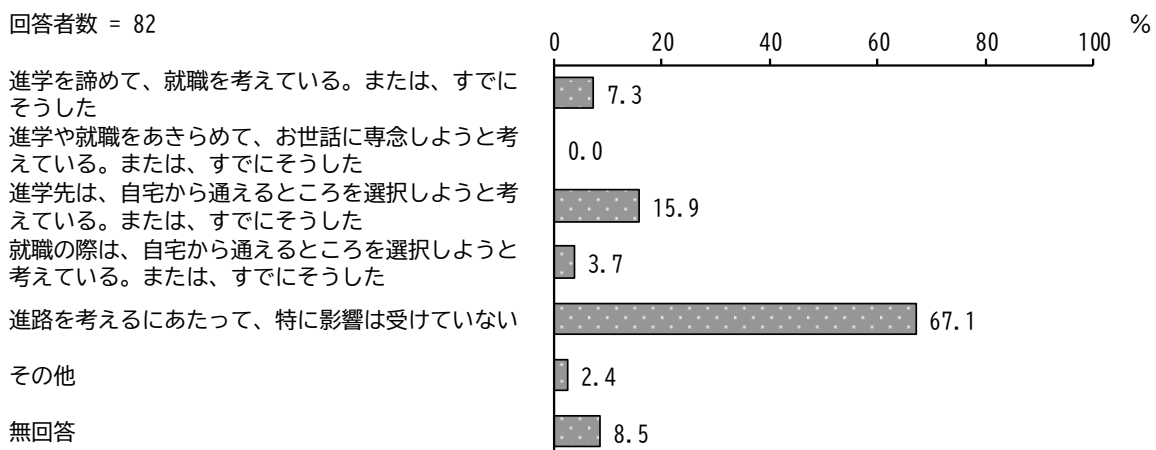
問 19 あなたは家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「特にない」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「勉強する時間がない」の割合が 19.5%、「友達と遊べないことがある」、「自分の時間が取れない」の割合が 18.3%となっています。



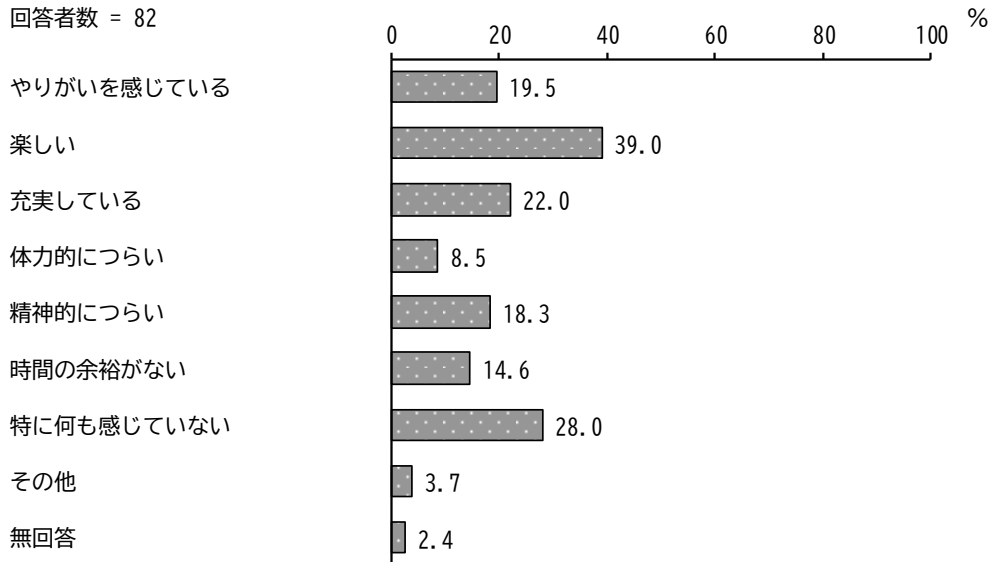
問 20 家族のお世話をしていることによる、あなたの進路への影響について教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

「進路を考えるにあたって、特に影響は受けていない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている。または、すでにそうした」の割合が 15.9%となっています。



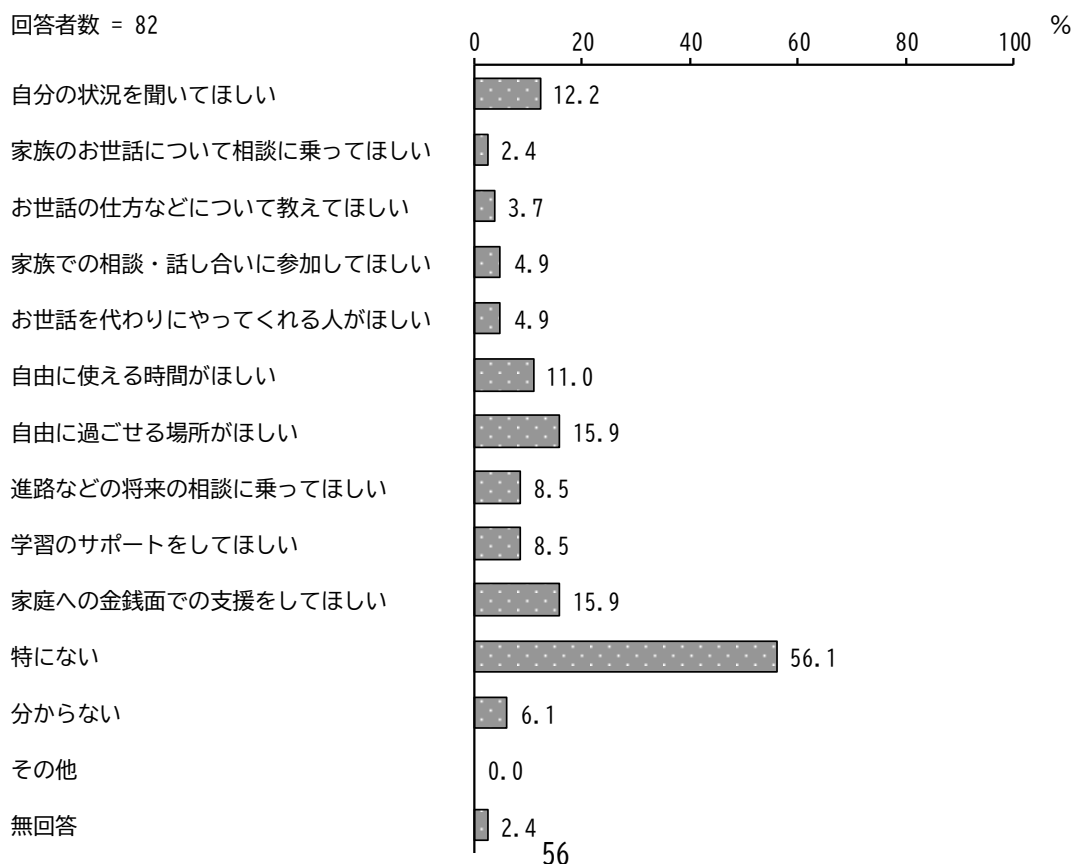
問 21 あなたはお世話をするることについて、どのようなことを感じていますか。(あてはまるものすべてを選択)

「楽しい」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「特に何も感じていない」の割合が 28.0%、「充実している」の割合が 22.0%となっています。



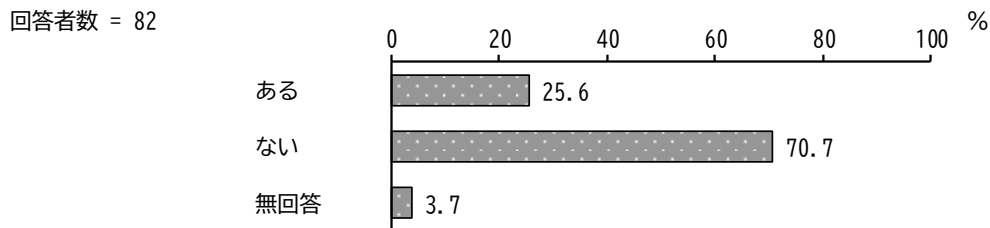
問 22 あなたが学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるものすべてを選択)

「特にない」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「自由に過ごせる場所がほしい」、「家庭への金銭面での支援をしてほしい」の割合が 15.9%となっています。



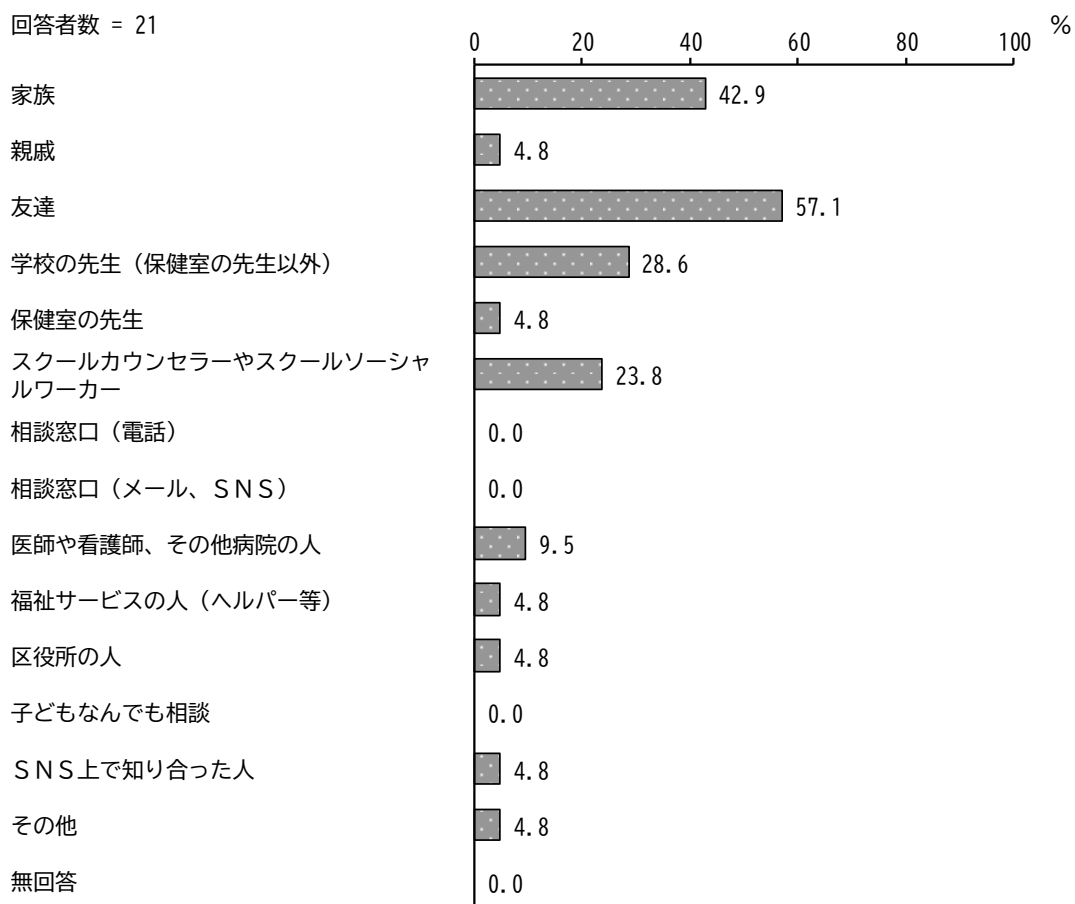
問 23 あなたはお世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

「ある」の割合が 25.6%、「ない」の割合が 70.7%となっています。



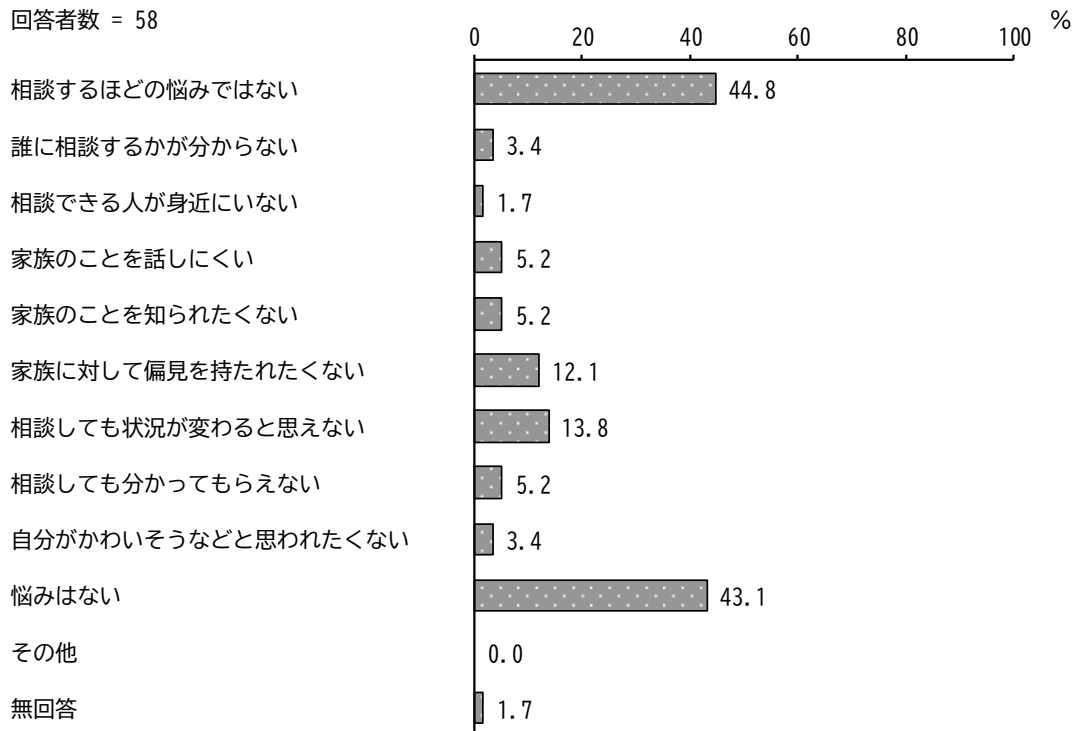
問 24 問 23 で「ある」と回答した方におたずねします。あなたは誰に相談しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「友達」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「家族」の割合が 42.9%、「学校の先生（保健室の先生以外）」の割合が 28.6%となっています。



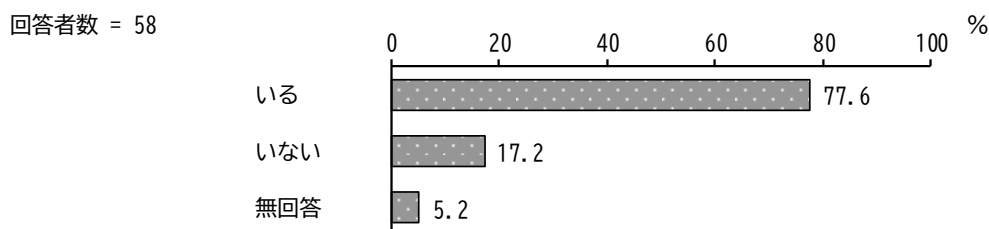
問 25 問 23 で「ない」と回答した方におたずねします。あなたが相談しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてを選択）

「相談するほどの悩みではない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「悩みはない」の割合が 43.1%、「相談しても状況が変わると思えない」の割合が 13.8%となっています。



問 26 問 23 で「ない」と回答した方におたずねします。今後、あなたが話したいと思ったときに、お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

「いる」の割合が 77.6%、「いない」の割合が 17.2%となっています。

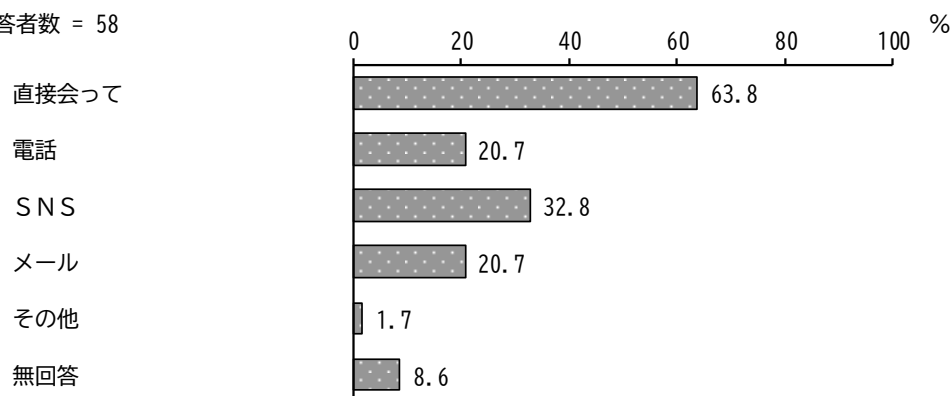


問 27 問 23 で「ない」と回答した方におたずねします。

今後、あなたが話したいと思ったときに、どのような方法で話や相談をしたいですか。(あてはまるものすべてを選択)

「直接会って」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「SNS」の割合が 32.8%、「電話」、「メール」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 58

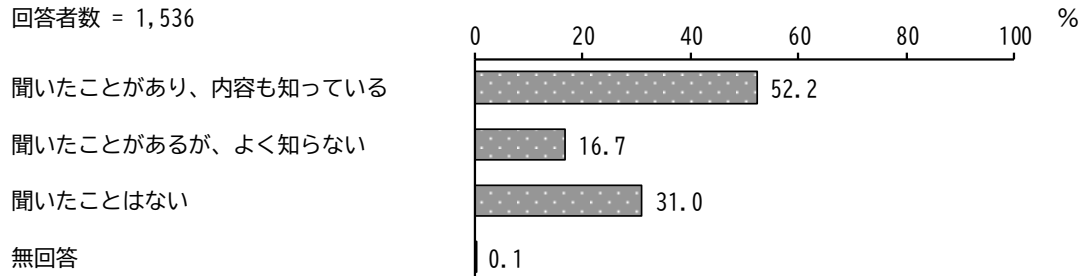


IV. ヤングケアラーについて

問 28 「ヤングケアラー」という言葉を、あなたはこれまでに聞いたことがありましたか。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「聞いたことはない」の割合が 31.0%、「聞いたことがあるが、よく知らない」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 1,536

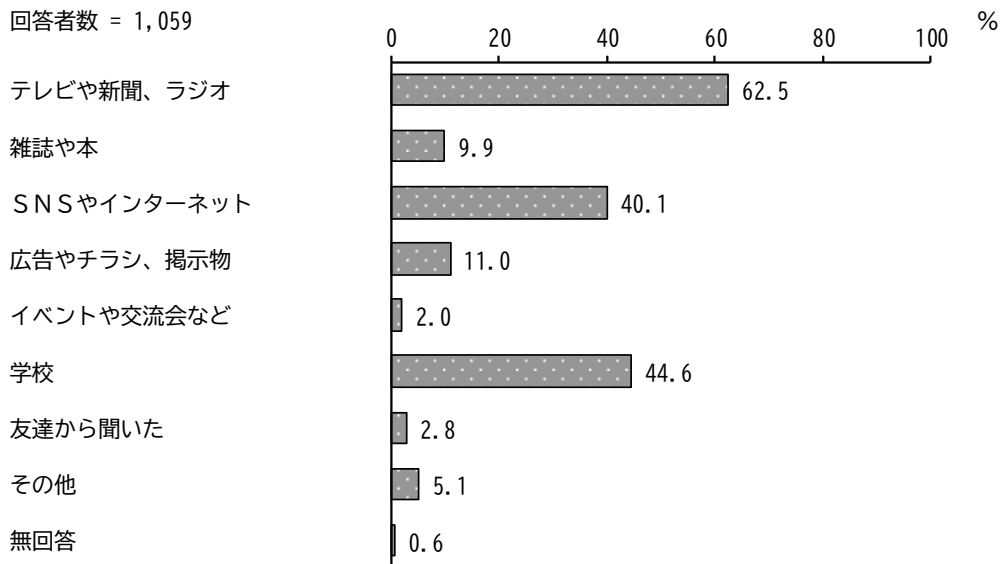


問 29 問 27 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方におたずねします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてを選択)

「テレビや新聞、ラジオ」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が 44.6%、「SNS やインターネット」の割合が 40.1%となっています。

回答者数 = 1,059

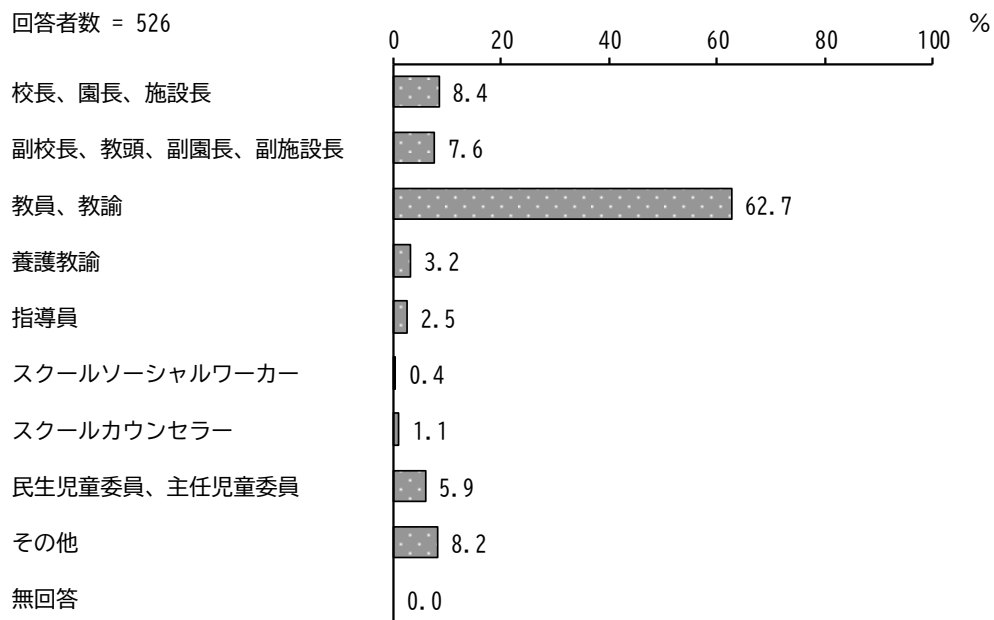


4 関係機関

I. 基本情報

問1 ご回答される方の職種を教えてください。

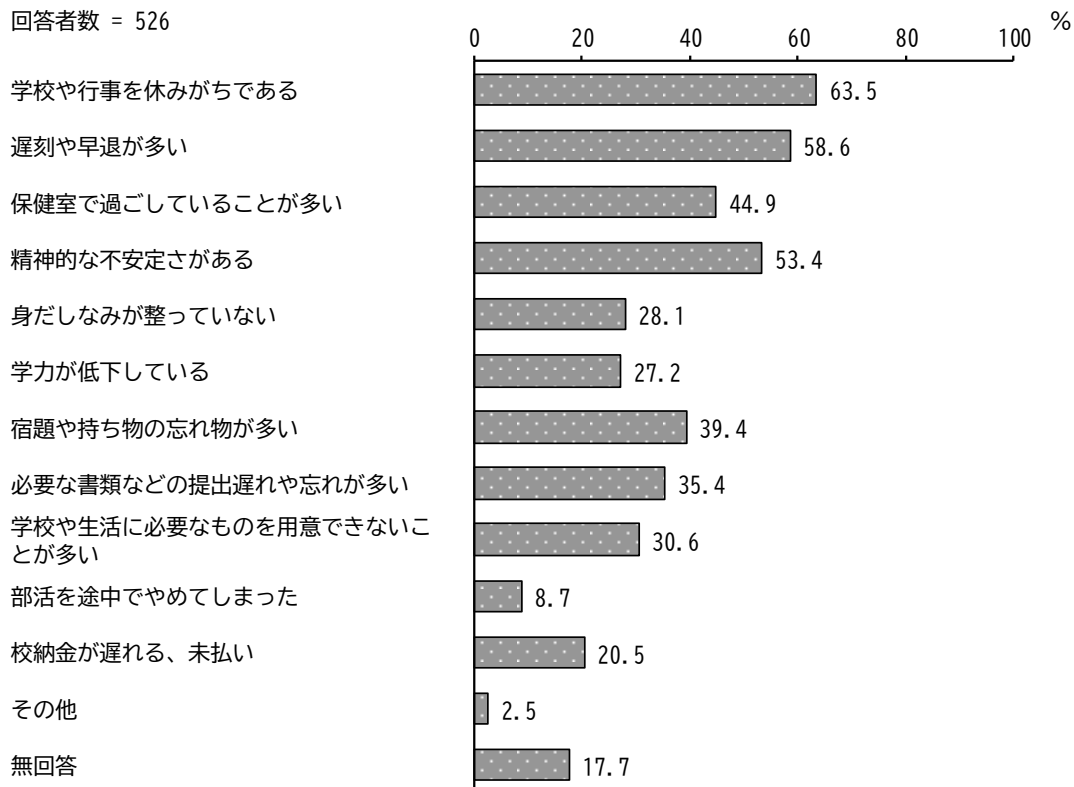
「教員、教諭」の割合が62.7%と最も高くなっています。



Ⅱ. 支援が必要と思われる子どもへの対応について

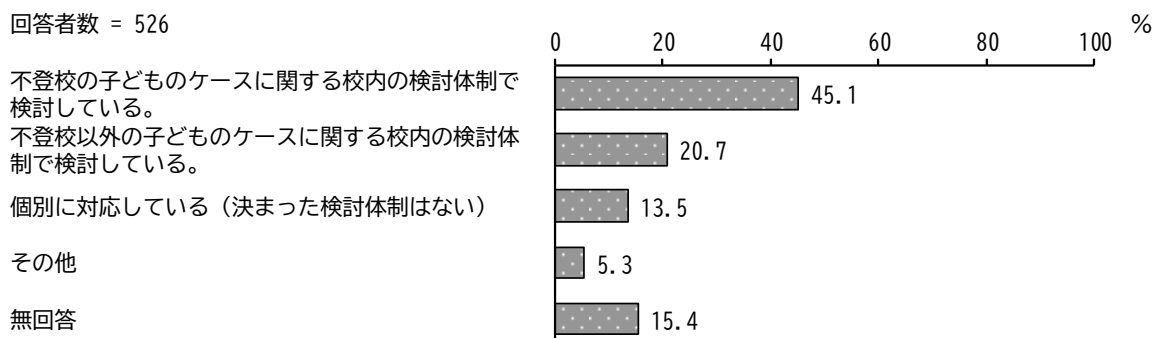
問2 下記の子どもについて校内・園内・施設内で共有しているケースはありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

「学校や行事を休みがちである」の割合が63.5%と最も高く、次いで「遅刻や早退が多い」の割合が58.6%、「精神的な不安定さがある」の割合が53.4%となっています。



問3 問2のケースについて、どのような体制で情報共有・対応を行っていますか。最も多いと思うケースでご回答ください。

「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している。」の割合が45.1%と最も高く、次いで「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している。」の割合が20.7%、「個別に対応している（決まった検討体制はない）」の割合が13.5%となっています。

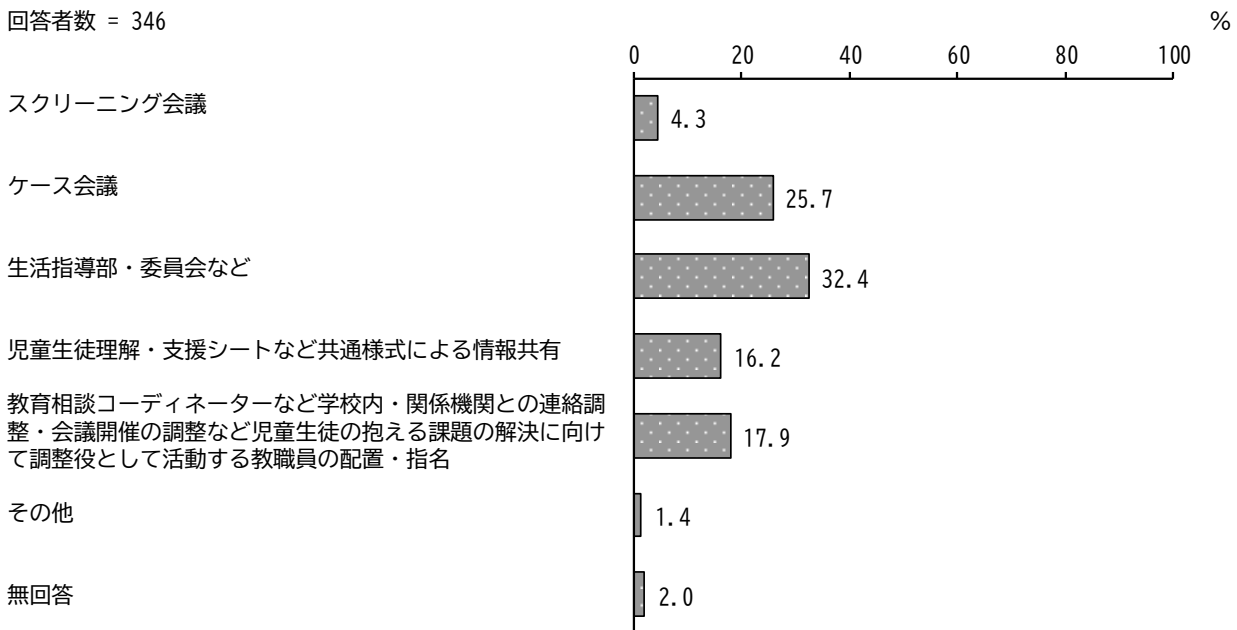


問4 問3で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方におたずねします。

① 校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

「生活指導部・委員会など」の割合が32.4%と最も高く、次いで「ケース会議」の割合が25.7%、「教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 346



- ② 問4①で「1. スクリーニング会議」「2. ケース会議」「3. 生活指導部・委員会など」「6. その他」と回答した方におたずねします。
どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどのくらいですか。
(あてはまるものすべてを選択)

「参加者」

他に比べ、『生活指導部・委員会など』で「指導員」「スクールソーシャルワーカー」の割合が高くなっています。

単位：％

	全体	校長、園長、施設長	副校長、教頭、副園長、副施設長	教員、教諭	養護教諭	指導員	スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	外部の関係機関	その他	無回答
スクリーニング会議	15	93.3	93.3	100.0	73.3	6.7	33.3	53.3	-	6.7	-
ケース会議	89	94.4	92.1	95.5	79.8	10.1	30.3	46.1	6.7	3.4	-
生活指導部・委員会など	112	90.2	87.5	99.1	83.0	15.2	36.6	50.0	4.5	1.8	-
その他	5	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0

「頻度」

他に比べ、『生活指導部・委員会など』で「2週間に1回以上」の割合が、『ケース会議』で「月に1回程度」の割合が高くなっています。

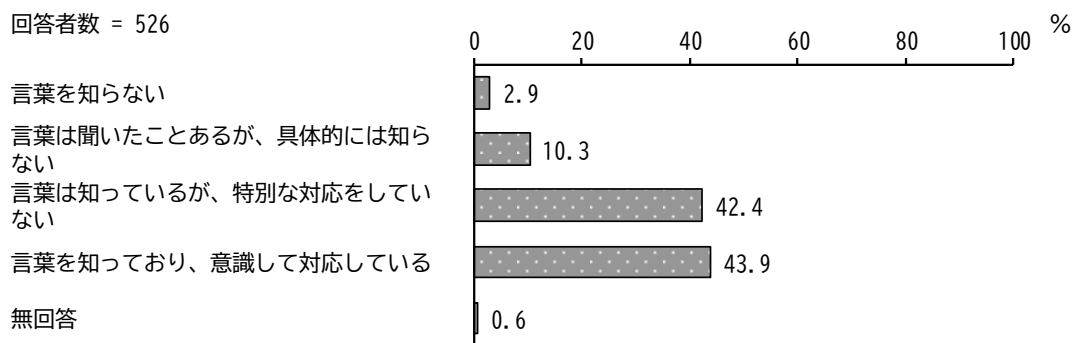
単位：％

	全体	2週間に1回以上	月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	無回答
スクリーニング会議	15	20.0	66.7	13.3	-	-
ケース会議	89	10.1	71.9	14.6	3.4	1.1
生活指導部・委員会など	112	60.7	33.0	6.3	0.9	-
その他	5	60.0	20.0	-	-	20.0

Ⅲ. ヤングケアラーについて

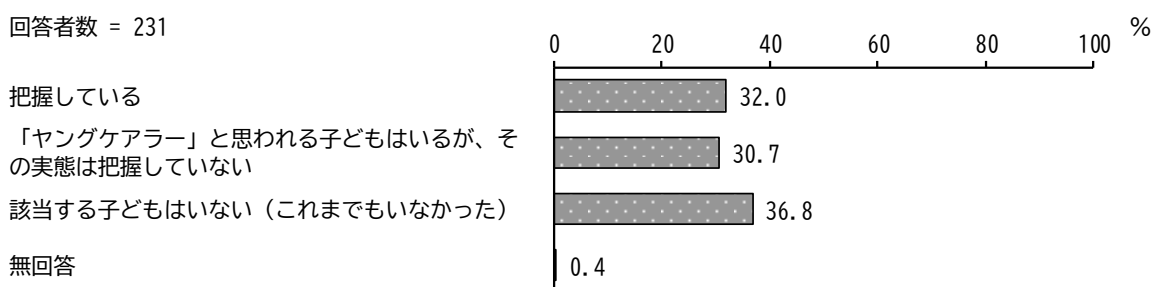
問6 「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

「言葉を知っており、意識して対応している」の割合が43.9%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、特別な対応をしていない」の割合が42.4%、「言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない」の割合が10.3%となっています。



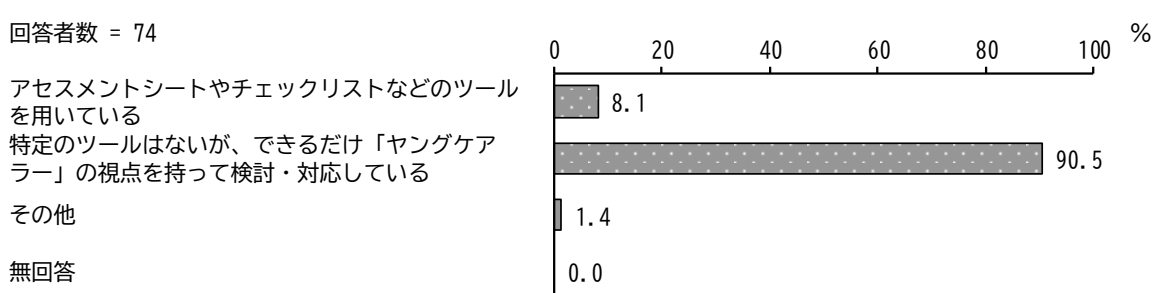
問7 問6で「言葉を知っており、意識して対応している」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

「該当する子どもはいない（これまでもいなかった）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「把握している」の割合が32.0%、「「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」の割合が30.7%となっています。



問8 問7で「把握している」と回答した方におたずねします。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

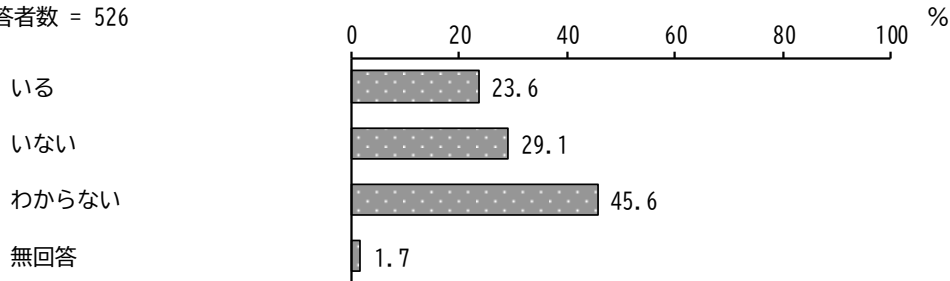
「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」の割合が8.1%、「特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している」の割合が90.5%となっています。



問9 現在、貴校・貴所・身近にヤングケアラーと思われる（可能性含めて）子どもはいますか。

「わからない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「いない」の割合が29.1%、「いる」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 526

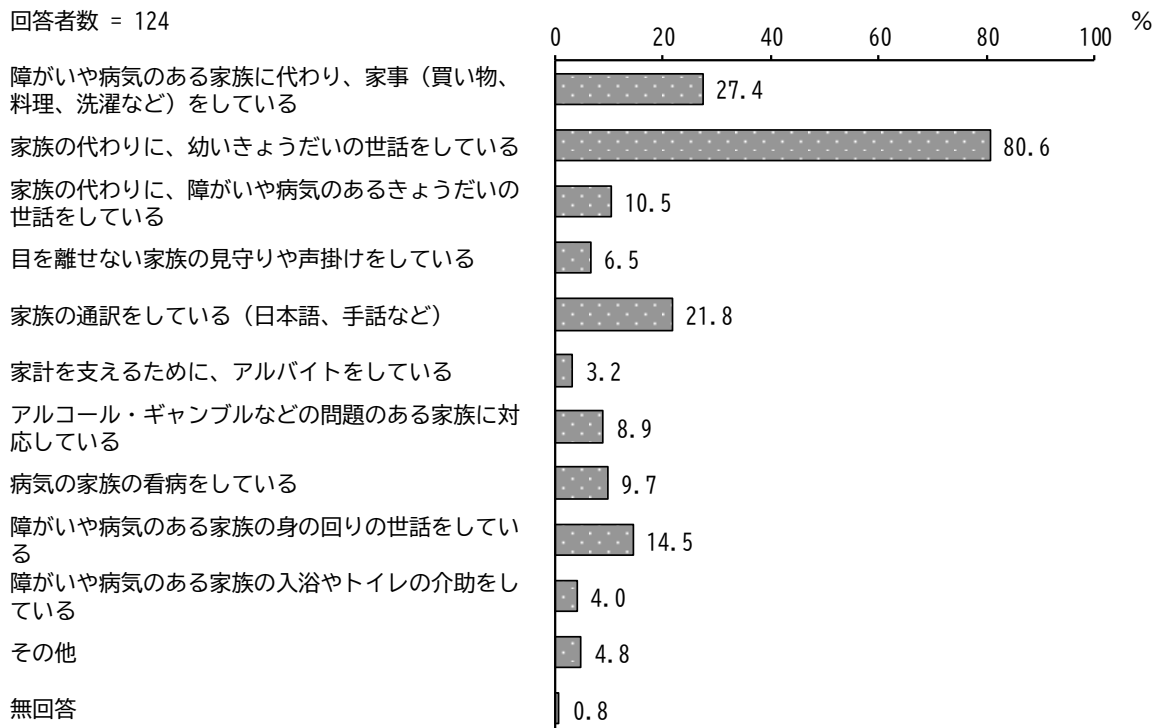


問10 問9で「いる」と回答した方におたずねします。

- ① ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。
（あてはまるものすべてを選択）

「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」の割合が80.6%と最も高く、次いで「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯など）をしている」の割合が27.4%、「家族の通訳をしている（日本語、手話など）」の割合が21.8%となっています。

回答者数 = 124

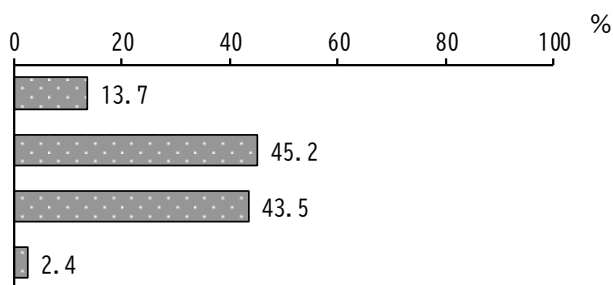


② ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（区役所、教育委員会、要保護児童対策地域協議会など）の支援につなげたケースはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」の割合が45.2%と最も高く、次いで「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」の割合が43.5%、「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 124

要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある
 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある
 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）
 無回答

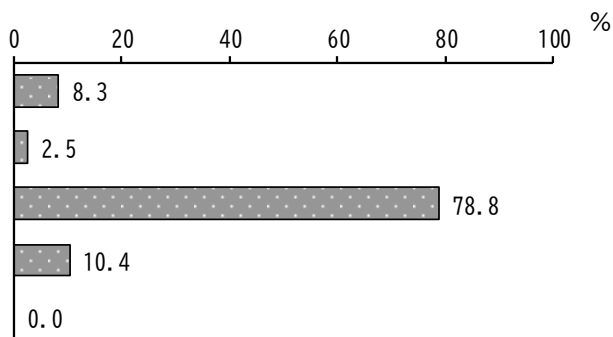


問11 問9で「わからない」と回答した方におたずねします。
 その理由を教えてください。

「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」の割合が78.8%と最も高くなっています。

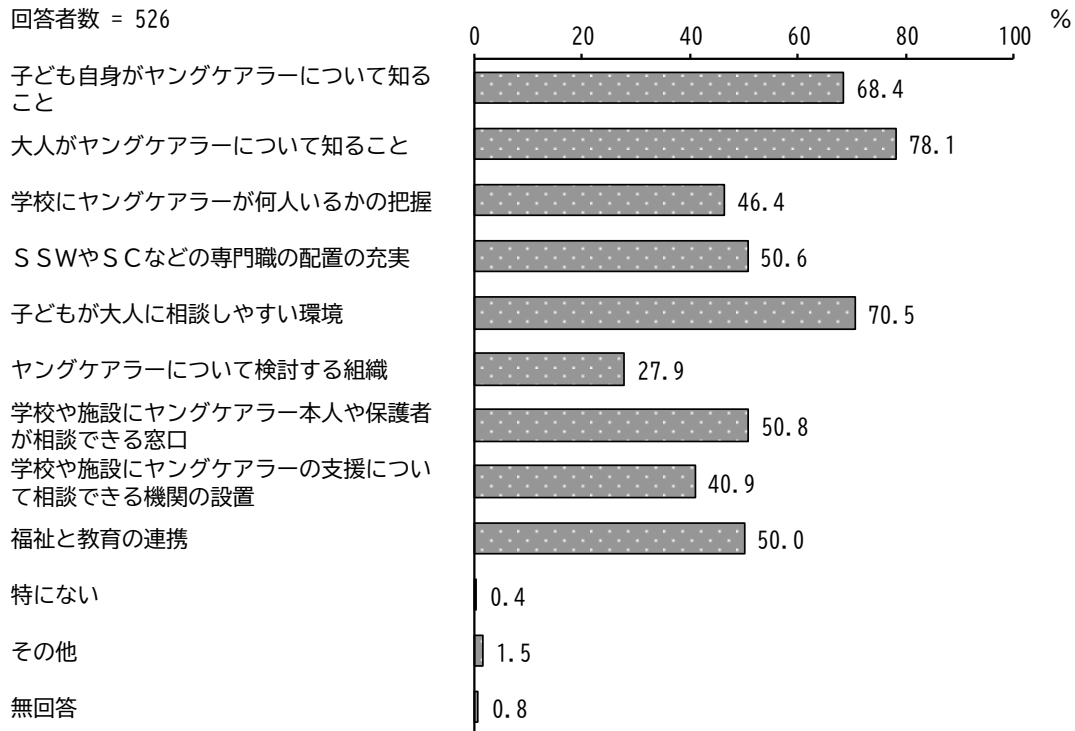
回答者数 = 240

「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
 不登校やいじめなどに比べて緊急度が低い
 ため、実態の把握が後回しになる
 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
 その他
 無回答



問 12 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてを選択)

「大人がヤングケアラーについて知ること」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「子どもが大人に相談しやすい環境」の割合が 70.5%、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」の割合が 68.4%となっています。



板橋区
ヤングケアラーに関する実態調査報告書
【概要版】
令和5年9月

発行：子ども家庭部 子ども政策課
〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号
TEL：03-3579-2471
FAX：03-3579-2487